

華北合作社



4 月

本號目次

卷頭直言——合作社の戰團組織……………(一)

華北農村合作社に關する若干の考察……………(二)

⊗新民會と合作社の關係……………(六)

北支の棉花について……………(八)

華北に躍る合作社群像……………(一一)

房山縣——冀東地區

華北合作社の現勢調査(その一)……………(一三)

⊗農產物販賣所計畫……………(一六)

◇合作社要員の訓練初る……………(二〇)

農產物交易場とはどんなものか?……………(二二)

◇決算について……………(二二)

華北合作勸農彙報……………(二八)

◇山西省——順德道

◇小麥高粱の黑穗病並粟の白髮病豫防に就て

各國協同組合情勢

産業組合中央金庫の役割……………(三二)

東亞協同組合體制の確立へ……………(三三)

華文版目次……………(三五)

河北省合作社聯合會 今日舉行創立大會

昨日召開第三次籌備會議

【本報訊】河北省合作社聯合會，定於今日（二十二日）上午十時，在保定舉行創立大會。屆時將有各省代表及各界人士參加。大會開幕後，即由主席致詞，略謂：本省合作社運動，自抗戰以來，日益發達，現已具備創立聯合會之條件。今日大會之舉行，實為本省合作社發展史上之重要里程碑。大會將討論通過會章，並選出理事會及監事會。下午二時，將舉行第三次籌備會議，由秘書長主持，討論各項籌備事宜。會議至晚八時方散。

聯合會成立意義重大

冀省署冀就傳單以喚起全官民協力

【本報訊】河北省合作社聯合會之成立，對於本省農村經濟之發展，具有極重大之意義。省署為擴大宣傳，特製成傳單，分發全省各縣，以喚起官民之協力。傳單內容詳述合作社之優點及當前農村之需要，呼籲各界人士踴躍參加。此舉不僅有利於農民之利益，亦為抗戰後方建設之重要基礎。

清苑合作社聯合會 今日下鄉擴大宣傳

【本報訊】清苑縣合作社聯合會，定於今日（二十二日）下午二時，由該會秘書長率領宣傳隊，分赴各鄉鎮進行宣傳。宣傳隊將向農民介紹合作社之組織、章程及利益，並發傳單，提高農民之認識。此舉旨在擴大合作社之基礎，促進農村經濟之發展。

河北省合作社聯合會 設立極旨並事業方針

【本報訊】河北省合作社聯合會，為適應當前農村經濟之需要，特制定極旨及事業方針。極旨為：「團結農民，發展生產，改善生活，支援抗戰」。事業方針則包括：推廣合作經濟，提高農民生產力，改善農村生活，並積極支援抗戰後方建設。此項方針之制定，將指導全省合作社之發展方向。

新民會中總會 張部長昨到保

【本報訊】新民會中總會張部長，於昨日（二十一日）下午抵達保定。張部長此行係受中央委派，來冀視察新民會工作。張部長在保定期間，將與省府及有關部門商討新民會之發展問題，並視察各縣新民會之組織及活動情況。

冀省第二期薦舉縣知事 昨日舉行筆試

吳省長親自蒞場命題

【本報訊】河北省第二期薦舉縣知事筆試，定於昨日（二十一日）上午九時，在省立第一中學舉行。省長吳鐵城親自蒞臨考場，命題並主持開卷。此次筆試旨在選拔優秀人才，充實基層幹部。考場秩序井然，考生均能認真作答。筆試結束後，將隨即舉行口試。

世界運動大會籌備進展

世界運動大會籌備進展

世界運動大會籌備進展

世界運動大會籌備進展

世界運動大會籌備進展

華北合作

日 文 欄

卷頭
直言

合作社の戦闘組織

華北に於ける客觀的特殊事情たる敵性諸組織即ち共產軍に對する合作社は之に對應する如き戰鬥組織が要求される。即ち全華北の全域的且つ統制的體制を必要とする。共產軍は其の戰鬥方式を武力戰に限定せず民衆組織は勿論經濟組織工作を活潑に行つてゐるが之が破壊は華北建設のために絶對的條件たることは論を俟たない。かかる要求に應ずるために合作社は當然次の如き任務を有する

(イ) 經濟活動を通じて民衆を獲得すること
(ロ) そのためには民衆の生活安定を得さしむる合作社の運営
(ハ) 東亞國防體制の確立と民衆獲得との要求より歸結する合作社を通しての民衆組織及經濟的訓練並に新民會分會組織を通しての指導

(ニ) 敵地區への經濟封鎖を行ふこと、具體的に云へば配給物資を合作社の持つ配給機構によつて計畫的、全面的に行ふこと及び組織地區に於ける生産物を統一的に集荷せしむることである

(ホ) 敵地區に對する經濟攻勢を行ふこと、即ち社員外販賣を取扱ひ合作社を通し敵地區住民の生産物を集荷せしむること及び良民倉庫(農業倉庫の前提たる性質を有せしむるものとす)を設置し武力工作と併行し敵地區住民の生産物を強制的に入庫せしめ日常必要とする食糧を月所要數量に制限して出庫せしめ、これに違背して利敵行為をなしたるときは沒收する等の攻勢手段をとる

(ヘ) 社員の訓練に併行し敵工作員及び通匪者の發見、情報網の確立等の政治的諸工作を經濟工作と結びつけ社員の家計經濟を合作社の統制下に置く、要するに經濟的分野に於て匪民分離を實施するの要あり
(ト) 従來敵性分子の採れる土地政策又は生産政策を破碎するために必要なる生産指導特に生産力を増進せしむるための進歩的農業政策の實施を擔當する

以上の如き對敵工作の諸方策を合作社は擔當せねばならないが、斯かる廣汎なる農業政策の樹立並に實施を擔當する合作社は茲に中樞機關の設置により企劃の適正と之れが實施の強力なる統制と統一せられたる組織によつてのみ可能なることは論を俟たない

特に對敵經濟工作を實施するに當り、合作社は統一せられざる分散的力に於ては其の使命を遂行することは困難なるべく即ち經濟封鎖に一例をとれば鹽の配給の如く敵側の絶對必需品を全華北的に統一し一社員當り月所要數量幾斤と制定し合作社を通し農村に要する鹽の配給を統一するときは敵側に對する流入の防止をなし得るが之等は近くその實現を見んとする強力なる中樞機關の統制の上に於てのみ實現せしめることが可能である。

646856

華北農村合作社に關する 若干の考察

久保實
(青島市合作社常任輔導部)

區及び合作社設立豫定地に重點を
おいて貸付けられたことに止る。
現在までに取扱つて來た諸品目
及び合作社の事業の重點を那邊に
置くべきかの問題に對して多分に
批判の餘地があらう。茲に合作社
の事業の重點に關して私見を述べ
て見やう。

三、北支合作社の 特性

一、はしがき

中國農村を政治的に見ても、中
國人口の八割を占める農村は決し
てこれを等閑に附することは出来
ない。之を經濟的に考察する場合

には、それが所謂東亞プロック經
濟圏において原料生産地として果
す役割は誠に重大と云はねばなら
ぬ。従つて中國農村の再建運動
は、他の如何なる部門に於ける建
設にも劣らず時代の必然的要請で
ある。

由來、中國農村は所謂半植民地
的、封建的遺制の根強い支配下に
於かれ、そのために一層その疲弊
を余蘊なくされてゐる農村を、如
何なる方法を以て、如何にして更

生せしめるかが問題の中心をなす
わけである。而して私が本稿に於
て考察を加えやうとする農村合作
社が、中國農村の更生といふ重大
な任務を背負つて事變以來急速に
發展して來た。

私は本稿に於てわが青島特別市
管内に於て目下推擴せしめられつ
つある農村合作社を中心として若
干のまとまりのないことを思ひつ
くがまゝに述べて見やうと思ふ。

二、わが合作社の 現状

先づ吾々が、合作社事業の内最
初に着手したものは比較的容易な
る購買事業であつて其の取扱品目
は肥料を主として苞米、石油、棉

布、石鹼、石炭、ゴム靴等の消費
資料に亘り昨年度の取扱金額は二
萬圓餘である。生産事業では小麦
の優良種子の配給、小雞、小豚、
種牡牛の配給貸付等である。利用
事業では蔬菜の虫害驅除のため噴
霧器を利用せしめたこと及び目下
計畫中のものに鑿井がある。販賣
事業は相場の變動の關係上充分な
る基礎調査の完決してゐない現在
直ちに之に乗出すことは危険であ
るが故に、積極的に之に手を出す
ことを差控へ、果實の共同出荷を
幹旋したに過ぎない。鶏卵、蔬
菜、大豆等の共同販賣を目下計畫
中である。信用事業にも未だ見る
べき活動はなく、新民會によつて
貸付けられた春耕資金が合作社地

現在のが北支合作社運動は自
由放任主義經濟機構の下に於ける
商業並に高利資本の壓迫に對して
農民が協同的に之を防衛せんとす
る解放運動であるとのみ看做すこ
とは出来ない。即ち合作社運動は
それ自身のうちに多分に政治經濟
的因子を包藏してゐる。この前提
を認容する限りに於ては吾々は合
作社に對する政治經濟的要請が何
であるかを認識しなければなら
ぬ。合作社がそれ自身の内に政治
經濟的因子を包藏してゐる限り、
合作社の事業の重點は當然政治經
濟的要請に制約せられる。

世界經濟のプロック化の色彩は
愈々濃厚となつて來た。此の間は
あつて吾々東亞民族は政治的には

東亞共榮圏の建設、經濟的には所謂東亞ブロック經濟圏の確立に向つて行くべく運命づけられてゐる。東亞ブロック經濟圏が北支農業に期待するものには棉花、葉煙草、畜産物等の重要物資がある、従つてこのやうな物資が合作社設立地區に生産せられ、或は生産に適するならば、我々は此等の物資の増産に合作社に合作社の事業の重點を指向することを忘れてはならぬ。

廣く北支全體を見ると、或は狭く青島地區に限つて見ても食糧は未だ自給自足の域に到達してゐない。殊に一度天災に逢へば食糧の不足には誠に恐るべきものがある。過去の海關統計の示すことに依つても明かであるが如く北支の食糧品(殊に米、小麦)の輸入額は實に莫大な金額に登つてゐる。しかも之等の食糧品の大部分を諸外國に仰がざるを得ない事實より見ても北支の食糧品の自給自足對策は政治經濟の要請するところである。

合作社事業の重點は前述の如き政治經濟の要請する方向に指向されねばならぬ従つて政治經濟政策

の一擔當者としての合作社はまづ農産物の増殖、換言すれば農業生産力の増大にその重點を置かねばならぬ。此の立場から當市の合作社の事業の内容を検討すれば農業生産力の増大といふ事業に關する限り我々は尙満足することが出來ない。然しながら當市の合作社運動の中心である常任輔導部(編者註)青島ではこの常任輔導部が實踐的方面をも擔當してゐる)の現在の內容を以ては未だ全面的に農産物の増産對策に乗り出し得ない現状にあるのであつて此の點に關する急速なる對策が要請される。

以上に於て専ら農業生産力の増加の重要性を力説したが、其の他の事業は之を放任して置いていふと云ふ意味では勿論ない、農村に於て暴威を振つてゐる高利貸及び商業資本の支配より農民を解放せしめることも亦極めて重要であるのみならず、合作社が本來此の目的のために誕生し、發展し來つたことを忘却してはならぬ。加之、金融、販賣、購買、利用等の事業は直接或は間接に農業生産力の増加に寄與するのであつて、此等の

事業の隨伴しない生産力の増大事業は全く無意味である。

申すまでもなく合作社が社員自身の産業又は經濟の改善、發達を圖ることを目的とする限り、合作社の行ふ事業も亦必ず社員の産業又は經濟に關係を有するものであることを必要とする。従つて事業の重點も社員が産業又は經濟の改善、發達を圖ると云ふ範圍に置かれねばならぬ。此の制限を逸脱した事業は最早合作社の事業では有り得ない。

四、合作社とその構成員

合作社は資本の支配を防衛するがために相互扶助の精神の下に團體を結成し、協同の力によつて社員が産業又は經濟の改善發達を圖らんとする協同體である。合作社における合作社と社員との關係は全く不即不離の全個一如の關係である。此の點において物的會社である株式會社の會社と社員との關係とは全く其の性質を異にする。即ち株式會社の株主は最大利潤の遺及を其の最終の目的とするのであつて、それ以外には何等の目的

もない。従つて一般に何人が株式の所有者であるかを問はない。これに反し合作社は相互扶助の倫理的の精神に基づく人的結合體であつて、その結合の紐帯は合作社の事業自體である。故に農民より遊離した合作社はその存在の意義を喪失する、この意味において合作社は社員を中心とした在り方でないばならぬ。

合作社の本質より論ずるならば、合作社運動は農民の自覺に其の基底を置く所謂「下からの原理」としての自發的運動であることが最も望ましい。しかしながら中國農民大衆は今日尙一般に自主的精神に缺けてゐることは否定出來ない事實である。従つて先づ農民を啓蒙し、彼等の自發的活動によつて合作社運動を起さしむることが順當ではあるが、かくの如き悠長なことは現在としては許されないのであらう。故に吾々の合作社運動も其の根本に於ては天降りのな所謂「上からの原理」としての性格を有してゐることは否定し得ないであらう。このために吾々の最も苦心した點は如何にして合作社と社員たる農民とを極く自然的に結合

せしむべきかの問題であつた。合作社の構成員たる社員を合作社と結合せしむることに失敗することは、取りも直さず合作社運動は其の出発点において最も根本的な蹉跌を惹起したことを意味する。

合作社工作の初期に於ては農民は著しく懐疑的であつた即ち彼等は合作社も亦所謂權力團體たる官廳若しくはそれに類似する機關であつて、これに加入することは同時に彼等の經濟生活に或種の權力的な制約が加へられるのではないかと深く思ひ込んでゐたことは事實である。従つて吾々は農民に對して合作社の本質を繰返し繰返し平明に説明して、それが決して權力若しくは強制を伴ふ團體でないことを吞込ませるべく努力した。斯くの如くして彼等の間に合作社結成に對する氣運を自然的に醸成するやう方向付け、極力「上からの原理」としての性格の抹殺に努力した。どれだけの農民が合作社の本質を理解し、それが農民以外の何人の組織でもないことを認識したかは疑問であるとしても、合作社を組織することそれ自身は吾々が少しも強制に出る必要なくして極

く自然的に結成されたものと云ひ得る。然しながら農民の眞意を仔細に觀察するならば彼等の大多數は合作社が彼等に何等かの無償或は一方的な利益を與へて呉れるであらう、その限りに於て合作社に加入する方が有利であらうと云ふ極く低級な功利的觀念の下に動いた事實が看取される。このやうな現象は文化程度の低い無知蒙昧な農民を相手とする場合吾々の經驗する一般的なことであつてこれに以て悲觀すべき材料となすには足るまい。

上述の如き状態であるから合作社の社員は、彼等が社員であると云ふことによつて、彼等と合作社との間には何等かの關係がありさうだといふ極く微弱な意識以外には一步も出てゐない。従つて合作社に對する社員のこのやうな意識を強化し、社員たる農民の生産又は經濟の改善發達は社員と合作社との不可分の關係の下に於て初めて可能なりとの強力な自覺を喚起することが合作社の根本問題なのである。換言すれば社員と合作社との微弱な關係を止揚し、より高次のそれへ發展せしめることが現

段階に於ける合作社運動の基底をなす。

惟ふに合作社の目的は、究極に於ては社員自身の生産又は經濟の改善發達を圖ることにある。従つて一切の合作社事業を社員の共同生活の向上に裨益するものとしての職能的關聯に於て目的論的に考察しなければならぬ。このやうに合作社の事業と云ふ物的方面の活動によつて、社員に對して實利的に合作社の存在意義を認識せしめ社員の合作社に對する關心を深めることと相俟つて、社員に對する不斷的宣傳、教育といふ心的方面の活動こそ合作社と社員との關係をより高次のそれへ發展せしめる契機をなすであらう。

五、中心的構成員の問題

農村合作社の中心となる社員は勿論中小農民である。この事は合作社が本來中小農民の如き經濟上の弱小者が高利貸又は商業資本の壓迫を防衛し、各自の産業又は經濟の改善發達を圖るがために人格的に結合した自治自助的な經濟團體であることから自明である。

しかしながら今次の合作社運動は全戸加入といふ合作社の農村大衆化の目的を達成するがために、敢て所謂土豪の加入を拒否しなかつた。元來、所謂土豪は階級的に見れば合作社に加入する必要がない。加之、彼等は合作社の發達に於てよりその特殊利益が侵害されることは必定であるから合作社運動に對して寧ろ對蹙の立場に立つものと云はねばならぬ。

從來合作社に加へられた最も根本的な非難の一つは合作社が本來中小農民の更生をその主たる目的としてゐるにも拘らず、出資金等の事情から小作農の如き貧農をその社員となすことが比較的少い組織である關係上、合作社の發達は自然本來更生を必要としない地主階級に利益を與へる結果となつたと云ふ點にあつた。而もそのために合作社に参加し得ない貧農層を益々貧困化することとなつた。この點に鑑みて吾々は出資金を直ちに徴收することを避けて合作社區域内の全農家を合作社の社員となすやう工作し、殆んどその目的を達した。全農家を合作社の構成員となすことにより合作社の大

乗化、換言すればその量的擴充を圖ることは成功したものと云ひ得る。従つて地主、商人、中農、貧農等農村に於けるあらゆる階級層を包含してゐる。地主、商人等の土豪は謂はゞ農村に於ける價値の破壊者であり、又中小農を搾取して來たものである。加之、此等の階級層は合作社そのものに對しても相對立する立場に置かれてゐる。

何故にこのやうな矛盾を包藏した合作社を組織せざるを得なかつたのか、由來中國農村に於ける半封建的遺制の下に此等豪紳が農村に植えつけて來た經濟的勢力には實に恐るべきものがあるのであつて、現在の合作社の弱力を以て此の勢力を無視することは全く不可能である。基礎の確立しない合作社と地主、商人等との抗争は、滿洲に於ける合作社と糧棧との抗争が何よりも如實に物語るが如く、合作社の敗北に終らざるを得ないであらう。又中小農民には一般に識字者が少く、従つて合作社の役員を此等の者より選出することは困難である。更に地主、商人等の所謂豪紳との無用の抗争を避

け、彼等が農村に於て有する指導的地位を逆に利用することは現段階に於ては採らざるを得ない一手段である。この意味から云へば地主、商人等の階級層を包含することは合作社運動の現段階から見れば「必要な悪」と云ひ得るだらう。

元來合作社の構成分子はその置かれてゐる生産關係を異にしてゐる。此等の構成分子が合作社の下に包含される限りに於ては全く平等の地位に置かれると云ひ得るのであるが、このことは合作社の構成分子の夫々相異なる生産關係が止揚されて、新らしき生産關係に進むことを意味するものではない。合作社の構成分子が平等の立場に置かれるのは、社員と云ふ一定の制限された範圍内に於てである。しかも、この場合に於ても社員は各自の生産關係をそのまま保持してゐる。このことがそのまゝ本來平等なるべき社員としての地位にまでも反映して、中小農層は合作社の中心から遠ざけられ、地主、商人等の土豪が合作社を乗取ると云ふこととなる。

その結果として中貧農の經濟更

生機關としての使命を有する合作社を反對に地主、商人等の利益擁護乃至は利殖機關に墮落せしめることとなる。或は又所謂内部的反合作社運動を惹起せしめる要因となるであらう。

全戸加入を原則とした現在の農村問題である。

村合作社が上述の如き矛盾又は危険性をそれ自身の内に包藏してゐることは否定することの出来ない事實である。従つて、如何にしてこの矛盾を克服し、危険を排除するかが農村合作社今後の重大なる問題である。

われ等の同志

華北の合作社關係諸君

一人一冊主義で

『華北合作』を!!

☑唯一の理論討議機關誌

☑實踐運動者の行動基準

速速刻申込め!!

誌代 一年 五十錢 (送料不要)

新民會と合作社の關係

一、新民會は合作社組織を指導しなければならぬ

蓋し新民會は華北の王道的建設の綜合的領導をその本質的使命とするに對し、合作社は經濟的民衆團體としてその建設の經濟部面の主たる擔當者となつて居るからである。新民會はその運動を民衆生活に密着せしめ、合作社運動を全般的會運動の一翼として領導し、その組織を會組織發展の着實なる基礎とする爲に合作社を領導するのである。

二、合作社は新民會の指導援助を要請する

新民會は民衆團體である故に他組織に對する領導は命令指揮に依つて行はれず、使命及性格上の關聯性により被領導團體が之を要請する理由の存在を基礎として、會務職員及會員が當該組織内に於て主動的に活動し、その組織の本質

機能發揮せしめつゝ之を全般的會運動に結び付ける事に依つて行はれる。

然らば合作社は如何なる點に於て新民會に指導援助を要請するか。

(一) 民生改善に關する方面

農村外に於ては、合作社の發展を阻止妨害せんとする一部商人及無理解なる官吏の反對を抑へ、その間の摩擦を出來得る限り合作社に有利なる様に緩和し、農村内部に於ては、合作社に依る利益を獨占し一般民衆に對するその利益の侵透を妨害せんとする一部有力者の專横を抑へ、共通する利益及使命の下に團結を強化する様誘導する點に於て新民會の指導援助を要請する所大である。又事業運営に際し、關係各機關との連絡を側面より援助し圓滑ならしむる事も新民會に期待せねばならぬ。

小作制度に依り吸取らるゝ時は、合作社運動は徒勞に歸する故に、新民會はその重要な厚生工作として苛捐雜稅殊に灘派の整理及小作制度の合理化を促進し、會運動の進展を圖ると共に、合作社構成の基礎を鞏固化する事を要請される。

(二) 政治、治安、文化關係諸使命に關する方面

華北は日滿支經濟提携の重要な一環となる事に依つてその經濟的向上が期待され得るのであるが、經營第一主義に流るゝ時は稍もすれば目前の局部的利益に迷ひ大局を忘れ易い故に、多分に政治的要素を含む所の日滿支綜合計畫經濟に即應する事業運営を行ふ爲に、基本的に東亞新秩序建設の方向へ進む新民會の指導によつて、偏向を防ぎ積極的にこの方向へ邁進し得る。

又合作社は對敵鬭争に於て、それが與へる利益に依り民衆を誘引把握すると共に、販賣購買事業の活用により對敵經濟封鎖の有力なる組織となる。のみならず鄉村自衛の目標を先づ之に求むる事に依つて自衛力を強化し得る。然しかゝる活動は「社員利益増進を計る」と云ふ意識の出易い合作社單獨で積極的に行ひ得ない。華北に於ける對敵民衆鬭争の基本組織たる新民會が指導してこそ初めて有效な對敵鬭争機能を發揮し得る。

尙合作社の着實な發展には社員教育訓練がその基礎となる。この教育訓練の基本が新民精神であり、教育訓練の中に會運動が具體的に侵透すべきは、新民會の使命からして當然である、従つて文化的使命達成に於ては、新民會の密接な指導が要請せられる。

三、合作社指導の統一と新民會の指導の限界性

従來行はれ來つた指導育成機關別合作社分立は運動の混亂を誘發し、勢力を分散せしめた故に、華北一圓に亘る一元的組織を確立し、直接指導は新民會に於て行ひ、他機關の指導は新民會を經由するものか、農事技術指導に限るが妥當と考へられる然して合作社

と新民會の關係に於て從來屢々見られた組織的會計的混同は合作社運動の發展を阻止し會運動を歪めた故に、之を判然區別する組織體系を採る殊に新民會が永續的物資配給を爲し、之を餌として分會入會を事實上強制するが如きは、合作社運動のみならず會運動の進展を歪曲する極端となるであらう。新民會としての合作社指導は全般的民衆運動の關聯する方面に限るものとし、經營の技術的細部に及ばぬ事とする。

四 新民會の合作社指導權は何に依つて確保されるか

新民會の合作社に對する指導權は系統各組織の専務理事及主要職員の人事に關する發言權、縣聯合會専務理事及合作社委員の養成訓練、翌年度事業計畫書に關する協議を確保する事に依つて堅持される。

上述の發言權は任免異動等を左右する重要な發言權であつて、之が強さは勿論新民會自體の政治力の強化と共に益々増大すべきものである。

尙人事の統一は組織の統一の基礎をなす故、合作社の人事權は華北合作社中央會に集中され、新民會各級組織の合作社人事に關する意見は中央總會を通じ連絡を行ひ、人事の混亂を防止する。指導は次の如き要領に依つて行はれる。

五 新民會各級組織の合作社

(一) 分會

新民會の分會は個人主義的組織觀念に依つて組織さるゝものではない。組織の對象は村落生活から抽出された個々の農民でなく、封建遺制の濃厚に殘存する村落共同體それ自體であり新民會の指導力と村落の政治的訓練の進展に伴つて漸次訓練された中堅推進分子を幹部に多く送り込み、注意深く支援しつゝ幹部構成に於ける傳統的勢力關係の編成替への見透しに向つて、慎重にその準備作業を繼續せねばならぬと意圖されてゐる。かゝる段階にある分會は上級總會に於ける新民會と合作社の關係をそのまゝ村落にうつした指導

關係を鄉村合作社に對して持ち得ない事は明らかである。況んや合作社組織に於ては主として華北の社會構成に應ずる必要から事業上の經營單位を縣に置き、鄉村合作社はその下部組織として、その強力なる指導統制下にある。この場合合作社指導に關しては分會は新民會縣總會の縣合作社運動指導の重要な觸手となり、縣總會を通じて自己の意圖を生かすべきである。縣内の辦事處は仲繼的組織として之を補助する役割を持つ。

(二) 縣總會

實施年度前に事業計畫書を合作社縣聯合會より提出せしめ、全般的民衆運動の見地より之を檢討し、協議決定し、年度中事業計畫の適正なる實施につき監視指導する。會より派遣せられた専務理事その他合作社委員を通じて會の方針を圓滑に合作社内に反映する。

合作社運動との相互關聯に於て分會を發展せしめ、合作社の要請に應ふる工作の強化に資し、會運動の鄉村浸透を圖る。

(三) 道辦事處

合作社縣聯合會の事業計畫書を提出せしめ之を檢討し縣總會をして會運動の線に沿ふ如く協議決定せしめ、實施に當り常にその動向に注意し、道内各縣合作社聯合會の綜合的發展を圖り合作社の道支部確立を促進せしむ。

(四) 省總會

縣聯合會、省聯合會の事業計畫書の綜合的檢討協議を行ひ、會より派遣せられた専務理事及合作社委員を通じて會の方針を浸透せしめ、省聯合會を中央會の統制外に逸脱せざる様に指導する。

(五) 全組織に通ずる措置

新民會各級組織は該當合作社組織の専務理事又は主要職員を重要會議に出席せしむると共に合作社職員分會を各級組織直轄とし、合作社職員を會運動に捲き込み之を通じて合作社を會運動の重要な一翼として動かす事に努むべきである。(中央總會厚生部合作科一(三〇)、三、七)

北支の棉花に就いて

左近 允忠 夫

増産計畫の全貌

北支棉花が北支農村經濟自體は勿論、日滿支經濟ブロックに於ける基幹的農作物として將又輕工業原料として重要地位にあるを以て、事變勃發以來日支協力、北支農業開發諸政策に先んじ棉花の増産を企畫し茲に從來の北支年産繰棉四八〇萬擔を一躍一、〇〇〇萬擔に引上げる増産八箇年計畫を實施することとなつた。

即ち昭和十三年を初年度とする昭和二十二年完成の九箇年計畫は事變のため昭和十三年度を棄却し昭和十四年度基準昭和二十一年度完成の八箇年計畫に、企畫數値は其の儘として改正せられた。

この計畫による年度別計畫生産量を一覽表に示せば次の如くである。

年次	米棉種	在來棉種	計
昭和十三年	二、二四六	一、九五八	四、二〇四
〃十四	二、二四九	二、一五四	四、四〇三
〃十五	二、八〇三	二、三六九	五、一七三
〃十六	三、四七〇	二、三三七	五、八二八
〃十七	四、一九九	二、三四三	六、五四二
〃十八	五、〇七〇	二、三二七	七、三九八
〃十九	五、九七二	二、三一〇	八、二八二
〃二十	六、八三七	二、三三九	九、一九七
〃二十一	七、六六五	二、三三五	一〇、〇〇〇

〔備考〕單位千擔

右八箇年畫の最終目標たる一、〇〇〇萬擔生産達成の場合の需給關係を窺知すれば次の如くである。

1. 現在北支紡績錠數一〇〇萬餘錠に對する原棉供給量を三五〇萬擔と想定
 2. 北支紡績以外の地場消費を一、〇〇〇萬擔と想定
 3. 殘餘五五〇萬擔が日滿への輸出可能量
- 日滿支經濟ブロック形成の重要契機である北支棉花増産八箇年計畫の實現を期する爲に技術的指導、種子の改良、農業水利施設及農地改良等の綜合的實施擴充を必要とし之が爲實施機關の整備と機能の向上を計る爲次の如き方針をとつてゐる。
1. 農事試験機關の統合、機能の向上化
 2. 棉花原種圃並採種圃の設置

3. 河北棉産改進會の改組充實
4. 中日實業の改組

而して之に對する日本側の資本的、技術的援助を述べれば、北支棉花増産の實質的擔當機關たる華北棉産改進會に對し資本的、技術的援助を與へる爲日本棉花栽培協會は初年度七十二萬五千圓の補助金を交附し尙又計畫達成資金總額三千萬圓(日本側半額負擔)の調達に就て努力することとなつた。

斯る日本側の助成方策と併行し現地に於ては、増産助成資金造出乃至は獲得に就て凡ゆる努力が傾倒され、昭和十四年度華北棉産改進會を通して聯銀融資に係る春耕貸款五〇萬圓を河北省山東省の一部に放出し次に恒久的にして而も確實性ある財源獲得の方法として(イ)北支棉花協會の收受する手數料の一部を右資金に繰入れ充當し(ロ)北支棉花の統制機關たる「北支棉花協會」を擴大強化して機構の改革を行ひ法人格を持たしめ、從來徴收せる調製料を増産資金に充當することとなつたのである。

華北に於ける棉産概況

華北に於ける棉花は八箇年増産計畫の實施に伴ひ東亞プロック圖内の重要資源の一つとして時局下の急需に應ずる爲之が増産は最も大なる期待をかけらるゝに至りたるも、今茲に北支棉花の全國的地位の検討を見ると次の如くである。

支那に於ける棉産の主要分佈區域は之を大別し長江流域と黃河流域の諸省に分つことを得る。而して長江流域に於ける棉花の主要地は江蘇、湖北の兩省にして、黃河流域に於ては河北、山東河南の産棉が最も多く北支棉花の中心地帯である。北支棉花の發展は歐洲大戰以後に於て國內紡績業の勃興を契機とし北支に於ても青島、天津等に紡績工場の設立を見るに至つた結果原棉の需要増大し、民國十六年に於ける外棉の輸入額は三四萬擔に達した當時政府の爲政者が原棉の自給自足を企圖するに及び、試験機關を設立し美棉の植付を提唱し極力指導獎勵に當りたると河北、山東兩省は此等改良陸地棉の栽培に地勢及氣候が適したること及其の收益が他作物に比し優位にありたる點等により漸次普及

し、面積及産額を増大し品質も長江流域の退化棉に比し良質のものを産出するに至つた。

就中河北省は民國二十五年度に於ける棉田面積は一、〇四三萬畝の多きに達し全國の首位を占むるに至り産額は二五三萬擔にして湖北に次ぎ第二位となつた。

山東省に於ける棉作も河北省と略々同様な自然的條件並に諸情勢の下に漸次發展し殊に青島日本紡績業の勃興と共に急速なる進展を遂げ民國二十年に至りて最も盛大となり棉田面積八〇〇萬畝に達し産額は二一〇萬擔に及び、全國の首位を占むるに至つた。之れに依つて見るに支那に於ける棉産の地位は長江流域より轉じて黃河流域地帯が中心地帯となるに至つた。

事變後に於ける華北各省の棉田及産額は共に激減の傾向にあるも北支棉花の生産増加には多大の期待が掛けられ日支兩國經濟プロック確立上に重大なる役割を負擔するものである。

次に之を各省別に生産並に分佈の状況を敷衍して見れば

一、分佈狀況

河北省

河北省は古來より幽燕平原の名稱がある如く地勢一般に平坦土質肥沃、氣候乾燥にして全省各地は植棉に適し黃河流域地帯に於ける主要の棉産地にして、其の棉産の分佈狀況は次の如く東北河區、西河區、御河區の三部に分けらる。

1. 東北河區 本區は京山線以東に於ける滌河、蘆運河、白河の流域の棉作地帯にして冀東地區の大部分は之に屬するが氣候條件は南部地方に稍劣る。産棉中南苑棉は特に有名であり、棉作は豐潤、玉田、賈屯、蘆縣平谷、三河、寶河の諸縣に於て行はれつゝある。

2. 西河區 本區は京漢沿線地方にして西に太行山脈縦走し比較的高燥地帯であり就中滌河の流域最も廣く省内に於ける主要棉産地帯である。

棉作は大清河、滌河、滄陽河の流域の兩岸に分佈して上西河、中西河、下西河の三部に分け古くより有名な植棉地帯であり、中棉の栽培は今尙盛んである。

イ、上西河 保定、滿城、完縣、定興縣、容城等を中心棉産地とす。
ロ、中西河 正定、晉縣、深澤、無極、藁城、束鹿を中心棉産地とす。

ハ、下西河 邯鄲、永年、廣平、成安、南宮を中心棉産地とす。
3. 御河區 本區は北部津浦線に沿ふ西

河地方の東部に隣接せる稍低き平原地帯である。棉作地は吳橋、東光、南皮、寶津、滄縣、交河等に分佈しあり。

山東省

山東省は黃河下流に位し其の土壤は砂礫性に富み黃河兩岸流域の平原一帯は沖積土による砂壤土にして輕鬆且つ肥沃、氣候亦好適にして、産棉は多く西半部に屬し、其の分佈は次の如くである。

1. 半島地方 山東半島地域にして稍丘陵を有し氣候多少劣る。

2. 濟南地方

イ、魯東區は膠濟線の南部、津浦線の東部に當り泰山山脈の北部に連る稍丘陵地帯なるが棉産地は現在膠濟沿線高密を中心に分佈しあり

ロ、魯西區は濟南以北の津浦線及黃河に圍まれたる山東西北隅の地域にて河北省の御河地方と連続せる平野にして棉花の栽培は極めて盛んに省内主要棉産地帯であり、棉作は臨清、夏津、館陶、高唐、博平等に分佈しあり。

ハ、魯南區は魯西區の南接地區であり棉作地は定陶、曹縣等に分佈を見るも現在は普及充分ならず。

ニ、魯北區は濟南を界とし膠濟線の北部、津浦線の東部、黃河流域一帯の地域にして棉作は蒲台、濱縣、惠民、高苑、廣饒、霑化、商

河等に分佈しあり。

山西省

山西省の氣候は河北省と相似て稍温和にして土質は砂土又は砂質壤土が多く、棉作に適する。本省の棉作は民國八年政府の植綿提唱以來逐年増加の情勢に在り、民國二十三年に於ては棉田一七九萬畝に達し繰綿産額六〇萬擔に及んでゐる。

民國二十四年に於ては旱害により棉田一〇〇萬畝に減少し産額二五萬擔となり、二十五年に於ては棉田二〇〇萬畝に増大し産額五三萬擔に及んだ。棉作地は主として次の二區に分佈しあり。

1. 冀雁區は汾河上流の北部平原を中心とする降水量少き高原性氣候地帯にして主産地は文水、平遙である。

2. 河東區は汾河流域及南黄河に亘る間の地域で本區の棉作は民國八年政府の植綿提唱以來逐年増加の情勢にある。主産地は洪洞、榮河、永濟、臨汾、河津、虞鄉、稷山、新絳、臨晉、猗氏、平陸、聞喜、安邑、曲沃、門津縣等である。

河南省

本省は中原に位し黄河が省内北部を横貫し土質輕鬆にして肥沃、夏季に雨水多きも八、九月に於て

は雨量少く春季に於ける寒風並に冬季に嚴霜も亦少くして植綿に適してゐる。棉作地は予北、予西、予東、予南の四區に分佈しあり。

1. 予北區は北部及西部は太行山脈の麓に接し平野高燥地にして、棉作は最も良く發達し、特に盛んなるは彰德、武安、湯陰、新鄉の諸縣にして隣接地區を含め河北、山東、河南の三省に亘る北支棉作中心地帯を構成しあり。

2. 予西區は隴海鐵道を中心として河南省中棉作の最も盛なる地帯なり、棉作地は靈寶、閿鄉、陝縣、洛陽偃師、鞏縣等とす。

3. 予東區は河南省東部の大平原を包含するも一般に棉作振はず僅かに太康縣のみが唯一の棉作地なりしが最近に於ては杞縣、睢縣、淮陽等に漸次普及分佈を見つゝあり。

4. 予南區は北方及西方は伏牛山に、南は湖北省界に接し、棉作中心地は鄧縣、新野、唐河の諸縣とす。

二、生産狀況

北支棉花の生産高は民國二十五年(一九三六年)に最も豐作を傳へられ約六百萬擔の多きに達した。

棉田面積の最大は民國二十六年であつて三千萬畝に達し産額の増大を予想せられたのであるが事變勃發によつて多大の影響を蒙り産

額は五〇〇萬擔に過ぎず、民國二十七年に於ては北支の治安は稍安定を見たるも事變の余塵所々にあり、二十八年は特に春季の旱魃と未會有の大水害を蒙り大減收を來し増産途上にある北支棉花に大支障を來に至つたのである。(未完)



開封新民會合作社、三十年度第一次各區代表通常大會

華世に躍進する合作社群像

房山縣に於ける合作社運動

回顧と將來への對策

房山縣 松井憲孝

本縣は北に宛平南は涿水、兩縣に隣接し縣下の地は所謂太行山系に屬する山地地帯にして地下資源には恵れあるも、自然耕地面積に乏しく、爲に縣内所産の物資のみにては到底十八萬縣民



の食糧としての自給自足化は望み難く他よりの補給を迎がざるを得ぬ状態なり。然るに事變以來治安の不良と交通の不便は物資の流通搬入の円滑性を欠き二十八年度は年來まれに見る大水害を蒙り農作物の大半は流失し加之物價は漸次高騰の一途を辿り農民の生活窮乏は其の極に達し爲に民心は生彩を失ひ意氣消沈の状態にありたり。

此の間にありて本會は二十八年四月購買部を縣城内に開辦し漸次組織を見たる郷村合作社を通じ一般民衆對する食糧物資の低廉配給化に力を傾注し來れり。然して(二十九年)本年に

於きては一般農作物は半年作なりしも治安の回復と相俟つて地下資源の開發も漸く活潑となりたる爲益々食糧の不足を告ぐるに到れり。

以上の如く本縣は食糧の自給は望み難きを以つて自給之が解決策としての合作社の組織運営が必然的に促進せらる可き條件下にある。

斯如き状態に對應して縣城内に購買部を開辦以來之が對象として現在迄に既設

地方消費合作社七十五社を有し社員も二千名近くに達し、過去二年間に亘り之が運営指導に當りしも一般民衆の合作社に對する認識程度は低級にして且又各郷村合作社の内容設備等も不完

全にして、然も人的要素に恵れず、かてて加へて購買部の運轉資金の過少等に原因し其の實績を擧げ得ざる情況に鑑み。

本年度の對策

三十年度に於きては人的

訓練と相俟つて資金の増強と、下部組織の適切なる指導に重點を置き、消費合作社の合理的なる發達を助成せしむる方針のもとに地域的重點主義を採り縣城購買部を軸樞として縣下三ヶ所(概ね交易場所在地)に支部を設け即ち東北地區坨里、東南地區長溝鎮及蘆村に各支部を設定し各々之を中心とする周邊優良消費合作社十ヶ村を限定し該購買部支部の對象たらしめ物資の圓滑なる配給化を企圖す。

冀東に於ける合作社を

かく指導、展開せんとす

新民會冀東道辦事處

横山源作

本文は民國三十年五月わが冀東道に於ける合作社運動をかく指導し而して逞ましき前進、展開を期すべく過日管下各縣宛送付せる合作社指導案であるか之を廣く本誌上を藉りて發表し諸賢の御批判、御叱正を希ふ次第である。

一、緒言

我が冀東道に於ける合作社運動も軍其他各機關の直接的間接的指導後援と其の指導者責任者の研究努力等幾多の變遷を経て昨年度に至り漸く其の軌道に乗りたる感あり、茲に於て吾等は半封建的なる搾取下に在り苦闘に壓せられつゝある勤勞農民層の厚生と國防經濟の確立とに思ひを致し各種個人的感情を一擲し大乗的な見地より尙一層の研究と努力を爲さむことを期し各種工作と相共に民心把握に留意し冀東の治安確立に貢獻し而して合作社自體の正常なる進展を計り以て華北をして國防に寄與せしめんとす民國三十年度に於ては、冀東地區の現狀に鑑み左記の如く立案計劃し之を實施することに依り急速なる合作社の發展を期す。各指導者は本案を批判研究し取捨選擇狀況に應じ改善し以て工作に資せられんことを乞ふ。

一、指導要領

1. 機構の整備

(一) 縣合作社聯合會の全般的設立 冀東地區の現狀

を見るに漸く全般的に縣合作社聯合會設立機運濃厚となりつつあるも未だ設立を見ざる縣も二、三を數へられるに付き其の治安狀況を考慮の上各機關と連絡協調し單位合作社を組織することに依り縣合作社聯合會の設立を計るものとす。

尙ほ治安不良なる地域に在りては全般的なる單位合作社の組織は困難なるものと思考せらるゝに付比較的良好なる地域より開始し二、三完了せし場合直ちに縣合作社聯合會を設立し其の機構の整備と共に漸次各機關と協力組織の擴大を計るものとす。

(二) 有爲人材の充實 現在各縣共に合作社的技能に秀でたる者至つて少なく合作社の發展は有能人材の有無に係るものなるを以て各縣共人材の採用育成に努むるを要す徒らに職員のみ多く採用するは經費の關係上困難にして能率も上らざるに依り極力人材の抽出に意を用ふること即ち訓練、訓育に

依り向學心を興し精神、技術の向上を計らざる可からず。

之れ合作社進展の一大要因なり。

(三) 職員の訓練と講習會の開催 縣合作社聯合會の職員は道辦事處に於て講習會を開催し精神方面技術方面の育成に努めんとす。

定期的には年二回とし外臨時に數度開催す。尙ほ講習内容は指導者としての精神訓練に重きを置き他方合作社運営上の技術をも併せ行ふものとす。縣に於ても同様鄉村合作社の擔當者を招集し定期的臨時的に舉行するを要す然して人材を養成し單位合作社の順調なる進展を期せられ度し。

(四) 合作社經理の明確化 合作社設立の當初に於ては新民會經理と合作社經理とか混同して居たる處があり、或る方面よりは「新民會は法的なる單位合作社を組織せず只單に名稱を附せるのみにして之を運営しいたる状態では合作社的工作ではな

く厚生工作の部門に外ならぬ」と酷評してゐた。之は組織自體も充分ならず且つ經理も有無融通してゐた處も有りたるを非難したるものと思考せらる。故に現在では充分考慮されてゐるも尙ほ一層經理を明確に分離し世評を排斥するを要す。特に縣新民會事務局と合作社聯合會との經理に留意し而して鄉村合作社の監督指導に當るべきと思ふ。

(五) 指導事務の積極化 現在合作社に於ては唯單に鄉村合作社を組織したるのみにて其の充分なる指導は閉却されてゐるやの感あり。

之は「組織的組織」にして之を育成指導することに依り單位合作社としての機能發揮し然して縣合作社が進展するものなるを自覺し事業運営にのみ終始せず、指導方面にも極力意を配る必要あり。

(六) 縣新民會等指導監督機關との連絡強化 治安の確立明朗行政の實施、民生の安樂、文化の向上等對共工作を目標として全

2. 組織工作

力を擧げて工作に邁進しつつある今日、人事問題其の他個人的感情に依り綜合力の發揮も充分ならざる處無きにしも非ず。故に縣、新民會、合作社と三本立ちの立案を排撃し綜合的計劃實施をなし強力なる統制を加ふるを要す。

(一) 重點主義の採用 本年度に於ては特用作物副業殷盛なる地域、或は最も疲弊せる地域又最も指導容易なる地域の何れかを選ひ縣、新民會、合作社と協議の上縣實驗鄉村を選定し各種工作の綜合力を集中し以て同縣の模範村たらしめ、漸次縣下に浸透せしめる如くす。勿論合作社のみの實驗村を指定するも可なれと出來得れば縣、新民會合作社の綜合指導可能なるが効果も大なるものと考へらる。

(二) 鄉村合作社の法的整備 社員なき合作社は存在し得ず。社員と認めらるるにそれが必要なる手續きを要するは言を俟たず。故

に治安良好なる地域に於ては人社願書の整理、股金の徴収（未納出資金をも含む）股票及證明書の發行等々人社に必要な手續を整備すると共に郷村合作社に於ては創立決議書、登記書類、社員名簿等を完備せしめ名實共に單位合作社たらしむる如くす。

又縣合作社聯合會に於ても備付文書を整理整頓し而して事務の敏速化を計るものとす。要は對民衆工作に有りと雖も事務上整理無からされ其の正常なる工作の發展は望まれません。

(三) 實態に則應せる組織工作の實施 農村の實態を知悉せしめて單位合作社を設立する處も往々にして見受けらるるが充分なる實態調査(地域、經濟、政治、風俗、習慣等)をなし之に基き設立する如く指導せざる可らず。殊に郷村制度の明確ならざる地域に在りては慎重なる調査を行ひ行政的、經濟的活動の容易なる如く實施するを要す。或る段

階に於て統合分離せしむるには民心の動搖を來す懼あり。

(四) 既設單位合作社内の經濟調査の實施 郷村は勿論縣の經濟狀態を知らずして經濟團體たる合作社を獨善的に運營、指導することは合作社それ自體を滅亡に導くはかりて無く農民の苦惱を益々増加するものにして之の再設は亦至難なり。

故に生産、消費、金融等地域の個別的に綿密なる調査を實施すると共に内の狀況に應じ合作社の運營、指導を計るものとす。

(五) 匪區に於ける合作社組織 軍、縣、新民會の綜合的工作と併行して合作社的工作を漸進せしむるは勿論なれと要は治安工作に貢獻する意識の下に匪區流失物質の防止を目標とし合作社組織を作るものとす。比較的治安良好なる地域は單位合作社としての設立をなし中間地區に於ては強制的全戸加入主義を採り經濟統制を實施し軍、縣、新民會と協力良民倉庫(半義倉

的)の設置をなと其の工作過程に於て單位合作社又は合作社的事業として運營可能なる如く指導す。

尤も法的手續、出資金の納付等煩雜なる事務は強制せざるものとす。

(六) 優秀社員の獲得と合作社の全般普及 指導者自身の名譽欲を満足せしめんかため、民衆の心理や合作社の本質を理解認識せしめて徒らに出資金の多少を論ずるは其の當を得ざる指導者と信す。合作社を如何にして農民の心理に迎合せしめるかが合作社の現段階に於ける一要因と思考せられ合作社に依る經濟統制は未だ不可能なり。農民の生活程度、合作社の認識度、合作社自體の活動程度に依り充分社員の満足を得るは困難と察せらる、今日強制加入(治安良好なる地域)は農民の不滿反感を助長するものありと危懼せらる。故に優秀の社員を獲得に努め之の利用と啓蒙宣傳、訓練等に依り漸次合作社運動の普

華北合作社の現勢

華北に於ける合作社の現勢を示す正確なる統計は現在のところ集計甚だ困難なる状態にある。しかしながら盡せるだけの手を盡して得たる二十九年年度末現在に於ける數字を第一次調査として示せば次の通りである。但し活動せる合作社にして二十九年中報告せざるものはこの數字中に含まれざるは勿論であり、又たとへ報告ありたるも數字記載なきは之亦集計の方法がな

華北合作社組織に関する調査

民國二十九年度末

省	道	縣	名	合作社數	社員數	出資數	同拂込濟額
河北	冀東	臨榆	名	4	67	35	76,000
		撫寧	名	4	2,000	2,000	5,000
		昌黎	名	6	26,500	36,000	3,600
		盧龍	名	3	4,500	6,300	5,100
		遷安	名	6	6,700	6,600	1,000
		灤縣	名	3	1,100	1,200	2,000
		樂亭	名	3	3,400	3,400	6,200
計				33	47,700	53,500	26,800

省	道	縣	名	合作社數	社員數	出資數	同拂込濟額
河北				3,800	39,200	36,000	35,500
山東				2,000	69,500	28,300	17,300
山西				3,700	55,500	7,100	15,000
河南				2,500	22,300	10,000	4,800
蘇北地區				30	6,500	24,600	6,900
特別市青島				4	14,300	1	1
計				33	47,700	53,500	26,800

及を計るものとす。
功を急ぐは疎にて缺く懼あり。

3. 啓蒙宣傳工作

(一) 総合的巡回工作の實施
個別的な工作は効果の薄く多額なる經費を必要とするに依り軍、縣、新民會と協議し巡回工作班を組織し單位合作社の指導監督に當り綜合的工作に積極的參加をなすものとす。

(二) 劇場各種會合の利用
(講演)

(三) 漫畫に依るもの
各校に依頼し合作社啓蒙宣傳資料たる漫畫を作製せしめ募集するは學生の關心を得ると共に之を印刷貼布することに依り識字度の低い農民の啓蒙を促すは一舉兩得なり。

(四) 紙芝居、劇等に依るもの

(五) 事業に依るもの
事業を實施する場合は啓蒙宣傳工作と併行する如くし直接利潤と結び付けること。

(六) 農事指導に依るもの
農産品評會、病虫害驅除、種子配給耕作指導等實施

する場合之に附隨して合作社的啓蒙宣傳工作をなすと同時に規格の統一を計るへし。

(七) 事業表、工作月報及年報等に依るもの
縣合作社の事業及工作狀況を各單位合作社に知らしめ啓蒙宣傳工作に資す。

(八) 各種訓練講習會に依るもの
軍、縣、新民會に於て實施される各種訓練及講習會に於ては合作社的科目を取り入れ各方面各層に亘る合作社運動を展開する。

(九) 青訓卒業生、青年團、新民會各分會に依るもの
鄉村に散在せる各種團體と合作社との緊密なる連絡を保たしめ縣新民會を通しての啓蒙宣傳を實施するものとす。

4. 事業の實施

(一) 信用事業

イ、貯金業務の實施
年未配當金又は春耕貸款棉産貸款、秋耕資金等の利息の一部は單位合作社名義の貯金として縣聯合會に預金せしめると共に個人預金に就いても勧誘宣傳をなし

之の實施に努むるを要す。尙ほ購買、販賣等の事業に依り貯金業務の擴大に努む。其の利率は現代金融機關を參考とし決定す。

ロ、貸付業務の擴大
現在合作社に依るは春耕資金、棉産資金等に限り貸付業務を営まれてゐるか資金の許す限りこの範圍を擴大し小麦貸款又は蔬菜栽培、副業股盛なる地域に對しても小額、短期貸付を奨励し資金の還流を計る。但し生産資金を目的とし消費貸付に於ては現品貸付以外實施せざるものとす。然し之等に要する書類、帳簿の完備を期す。

ハ、社員信用調査の實施と査定
社員貸付をなす場合は其の信用調

縣	金額	件数	平均
豐田	2,100.00	1	2,100.00
玉山	3,300.00	1	3,300.00
唐山	1,500.00	1	1,500.00
寧河	3,300.00	1	3,300.00
安次	1,500.00	1	1,500.00
安次	1,500.00	1	1,500.00
武清	1,500.00	1	1,500.00
滄縣	1,500.00	1	1,500.00
東交	1,500.00	1	1,500.00
固安	1,500.00	1	1,500.00
懷柔	1,500.00	1	1,500.00
密雲	1,500.00	1	1,500.00
平谷	1,500.00	1	1,500.00
順義	1,500.00	1	1,500.00
昌平	1,500.00	1	1,500.00
通縣	1,500.00	1	1,500.00
香河	1,500.00	1	1,500.00
大興	1,500.00	1	1,500.00
保定	1,500.00	1	1,500.00
清苑	1,500.00	1	1,500.00
定興	1,500.00	1	1,500.00
新城	1,500.00	1	1,500.00
徐水	1,500.00	1	1,500.00
新樂	1,500.00	1	1,500.00
定縣	1,500.00	1	1,500.00
易縣	1,500.00	1	1,500.00
涞水	1,500.00	1	1,500.00
涿州	1,500.00	1	1,500.00
保定	1,500.00	1	1,500.00

査をなし之を査定し又は理事長(社長)の保證を求むる等、回收の安全を計るものとす。

(二)購買事業

イ、投機的思想仕入を排斥す 専務理事或は又其の擔當者の投機的思想仕人に依り當合作社を破産に導く懼あるに付き社員、合作社利用状態及意欲の察知に努め獨斷的の事業實施は或る程度注意を要す。

ロ、品目を限定し餘り廣範圍に亘らざること
ハ、現金買の獎勵をなす
ニ、學校消費合作社の統制 學校單獨にて小規模なる消費合作社的な事業を営み居る處もあるに付き之を統制し且つ至便ならしむるため

(四)生産利用事業

合作社の現段階に於て資金の固定化をなすは未だ早急なるに付き新農會勸農場等の利用又は農機技術上簡易なる病虫害の驅除、優良種子の配給より着手し多額の設備資金を要するものは實施せざるものとす。

但し利用共同作業に關しては研究し將來の實施に備へるものとす。

(五)交易場

全縣に亘り雜穀交易場を開設せんとす。合作社に於ける目下の収入は購買事業に俟つ状態なれと物資の高價と商業機構及社員の合作社認識不足に依り漸次自己資金の漸少を來す懼あり。故に限定物資の一手購買に依る収入

と交易場収入に依り資金の蓄積を計る外なし。

各縣に於ては早急雜穀交易場を開設するを要す。

イ、設備は簡單にして改造家屋或は露天利用

ロ、商品は見本取引

ハ、計畫の確實化

ニ、購買品賣場の附設

ホ、可能なる縣に於ては休憩場の附設

ヘ、取引商人保證金及買付保證金の徴收

ト、手数料は従價の千分の五以上百分の一以下

チ、可能なる縣に於ては家畜及特産物の交易場新設

リ、特殊産物の強制取引

(棉花其他)

(六)農業倉庫業

イ、交易場に附設のこと

ロ、治安不良なる地域にありては半義倉の良民倉庫を軍、縣、新民會と協議の上設置し漸次合作社の事業に導入する

ハ、倉庫關係上混合保管を採用す

ニ、保管は一月を限度とし時後更新を行ふ

ホ、料金は一ヶ月一石付

定 眞	石門市	三五、四六〇	一、五〇〇	三、八六、〇〇〇
順 德	深鹿縣	？	一、三〇〇	三、〇〇四、〇〇〇
	東鹿縣	？	一、三〇〇	三、〇〇三、〇〇〇
	冀縣	？	一、〇〇〇	八、〇〇五、〇〇〇
	晉縣	？	一、〇〇〇	二、〇〇四、〇〇〇
	趙縣	？	一、〇〇〇	一〇、〇〇三、〇〇〇
	樂城縣	？	一、〇〇〇	三、〇〇七、〇〇〇
	平山縣	？	一、〇〇〇	一六、九一八、〇〇〇
	井陘縣	？	一、〇〇〇	一〇、〇〇三、〇〇〇
	元氏縣	？	一、〇〇〇	二、〇〇五、〇〇〇
	高邑縣	？	一、〇〇〇	？
	計	？	？	三三、八〇八、〇〇〇
順 德	邢台	三、〇〇〇	一〇、七五三	一〇、〇九四、〇〇〇
	內邱	五	一、七九八	二、七九七、〇〇〇
	南宮	三	一、三三三	五、二〇九、〇〇〇
	威縣	三	一、三三三	三、三三九、〇〇〇
	計	一一	三、二一七	三、三三九、〇〇〇
冀 南	磁縣	三	一、〇〇〇	六、八八八、〇〇〇
	邯鄲	三	一、〇〇〇	？
	計	六	二、〇〇〇	？
山 東	臨縣	八	一、六三〇	六、八八八、〇〇〇
	德縣	一	二、九七五	五、九七五、〇〇〇
	臨清	二	六、〇〇〇	八、一五八、〇〇〇
	計	一一	一〇、六〇五	一〇、一〇四、〇〇〇
濟 南	歷城	五	三、三三三	三、八七二、〇〇〇
	長清	七	一、三〇〇	三、一八五、〇〇〇
	濟陽	八	一、〇〇〇	三、五八〇、〇〇〇
	齊河	〇	？	？
	章邱	五	一、三〇〇	七、三三〇、〇〇〇
	計	二五	六、九三三	一四、五四七、〇〇〇
泰 安	泰安	二	一〇、二二五	三、三三〇、〇〇〇
	計	二	一〇、二二五	三、三三〇、〇〇〇
兗 州	濟寧	六	一、〇〇〇	四、七六〇、〇〇〇
	濟寧	六	一、〇〇〇	一、八六〇、〇〇〇
	計	一二	二、〇〇〇	六、六二〇、〇〇〇

つて見る。勿論これは北京市内よりも城門外即ち東西南北の四郊農民厚生工作としての計畫として見てよいだらう。大都市近郊農村なるものは大體に於いて非常に複雑した社會、經濟關係にあり、新民會厚生工作として非常な困難を伴ふであらうことは想像されるがこの困難を冒しての北京市特別市總會の意圖と計畫は高く買つてよいであらう。ただ編者としての希望を一言するならばこの販賣所を單に北京市特別市總會のみのものとせず近縣各合作社の共同のものたたいうしめ、尙又合華北農産品の常設陳列所たらしめたいものだ……と。

二、四郊農産品の生産狀況

産狀況

北京四郊面は積八十七萬

まづこの計畫の基礎となる北京市蔬菜類の需要狀況、四郊農産品の生産狀況、その販賣狀況等を見ることにする。

一、北京市蔬菜類需要狀況

要狀況

東西南北の四郊は中國に於て冠たる人口百七十萬を有する大北京市を圍む。今この北京市民の直接生活に要する主要食糧農産品のみにても年額一億四千三百余萬圓にしてその内蔬菜類の需要消費年額は七百三十四萬圓に達してゐる。これ等蔬菜類は北京市の外周即ち四郊農民の手によつて生産せられたものが五百十四萬餘圓にして約七十%を占めてゐる現狀である。



四千七百三十五畝、内耕地面積六十八萬三千九百九十八畝、總戸數十四萬一千七百八十八戸、總人口七十萬八千八百九十二人、内農民戸數八萬二百八十三戸、此の

人口四十三萬八千五百三十一人にして是等農民の蔬菜類栽培面積二十一萬二千四百畝其他栽培面積四十七萬三千七百七十四畝である。而して農民一戸當りの平均年収入百二十四圓である。茲に於て新民會北京特別市總會は感ずる處あり各四郊に辦事處を設け部員派し専ら銳意農民の身心善導、農作物の品種改良栽培法の改善を謀るに青年訓練所に農村子弟を收養しこれを教育すると同時に試験地に各種農作物を栽培し改善の範を垂れると共に各農民分會に呼掛け農村及農作物の一大改革を實行しつつある。而して今尙北京市民需要に對する四郊よりの供給不足額二百二十萬餘圓の蔬菜類も近

省	縣	面積(畝)	人口	蔬菜類生産額(圓)	其他農産品生産額(圓)	總生産額(圓)
冀寧	文水	二	三九六	三、八六	一六、五七〇〇	二〇、四三〇〇
	太原	五	三、八八	五、三七	一〇、五五〇〇	一六、九二〇〇
	交城	一	二九	五、五	一一、二〇〇〇	一六、九二〇〇
	和順	一	一〇〇	?	?	?
	遼縣	三	六三	?	二、八四〇〇	二、八四〇〇
	汾陽	三	一、三〇	?	二、三〇五〇〇	二、三〇五〇〇
	平遙	二	?	?	?	?
	介休	二	二、五〇〇	四、〇〇〇	?	?
	襄垣	二	八五〇	八、五〇	?	?
	霍縣	一	二、〇〇〇	?	?	?
	臨汾	一	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇九〇〇〇	二、〇九〇〇〇
	洪洞	一	?	?	?	?
計		40	一、三、三、三	一、六、四、二	四、三、三〇〇〇	六、七三、〇〇〇
河東	長治	三	四、七五	五、三	?	?
	屯留	一	四、九三	四、七六〇	?	?
	潞城	一	四、一七五	六、九八三	?	?
	壺關	一	三三八	三三八	?	?
	長子	一	一〇七	?	?	?
	長子	一	?	?	?	?
	壺關	一	?	?	?	?
	曲沃	三	三、九二六	?	五、〇〇〇〇〇	?
	翼城	一	?	?	?	?
	安邑	二	一〇七	一、〇〇〇	一、三三〇〇〇	一、三三〇〇〇
	新絳	三	三、四四六	三、一〇〇	九、〇六〇〇〇	九、〇六〇〇〇
	聞喜	二	六五〇	六、五〇	?	?
	猗氏	一	七〇	七、五	?	?
	河津	二	三、五〇	三、五〇	七、〇〇〇〇〇	七、〇〇〇〇〇
	萬泉	二	一、〇八四	?	?	?
	絳縣	一	三、三	三、六	七、九二〇〇〇	七、九二〇〇〇
	榮河	五	九六	?	三、五二〇〇〇	三、五二〇〇〇
	解縣	三	二、七九	?	八、三三〇〇〇	八、三三〇〇〇
	永濟	一	?	?	七、〇八〇〇〇	七、〇八〇〇〇
計		40	一、三、三、三	一、六、四、二	四、三、三〇〇〇	六、七三、〇〇〇
河南	新鄉	三	一、二、一、五	一、二、一、五	一、七〇七、〇〇〇	一、七〇七、〇〇〇
	計	40	一、三、三、三	一、六、四、二	四、三、三〇〇〇	六、七三、〇〇〇

く四郊をして補はしめ、加之長足の大發展をなしつつある大北京の將來に對處するの方針と覺悟とに依り既に五箇年計畫を樹立漸進的に年産蔬菜類一千萬圓實現目標に著手し以て市民の蔬菜不安を除き延いては四郊農民の福利増進、生活の安定を圖るに邁進しつつある。

三、蔬菜類の販賣狀況

極小數の農民と自作蔬菜を人肩小車に依り搬出し直接北京市需要者に販賣する者あるも、貴重な努力消費を考察する時は決して利益に非ず、残る大部分即ち九〇%の農民は自宅に於て出張商人の手に托す。是等商人は各最寄の小市場にて賣捌き更に是等蔬菜は城門外中市場にて集散し、是が城内蔬菜市場に現はれるか又は直接需要者の手に入るかの経過にて、尠く共三回乃至四回人の手を経ると共に市場手数料として一個毎に賣價の一〇%程度を引去ら

るを常とす。斯くして生産者は中間搾取を受け需要者は枯渇に近き品を而も甚だ高價にて求むるの状態にある。

四、農産品合作販賣所設置

この必要は既述の如き不合理且つ不統制なる販賣方法を打破し以て生産者の福利を圖り需要者は新鮮にして安價なものを求め得る機關を設けることは最大の急務とす。今若し此の機關無かりせば産業獎勵たるや根柢轉倒の策と云はざるべからず。

茲に於て生産者、需要者の間に起つて糾旋するは新會本來の使命とす。故に新會は進んで萬障を排し農産品合作販賣所を速に設置すべき秋であると思考す。

五、農産品合作販賣所の機構

販賣所の位置、販賣所(市場)を北京市内數箇所又は北京市外最寄各四郊別に設けるの意見ある士なきを疑

はず是れ當然の觀あるも各郊の土質習慣に依り農産品は區々にして等しからず大市場は

第一、必ず各種の品物の揃ふこと

第二、必ず統制あること

第三、必ず必需者の出入に交通便利なること

是等三要素を案する時は北京市内中央に一大市場を一箇所設置し名實共に三要素を具備せしめ他方各郊内に數箇所農産品の集收場所(集荷所)を設置すべきものとす。

機構 新會會主掌監督の制として各農民分會より農民の總意を代表する信望ある委員並に事務員を若干選出し經營に携はらしめ各郊の廣狹交通關係を考慮各郊内に數箇所の集荷所を設け自動車及馬車をして市場に搬入すしむること

販賣方法

一、一般品は競賣制に依ること
 二、特産品は特約販賣制に依ること
 三、小賣部を設け接需要者に供給のこと

豫東	豫西	豫南	豫北	徐海	宿遷	計
一	一	二	二	二	六	二
三六,000	三六,000	七二,000	七二,000	七二,000	四三二,000	一,000,000

【附記】

一、第一次調査のその一としてを發表するが。
 二、六月以後報告なきものは五月までのものに由り。
 三、報告を呈示せざる合作社は抹消せざるを得なかつた。
 四、組織機構の整備されんとするときかゝることなきやう差迫つて必要とされるにつき未報告合作社は二十九年度末現在狀況を速刻に報告せられを。而して正確なる調査表たらしめるためにも。

五、「その二」に於て事業内容を大體次號で發表することが出来ると思ふ。
 六、次に報告呈出縣乃至未報告或は未組織の縣を示せば次の通りである。

合作社を組織せる縣

【河北省】臨榆、撫寧、昌黎、盧龍、遷安、樂亭、豐潤、玉田、唐山、寧河、安

【山西省】解、代、五寨、寧武、神池、繁峙、陽曲、太原、清源、徐溝、榆次、孟、壽陽、昔陽、文水、太谷、交城、和順、遼、汾陽、平遙、介休、襄垣、霍、臨汾、洪洞、長治、屯留、潞城、壺關、長子、汾城、曲沃、翼城、安邑、新絳、聞喜、蒲氏、河津、萬泉、絳、榮河、解、永濟、

豫算

固定資本

三〇、〇〇〇— 土地家屋買収費（土地二、〇〇〇坪、家屋一五〇）
 三、〇〇〇— 家屋改修費
 一、〇〇〇— 事務用器具費
 一、〇〇〇— 營業用器具費

小計

三五、〇〇〇— 十箇年償還（一箇年三、五〇〇圓）
 二〇、〇〇〇— 自動車二臺費、五箇年償還（一箇年四、〇〇〇圓）
 計五五、〇〇〇—

流動資本

四〇、〇〇〇— 十箇年償還（一箇年四、〇〇〇圓）

合計

八五、〇〇〇— 借入金年利率一割とす

經常費

歳出（第一年度）

四二、〇〇〇— 所長以下所員二十六名 三一、二〇〇・〇〇
 備人 四、八〇〇・〇〇
 委員 六、〇〇〇・〇〇

三、〇〇〇・〇〇 家屋器具の修繕費

三、六五〇・〇〇 消耗費

三、五〇〇・〇〇 固定資本十ヶ年元金償還の年額

三、五〇〇・〇〇 年拂利息

四、〇〇〇・〇〇 同 五ヶ年元金償還の年額

一、〇〇〇・〇〇 同 年拂利息

四、〇〇〇・〇〇 流動資本十ヶ年元金償還の年額

四、〇〇〇・〇〇 同 年拂利息

三、〇〇〇・〇〇 雑費

計七一、六五〇・〇〇

經常費 歳入（第一年度）

一〇三、八四〇・〇〇

合作販賣所經營費として取扱売上金額の四%を徴収（引去法）す
 初年度は現年生産額四、二八五、〇〇〇・〇〇の六〇%を取扱ふ
 ものとして上記の通掲載す
 次年度より順進的に五ヶ年目には年取扱高一〇、〇〇〇、〇〇
 〇・〇〇を目標とす

【河南省】新郷、睢、
 【蘇北地區】豐、宿遷、
 【特別市】青島特別市

合作社の組織なき縣

※未報告縣を含む※

【河北省】遵化、興隆、寶坻、
 永清、霸、文安、大城、青
 新鎮、天津、宛平、良鄉、
 房山、涿、鹽山、慶雲、南
 皮、寧津、任邱、河間、肅
 寧、獻、交河、吳橋、衡
 水、武邑、阜城、故城、棗
 強、景、新海、容城、安
 新、曲陽、望都、蠡、博
 野、安國、行唐、高陽、完
 唐、雄、安平、新河、無
 極、寧晉、靈壽、深澤、饒
 陽、武強、贊皇、柏鄉、臨
 城、堯山、鉅鹿、平鄉、任
 縣、南和、沙河、隆平、廣
 宗、清河、鷄澤、曲周、肥
 鄉、成安、大名、長垣、永
 年、廣平、
 【山東省】萊城、文登、牟平、
 蓬萊、招遠、棲霞、萊陽、
 海陽、黃縣、威海衛、龍口
 萊州、平度、昌樂、高密、
 廣饒、高苑、博興、青州、
 臨朐、壽光、利津、蒲台、
 濱、濰化、無棣、陽信、武
 定、樂陵、德平、陵縣、臨
 邑、青城、平原、禹城、恩、
 高唐、夏津、清平、博平、
 東昌、堂邑、茌平、邱、館
 陶、冠、華、武城、陽穀、
 壽張、鄒平、齊東、費、日
 照、莒、沂水、沂州、諸
 城、萊蕪、新泰、肥城、平
 陰、東阿、東平、蒙陰、泗
 水、曲阜、寧陽、汶上、嘉
 祥、金鄉、魚台、鄒、單、
 城武、曹、定陶、曹州、鉅
 野、鄆城、
 【山西省】平定、樂平、定襄、
 忻、五台、靜樂、汾西、沁、
 武鄉、趙城、祁、孝義、靈
 石、中陽、離石、虞鄉、臨
 晉、浮山、安澤、稷山、襄
 陵、
 【河南省】新郷、睢縣を除き各
 縣
 【蘇北地區】豐縣、宿遷縣を除
 き各縣
 【特別市】北京、天津、

合作社要員の訓練

中央訓練處開處さる

華北に於ける合作社運動の系統機構確立と共に第一線に飛び出しこの運動の建設に邁進せんとする中心要員の養成をなす中央訓練處はいよいよ四月三日開處式を舉行、二箇月に亘る訓練が開始されたが要領並に訓練生氏名は左の如くである。

□目的

合作社を整備強化し以て會運動の進展を策するの目的を以て縣合作社要員並に會道辦事處更生關係者要員を養成訓練す

□訓練の主眼

1、指導者としての人格を練磨し識見を高むると共に合作社の經營の實踐的理論並に技術を習得せしむ

ロ、新秩序建設に必要な實踐的智識、方法、技術を

を習得せしむると共に特に新民會と合作社の關係を明確ならしめ兩者の有機的關聯に於ける實踐運動の態容を把握せしむ

ハ、訓練方法は實踐力の培養に主眼を置き訓練生をして研究創意工夫せしむる如く指導するものとす

□訓練期間

自民國三十年四月三日——至同年六月三日の六十一日間

□受訓生人員及資格

1、人員

縣合作社聯合會要員

日系六〇名

新民會道辦事處更生關係要員

日系二〇名

計

八〇名

ロ、資格

1. 新民會中央訓練處(興亞訓練處を含む)合

作社關係訓練卒業者中の優秀なるもの

2. 現在合作社關係業務に従事しある者及商業學校農業學校卒業者に

して將來合作社運動に従事するもの

3. 以上の資格を有し身體強健、健全なる精神を有する者にして特に合作社運動を希望し不動の信念を有する適格者たること

□訓練場所

北京梅壇寺新民會中央訓練處

□訓練内容

1、綜合教育 新秩序建設の理念及それに關聯せる一般的智識技術の訓練を目標とし「興亞訓練」と併合之を實施す

ロ、専門教育 合作社の専門的智識並に技術の習

得、及綜合的結論を得せしむるために研究會、討論會を實施し運動理念を統一せしむる如く指導す

ハ、訓育 全期を通し精神訓練を實施し且つ嚴格なる内務規律の遵守により堅實なる信念、純正なる思想の育成を圖る

ニ、華語教育 語學の重要性に鑑み華語教育を徹底す

ホ 教練、體操、作業、心身を鍛練し、その素質を向上せしめ、運動の如何なる困難性にも耐え得る身體を養成し且つ知行一致の訓練を行ふ

ヘ、研究會、討論會、座談會の開催 相互に研究し自己の向上を圖らしめ、且つ親睦を通じて同志的結合を圖るものとす

□訓練科目表

1. 特別教育科目 訓話、新民會の使命、模範地區工作要領、中國共產黨の現況、共產黨の現況、新秩序の理念、華北農業政

2. 普通科目 華北合作社組織運營大綱、新民會と合作社運動、華北農業概論(土地關係、小作關係、農業經營、流通關係、農村金融、租稅と灘派、農村社會生活、農村の實態)

3. 特別講義 河北省の合作社運動、山西省の合作社運動、山東省の合作社運動、良鄉縣の合作社

4. 華語(教練)

策皇道と王道、厚生工作方針、愛路工作、共產黨運動と新民會運動、新民會組織工作、從軍宣傳工作に就て、講話

2. 普通科目 華北合作社組織運營大綱、新民會と合作社運動、華北農業概論(土地關係、小作關係、農業經營、流通關係、農村金融、租稅と灘派、農村社會生活、農村の實態)

3. 特別講義 河北省の合作社運動、山西省の合作社運動、山東省の合作社運動、良鄉縣の合作社

4. 華語(教練)

策皇道と王道、厚生工作方針、愛路工作、共產黨運動と新民會運動、新民會組織工作、從軍宣傳工作に就て、講話

2. 普通科目 華北合作社組織運營大綱、新民會と合作社運動、華北農業概論(土地關係、小作關係、農業經營、流通關係、農村金融、租稅と灘派、農村社會生活、農村の實態)

3. 特別講義 河北省の合作社運動、山西省の合作社運動、山東省の合作社運動、良鄉縣の合作社

4. 華語(教練)

農産物交易場

とはどんなものか？

農産物の交易場とはどんな

ものであらうか？これを深く

掘り下げて見ることは刻下の

急務ではあるまいか。そして

これが華北農村に於いての地

位役割は果してどんなもので

あるか、たとへば滿洲に於け

ると異り商品作物に乏しい華

北に於ける交易場の役割如何、

流通過程に於ける諸矛盾の解

決が之によつてなされ得るも

のなりや、合作社側より見る

場合、その販賣事業との關係

如何、果して將來合作社の販

賣部門としての轉化が可能で

あらうか、又は農業倉庫とは

如何なる關係にたつものであ

らうか等々多くの問題を孕ん

でゐるのではないだらうか。

さて、まづこの問題の緒と

して少しく資料を提供してみ

やうと思ふ。

交易場の分布状況

まづ華北に於ける交易場は

どれ位あるかについて目下調

査中ではあるが今日までに判

明の分を掲げると次の如くで

あるが、讀者諸君として調査

洩の分御報告願ひければ幸ひで

ある。

河北省 三三(分場三五)

内譯—冀東道撫寧五(分

場一〇) 昌黎一(分場

五) 盧龍三、樂亭一

(分場七) 豐潤三(分場

一) 滦二、渤海道滄縣

一、燕京道良鄉一(分場

二) 房山一(分場三) 涿

一(分場三) 宛平一

(分場三) 大興一、通一、

保定道清苑一、徐水一

(分場一) 定興一、望都

一、易一、定一、鎮定

道正定一、趙一、晉

一、順德道邢台一、内

邱一、

河南省 二

内譯 彰德一、新鄉一、

山東省 五(分場一、出張

所二)

内譯 益都一、張店一、

滋陽一、濰一(分場一、

出張所二) 嶧一、濰一、

山西省 二

内譯 壽陽一、清源一、

交易品目

一般の交易場に於ては土産

の農産物(麥、粟、高粱、王

獨黎、落花生、棉花、豆類等)

決算に就いて

志戸本耕道

合作社が其一事業年度内に於て生じたる總取引の財産に及ぼしたる變動の結果を計算し、合作社事業の成績と資産負債の現在の状態とを明にすることを決算と云ふのである。斯くする事に依つて過去一事業年度間の事業ぶり、經營ぶりに付いて顧みて反省し検討し、善きは伸ばし、悪しきは改め、過ぎたるは矯め、足らざるは努め、更に新年度に對する新たな構想を以て新しい事業計畫を樹てるのである。決算は合作社事業の節を度するものであり事業中極めて大事なる事柄である。

合作社の正常健全なる發展を期する爲めには毎年毎年此決算を行はねばならぬ

二年も三年も只やり流しでするべつたりにして決算を行はぬ様な事は合作社として、凡そ禁物であり、又許されない。目下恰度各合作社に於て決算並其事業報告書作成に或は總會等に大重の事であらうと思はれるから此機會に決算手續き等に付いて一通り記述する事は何かの参考となりながら徒爾ではなからう。

第一、決算手續

- 1 棚卸の結果を夫々各補助簿に記入し、次に日記帳元帳へ記入すること(棚卸に付いては後詳述)
- 2 補助簿の各口座を締切つて各口座の残高合計と元帳の當該口座の残高と突合せ之を符合せしむる

を取扱ひつゝある。良郷縣徐水縣等に於ては之に家畜(馬、豚、牛、家鴨、鶏等)をも加がへてゐる。

山東省の莒煙章交易場、豐潤縣河頭の豚手交易場等がある、今河北省徐水縣交易所(昨年五月開設)に於ける昨二十年五年度交易品目、その金額、

交易品目	數量	金額	手数料	取引人數
棉花	一、〇七九、九八九斤	三九一、一五一・一〇	一、九五九・一六	二、〇九九
猪	一一、九〇九口	五八六、五二四・四〇	二、九四二・六六	三、九三一
牛	一一六頭	一六、二五二・〇〇	八一七・〇〇	一一一
馬	七九匹	八、二一九・五〇	四一四・〇〇	七六
驢	四二五頭	三六、〇二六・五〇	一八〇・八〇	四二二
羊	二七七頭	五八、五六八・〇〇	二九三・八四	二七三
黃豆	九六〇隻	五、〇三五・〇〇	二五・二〇	八
黃米	二、四八三斗	七、七九九・八〇	三九・八八	五一八
蕎麥	三二六斗	一、二八八・四〇	六・五六	五四
米	三五九斗	七、七四・五〇	四・三八	一〇六
米大麥	三、八五八斗	一一、一三七・七八	五七・二四	九八六
綠豆	二、七五五斗	八、六八三・七六	四五・五〇	六七一
高粱	六五、二五九斗	一四一、二七九・六七	七〇七・八〇	六六三
黑豆	一〇、九六六斗	三〇、二九八・一二	一五一・五二	一、八二八
小米	八、七八九斗	三三、六九〇・八〇	一六九・〇〇	一、九三四
小麦	六四、二二三斗	二〇一、七二四・九六	一〇一七・七一	三、五二五
玉米	五四、〇八八斗	一一五、四七〇・九四	六三〇・八七	二、一二七
芒大麥	二四、九八六斗	五三、九五〇・九二	二七二・五四	七五二
小豆	一一二斗	三三七・四〇	一七八	六二
土布	一一八、八七五疋	一一、四五九・四五	六五・六二	一、一四二
麻	五、五四〇領	八、二九八・一〇	七二・二一	二、七四三
芝麻	二、三三〇斗	一一、二二一・八五	六一・二〇	四〇九
穀子	一、五四八袋	二、〇二九・四九	二〇・九〇	八一九
豆子	二〇、八六二斗	四二、二四九・三八	二二一・八二	三八一
江豆	五五二斗	一、六一六・三〇	八・二八	八五

手数料及び取引人數を見るに次の如くである。(漕河分場を除き)

- こと。
- 日記帳の受拂合計をなし残高金額を求め當日の現金と突合せすること
- 元帳の末尾に「損益」及「資産負債」の二口座を新設すること。
- 元帳各口座の受拂合計を作り其残高を求めて一旦締切りを爲し、而して其残高の資産負債に屬するものは摘要欄に朱書を以て資産負債と記入し残高が貸方であれば拂に、残高が貸方であれば受入に残高金額を朱書し受拂合計を平均せしめ之を締切るのである。
- 損益に關する科目のものも摘要欄に損益と朱書し同様の手續をなすこと
即ち全科目を夫々科目の性質に應じて資産負債に屬するものは新設の資産負債科目へ振替へ損益に屬するものは新設の損益の科目に振替へるのである(次項参照)
- 損益に關する科目は元帳末尾に新設の損益科目口座へ朱書したる受拂を反對に轉記し、摘要欄には其勘定科目を記載すること
資産負債科目關係に付いても右同様の方法を以て末尾の資産負債科目へ轉記すること
- 日記帳現金残高を元帳資産負債勘定口座の貸方へ轉記すること
- 損益科目口座の受拂合計を作り其の残高を求めて締切るのであるが其差額に付き受入多きときは剰餘金支拂多きときは損失金となるを以て何れか少なき方へ剰餘金又は損失金と摘要欄に朱書し合計を作る(損益計算作成の基礎)

黍子	九七三斗	二、〇五七・二〇〇	一〇・四四	一一五
大米	三六〇斗	一、七二八・五五	八・六六	七七
花生	一四、八四九斤	三、七六六・五七	一八・八六	六一
雞	一九一隻	二〇五・七五	一・一二	一九
繭花	三六、六九八斤	五二、六六六・三六	二六三・三八	一四
莞豆	一、八一〇斗	四、六五一・七〇	二三・二六	一
大豆	二、〇〇〇斤	二五六・〇〇	一・二八	一
合計		二、五三三、一一一・一六	二二、七四四・九〇	一七、三四三

(但し合計額は漕河分場の分を含む)

交易場に就て 良郷縣に聽く

昨年度より北京に於ける物價、物資の統制は地方農村に影響すること甚大にして(貧農、中小商人、被雇人労働者、官公吏等その生活を脅かされ就中生産者たると同時に消費者たる中國農民の生活言語に絶するものがある。然るに北京に於ける物價、物資の統制は一應は合理的に公定價格の發表による物價移動の統制を強化しつつあるが斯かる公定價格に準據せる地方農産物交易場の現地公定價格は有名無實となる、強いて公定價格による交易をなさんとすれば縣内農生産物は總て縣外へ移出し暗相場による取引へと流動

す従つて現地交易場に影響する價格は北京に於ける公定價格にあらざりて暗相場なり。斯る現象に對しては現地交易場は之が是正の術なく、斯かる現象長期に亘る場合は交易場としての從來の本質的機能を顛倒し、購買事業部門に協力して缺乏糧穀の大量購入を計ることも變態經濟現象に對する一方策と思考さる。従つて農産交易場は

イ、當分の間公定價格(現地)を不必要とし民食補給するため合作社をして缺乏糧穀の購入(縣外)せしめ社員負担の軽減を計ること
ロ、縣公署の佈告せる糧穀出城禁止令を強化し之に要する必要検査人を重點地點に派す
ハ、交易場に對する事業の發展と不正商人の暴利を排除する目的を以て縣公署は之に必要な縣令を公佈し上場取引商人に一定の條件を附與す、之に要する縣令の草案は縣聯合社之を認め縣公署に申請するものとす
以上前二項に關しては現今の如き變態的物資流通過程に於て特に必要とする辦法なりと思考さるる問題にして、斯かる現象に對する方策こそ合作社事業に課せられたる一の任務と言ふべし。尙之等の完全なる目的を達する意味に於いて隣縣合同協議會を開催することの必要なるを痛感す
尙現在の經濟現象を戰時經濟體制の樹立に伴ふ一の反作

- 9 損益勘定の差額を資産負債勘定口座へ朱記と反對に轉記し摘要欄に損失金又は利益金と記入すること
- 10 資産負債勘定口座の受拂を合計するときは双方平均する筈なるを以て之を締切ること(貸借對照表作成の基礎)
- 11 以上資産負債勘定により貸借對照表を作り、損益勘定により損益計算表を作成すること
- 12 各種帳簿及棚卸表を参照して財産目録を作り元帳組合員名簿により事業報告書を作成すること

第二、決算に當り特に注意すべき事項

- 1 事業年度末の締切を故意に遅延せざること
 - 2 剩餘金を徒に多くせんとする觀念を以て決算に當らざること
 - 3 棚卸に當りては理事監事立會の下に左記に依り之を嚴格に行ふこと
 - 棚卸表を作成するに當つては合作社が所有する物品即ち土地、建物、有價證券、機械備品、購買販賣物品等に付其數量を調査し適正なる評價をなすこと
 - 又各債權即ち貸付金、掛賣金等に付いて其回收不可能の有無を調査し、又利息手数料其他經費等の内年度内受拂のあるべき筈のものにして受拂未済なりし金額を計算して最も正確に作成すべきものである
- 尙作成上特に注意すべき事項を左に列記する
(イ) 建物備品機械等は年々減耗するを以て一定賞印目標を對て毎年償却すること

用と見るならば平時經濟の到來することも合作社は一應考慮に入れおく必要がある。勿論設立當初に於ける交易場の本質には何等の變更を必要とせざるも今後左記の如き方策を實施することを妥當とす

- A 農産物検査規格の設定
- B 上場農産物中優良種の採種及之れが普及(採種圃を設置し優良種を配給すること)

C 検査規格の設定に伴ふ技術者の養成及採用

D 京津地方の價格を標準とする現地公定價格の交易は理論的には正當なるものとすも、より完全なる公定價格の設定と生産物の價值を附與する意味に於いて交易場は生産費調査及び生産量調査の實施をなす

D 交易場に於ける取引形態を糺取引となすを以て農産物價格の決定權を合作社員の間に確保し、資本純制の強化に對して全農業者を叫合するが交易場の之に於ては斯かる大事業を不可能とするを以て此處に農業者の開始が要請される。本縣に於て

は夙に新民會に於いて本計畫の立案を完了し、水害後の復興工事として新築交易場に附設せる農業倉庫の事業を開始し交易場の附帯機能たらしめ、農産物の配給過程を集中合理化することにより物

山東省 濰縣

資物價の統制並に農産物流通部門の整然たる秩序を確立し、平時經濟現象に對しては價格水準引上げにおいても効を奏し、工業品並に生活用品の價格及び農生産物價との均衡を得さしむるにある

濰縣は魯南地區の要地に於て鐵道の便なると相俟つて物資の生産流通は津浦線中濟南徐州間に於いて常に首位を爭ひ、土産物の縣外移出は今事變前一千有餘萬圓と稱せられ従つて他地方に比し既に早くより生産關係に於ても自給經濟を抛擲し、市場生産への貨幣經濟の強き流れに捲込まれ

つつも尙中國に於ける機構的性質としての半封建性は歐米資本主義の植民地的收奪に裏付けられ、遂に生産流通過程に於ても商品市場の正常なる發達を歪曲し、例せば

度量衡制度の亂脈、運輸交通の中世紀的様式、方法、農村金融の超高利貸的性格、市場操作、商人の投機性、貨幣制度の不統一、各種稅

法、軍閥官僚恣意的徵收等の流通過程に於ける桎梏として夙に於る現況の打破を強く要望されつつも、遂に今事變は中國機構改革、新秩序建設への楔として立表れ、遂に吾が濰縣に於ても合作社聯合會により昨年六月十五日物産交易所の設立を見るに至つた。

設立後半年餘で尙流通過程に於ける矛盾解決者としての機能は將來に残されし課題なるも一般生産者、商人、消費者の積極的協力は正しく斯る公共的性格と運営方針の成功を物語るものだらう。

次は太行山系麓房山縣は黙々たる松井縣總會次長の言に聞かう。

貸入調査一覽表

(ロ) 借入金利息、定期及据置貯金の利息等に付年度内の支拂に屬すべきものは損失に繰入るること。

(ハ) 受入及支拂に屬する利息及保險料等については其未經過分は其年度の損益計算中より除外保留すること。

(ニ) 事實收入せざる利息(未收利息)は之を計上せざること。

(ホ) 購買販賣生産品の殘高に付ては其數量を調査し不足分は之を償却すること勿論、評價は最も正當に見積らねばならぬ。

而して土地、有價證券、購買、販賣、生産品等は買入價格と時價とを比較し其の何れか低き方を以て表價すること。

(ヘ) 貸付金掛資金假渡金及既に收入に計上したる未收入利息等に付ては一々調査し回收不能のものあれば償却し資産の健實を圖ること。

以上であるが尙購買品の殘品調査の如きは殘品多數なる場合は調査に面倒な故を以て實際の現品調査をやらず帳簿殘高を以て年度末殘高とするが如き事無き様面でも人夫を用意して役員總がかりで必ず現品に當り所謂藏ざらへをなして正確な實際數量を調査すること肝要である、さもなくて帳簿のみで決算し二年三年と放漫なる決算を行ふて行く中に大穴が生じて合作社の成長に支障を來すが如き事なき様勵行すること。

2 剩餘金の處分に付ては成る可く配當を保留し財産状態を堅實ならしむことに努むること即ち各

物資の匪區への流出を 喰止むる房山縣交易場

まづ松井房山縣總會次長の言を聞く：「地元農産物の賣買價格の適正化とこれが處理の円滑化を期し、奸商等の中間搾取を妨止しひいては品種の改良、増産計劃迄進む目的のもとに縣下三箇所に新民交易場を設立せしが縣城及坨里長溝鎮各交易場週邊村のみは該交易場を利用し、かなりの實績を見つつあるも、之等の交易場より遠距離に位置し良郷宛平縣に近接する各鄉村は自然地理的に且亦從來歴史的經濟關係よりして隣接縣交易場を利用するもの多く爲に縣内の物資が他縣に流出するの弊害を生じ縣内食糧問題解決上見のがす可らざる問題なるに鑑み之が對策として該地區中心地點二箇所に交易場を新設し以て可及的に物資の他縣流出を防止し以て別述せる消費合作社の充實化と相俟つて所期の縣内食糧物資問題解決の役割を果たさしめ以て合作運動を通じての民心把握により會運動の組織網中に全縣

民を獲得吸収し新民縣建設に邁進せんとす」。

参考のため昨年度中に於ける本縣交易場交易額を示せば次の通りである。

編者註：房山縣では本年頭初の事業として同縣匪區の中心たる御村に敢然交易分場を設置したが（前號に寫眞の掲載あり参照ありたし）ために從來としく流出した物資が縣内に喰ひ止められつつある

月別	交易額
一月	一一五、四八七、五六
二月	五八、五四五、五四
三月	一〇〇、四四五、七八
四月	一〇〇、六四七、一三
五月	八一、〇四一、八六
六月	六九、五五四、〇二
七月	八四、四〇五、八一
八月	五四、一三〇、八三
九月	七二、六二九、九三
十月	一〇九、五八五、一八
十一月	九六、二九四、〇〇
十二月	九三、八九四、一三
一年分	一、〇三六、六六一、七七

滄縣の場合

交易場について滄縣の水滄氏（渤海道辦事處更生科）の案を見る。

複雑なる取引形態を整備強化し、合作社を通じての共同販賣に進ましめ取引の公正を圖り、農民の手取りを大ならしめ、且つ重要物資を確保するを主眼とす。

開設要領

1. 設置地 縣内物資流通状況を明察し之が主要地點に置く、可及的に從來の集市を改造する如くす
2. 買賣 交易場外の取引を禁止し買賣の方法によらしむ
3. 業務人 縣合作社聯合會に於て經營す。從來の集市仲介人（秤算り人）を一時的に廢棄するは社會不安を伴ふを以て慎重を期し當分交易場の交易單位を斗建として衡器を用ひてする斤建を廢し、斗建とした場合の秤量人として該業者を指導、合作社の使用人たらしめ合作社の指導下に置く
4. 手数料 從價又は從量とし從價千分の五位を適當と認

種積立金を多くするのである。

若し配當をする場合は出資配當を少なくし合作社の利用成績に依る特約配當に重きを置くこと。更に配當金は現金配當を避けて貯金に振替預入せしむることは貯金の習慣なき中國民衆をして貯金を初むるきつかけとなり貯金の如何なるものなるかを知らしめ社員教育の一法となるであらう。尙剩餘金は部落獎勵金債券（貸付金掛買金等）完納成績に應じての賞與等を行ふことも効果的配當方法である。

東亞協同組合協議會に出席

別項（三十三頁所載）第一回東亞協同組合連絡協議會は來る五月十日東京市に於いて開催の第三十六回全國産業組合大會を機會に同月十二日午前十時より東京市丸の内産組中央金庫五階講堂に於て開催することになり、千石産組中央會副會頭より出席を要請されたのでわが新民會中央總會に於ては藤井厚生部次長並に梶原囑託を右協議會に派遣することになった。

河北省合作社聯合會成る

河北省合作社聯合會は愈々去る四月二十日保定軍人會館に於いて盛大にその創立總會を舉行、各方面より多大に期待されつつ、近く事業を開始する運びに到つた。詳報は次號で特輯する。

ひ

該手数料は原則として合作社の收入に歸すべきも、前項集市仲介人(折量り人)包稅制度なるにより、斗牙稅を負担せざるべからざるを以て、包稅制度の廢止あるで徵收手数料の千分の三位を該業者に給し殘額千分の二を合作社の實收入とする如くす

5. 交易傳票 交易に當つては交易傳票を使用せしむ

6. 指定仲買人の制定 指定仲買人を制定するは場内の秩序上取引上便利なるも、交易數量が過小にして且前述の如く量器が普及しあらず即ち仲介人(量り人)にのみ使用を許されあるを以て一般消費者糧穀の小口買付は交易場に入場買付せざるべからず故に度量衡器の普及且環境の變化を俟つて實現せしむるを可と想料さる。

交易場規定の例(房山縣)

次に交易所の規定、稅收率、手数料徵收率等の規定を手元

にある房山縣の例を拾つて見ることとする。

一、稅收、手数料率規定

房山縣交易場は南門外に縣城本場を設立し又長溝鎮及び坨里に分場を設立せり。本縣交易場の特長は縣公署財政科と一體となりて稅收の合理化と本會の交易場經營方針とを配合せしめ、以て農民の福利を増進せしむる如く運用せしむるにあり。されば縣公署職員と本會職員と全く表裏一體となりて本會職員たる交易場主任の指令の下に統一ある業務に服するを以て信條とする稅收率を示せば左の如し。

一、穀物類 正稅(省款)

交易額の百分の一

一、同 附加稅(縣款)

千分の三

一、落花生及果物類正稅

百分の三

附加稅は徵せず

一、獸類 正稅

百分の三

一、同 附加稅

千分の五

一、獸類正稅の正稅附加稅

前項に同じ

一、交易場手数料 如何なる物品に對しても交易額の千分の四を徵收(以上稅金及び手数料共に賣主

買主兩方より千分の二宛を徵收す

二、會計規定

第一條 本場の會計の處理は本規定によりて實施す。

第二條 本場の會計年度は毎年一月より同十二月三十一日までとす 會計年度に關する一切の會計整理は翌年一月十日迄に全部完了するを要す。

第三條 指導部より振替たる基本、縣公署よりの補助金及各交易場の徵收したる手数料は皆交易場の歳入とし各交易場の經常費は歳出となす 歳出は毎年度始たる一月十日以前に總豫算を作製す。

第四條 各年度の歳出は其年度の歳入を標準とし不足を來すことを許さず。

第五條 豫算の大別は歳入には經常は臨時との二種あり(但し指導部より支拂の時は之を臨時部に入る)歳出には經常となし款、項、目に分ける。

第六條 各場の經常費は毎月二日迄に前渡金として受領す但し歳出の豫算によりて受領すべし 特殊の支拂あるにあらざれば豫算を超過すべからず。

第七條 本場の收入支出の責任者は本縣指導部主事となす。

第八條 縣城交易場は各市日に徵收したる稅金及手数料は當日に限り合作社會計に入金するを要す 各分場は交通上不便のために毎月二回送金す(但し徵收したる手数料は百元を超過したる場合には即日送金すべし)

第九條 各交易場の徵收したる縣公署の稅金は合作社會計より「稅金渡金傳票」を作製して縣公署會計處に送付す。

第十條 各交易場に於て年度終了後直ち二年度精算計算書を作製して當該年度殘金と共に合作社會計に引渡すべし而して之を來年度に繰越すことを得ず。

第十一條 各交易場の經常費を支出する際に必ず支出決議書或は購入支出決議書又は旅費支出決議書を作製し領收證を裏に貼付すべし。

第十二條 毎月經常費の支出は翌月二日迄に各支出決議書等を續りて各款項目を明かに區別して記入すべし。而して前渡金出納計算書を作成して合作社會計に渡す

第十三條 支出決議書は必ず

二部作成し一部は交易場の控とす。

三、旅費規定(略)

四、事務手續規定

第一條 各交易場は市日毎に其日の業務狀況を日報表に書入して會計に差出し同時に控を一部作る。

第二條 各交易場は毎月末に月報表を二通作成し合作社會計に一部出して一部は控とす。

第三條 各交易場は稅金及手数料の領收證を三通作り賣買兩方に各一通渡し後の控の一部は交易場に保管す。其保管期限は五箇年とす。

第四條 各交易場の日報表の番號は縣城は一號長溝鎮は二號坨里は三號となす。

第五條 各交易場の領收證の番號は各一番より始めて毎年末まで引續く翌年一月一日以後は又一番より繰返す

第六條 各交易場より廻送したる稅金及手数料は渡金簿を添付して現金と共に合作社會計に渡す。

五、交易場倉庫規定

第一條 本交易場は農民の運搬困難を省くため凡て交易場へ持ち來り其日賣れざる食糧を保管方を申請したる(以下三十一頁へ)

山西省に於ける

勸農工作三十年度大綱

民國三十年度に於ける山西省の勸農工作は、どういふ風に進められてゐるか、二月四日付各縣總會宛通牒された工作大綱によつて覗ふことにする。

方針

民國三十年度山西農業對策は軍の作戦に即應治安に貢獻せしむると共に山西農業振興を計りひいては東亞新秩序建設の基礎を確立す。

之が實施に當りては現下の時局重大なるに鑑み超重點主義に依ると共に従来の實績に徴し特に中國關係を動員し之が貫徹に積極的參加を誘導す

實施事項

方針

山西に於ける食糧品の増産の確保配給に萬全を期し以て民心の安定及治安工作に寄與

すると共に自給自足の基礎を涵養せんとす。

要領

イ、適地適種栽培作物の選定 山西省内を大體北部中部南部に大別し適地、適種主義を以て地方毎に最適なる作物を選定す。

ロ、主要作物栽培分擔地區の決定す。

北部——雜穀を主とし苧麻 胡麻の栽培

中部——雜穀(山間地)小麦 棉(平地)麻(山間地)

南部——小麦、棉花を主とし雜穀採種

ハ、食糧作物の増産 小麦、雜穀、水稻等の食糧農産物の自給自足を圖るを目的とし獎勵品種の普及増殖及耕種法及施肥法の改善

病虫害の防除、水利施設の普及改善を計らんとす。

(1) 小麦

華北農事試驗場同支場に於て在來種より純良種子を選出し之れが山西に於て六箇所にて地方適否の試驗實施中にして明年度頃より優良品種決定配付予定

(2) 雜穀之れが優良品種の決定は試驗中なるも各地に適する粟、高粱、玉蜀黍の品種を大體決定し栽培増産を期されたし

(3) 水稻 華北農事試驗場を中心に優良品種決定のため試驗中なるも陸羽一三二號中生銀坊主の種籾を本年度も配付し之が増産を圖るため開田に努めると共に右記改善に努められたし

ニ、特産物の育成創設 各地に於ける從來の特産物は之を維持育成すると共に其の土地により將來有望と認めらるる之を育成し各縣に

於ける特産物を一層價值あらしむること

ホ、高稈作物禁止の徹底と代用作の決定

(1) 宣傳

郷土保全、生活安定、安居樂業を願ふものは先づ治安確立に協力すことが目下の緊要事なることを徹底せしめ之が爲高稈作物栽培禁止の必要なることを知らしむ

(2) 栽培禁止區域の標示 軍並に行政當局にて示したる禁止區域即ち鐵道兩側五〇〇米主要道路の兩側並に村落の周圍三百米以内に絕對栽培せざる如く補導す

之が方法として高粱稈に紙片や赤布を附着し立て又植樹期を利用して栽培禁止境界に植樹をなさしむる等

(3) 代用作物の栽培 禁止區内に最も適す矮生高粱及短稈作物や野菜類を栽培せしむ之れが爲種子は努めて現地に在るものを以て充足せしめ補充し得ざる場合は自總會に於て斡旋する

外鐵路局愛路科に於て矮生高粱種子交付予定

(4) 栽培禁止狀況の視察 發芽し五寸程度に伸長したる時期に於て軍行政當局者と連絡し村長農村分會長等を召集し所要地區内を列卒視察せしめ勵行狀況を認識せしめ賞罰を明にす

ハ、種子種苗斡旋 各地に適する種子は現地に於て斡旋すること現地に於て充足し得ざる種子樹苗は省總會に於て時價にて斡旋する故種類名品種名數量記入の上申込むこと

ト、農事研究 山西農業改善には一貫せる農事研究を必要とするも現在長等研究幼稚なるを以て山西五箇所に於て主要作物の試作をなす予定

テ、農産物品評會開催に關する事項 本年度秋季適當なる時季を利用して山西省内に於ける各種農産物品評會を太原市開催予定

中央に於ては五月産業展覽會十月第二回特産品展覽會開催予定尙鐵路局愛路科主催の下に二月中太原市及臨汾にて開催予定

(1) 荒地利用の指導 治安初期の地域にありては去た住民の歸來充分ならず

に荒地の存する處よりかか

る地域に於ては其の耕地は方法を構して耕作せしむる必要あり

之が爲かゝる土地は其の附近部落民の共同管理を爲さしむる着意を必要とす即ち勢力の共同出役種子類の共同負擔農具の共同使用及不

資材並に資金に關する事項

(1) 春耕資金貸付斡旋

春耕資金の必要は本年度の省聯合協議會に於ても之を充分認めたる故華北に於て本年度六百萬圓貸付斡旋を爲すべく企圖しあり

細部に關しては別途考慮中なるも各縣總會に於ては豫め所要金額を速に報告し、希望人員の内査を爲し置く着意を必要とす尙太原捲菸廠の耕作資金は煙草栽培者に指定合作社を通じ一畝七圓の割に貸付予定、棉産改進會に於て每畝三元計一六萬三千圓貸付予定

2. 灌溉用井戸掘鑿及補助金の斡旋

山西の乾燥地帯と土壤(黄土)の特質上灌溉設備を絕對的に必要とす然るに設備不充分なる爲毎年旱害を蒙り居る現況なり、故に之れ

が對在者土地の共同管理規約を作成せしめ行政官廳に提出せしむ

尙濕地地帯の利用は充分行はれておらざる故部落民を補導自發的開田を爲さしむ

策として左記の通り獎勵のため補助あるを以て利用に努められ度

イ、華北政務委員會獎勵

山西一〇〇〇畝(數)一二五、〇〇〇畝大井一眼一五〇圓小井一眼七五圓補助

〇、省公署(予定) 二萬圓大井一眼一〇〇圓小井一眼五〇圓補助

ハ、棉産改進會 大井一眼三〇〇圓小井一眼一五〇圓

註尙一定村落民を動員し勤勞奉仕共同作業により實施するか合作社利用部の一事業として實施するも可なり

參考井戸周圍上部一丈六尺五寸下部二丈四尺平均高低三丈掘鑿勞力二百人實施に當りては掘鑿の位置地勢土地所有分布血縁

村民間融和の狀況を考慮の上計画的に實施のこと

3. 種子の交付並に貸付

イ、水稻 水稻、栽培並に開田獎勵のため水稻種約五百石交付準備中なり鐵路局愛路科に於て種五〇、〇〇〇kg愛護村に配給予定

〇、棉花 一六六六撥(ビケル)分棉花種子貸付(棉花改進會に於て)

ハ、雜穀 現華北農事試驗場にて優良品種試驗中にして二一三年後配布愛路科に於て高稈作物用として矮生高粱四〇〇〇〇交付

ニ、苧麻 省に於て一〇萬斤一畝三斤の割に種子貸付予定

ホ、樹苗 愛路科マツチ工場に於て三〇〇萬本の樹苗交付

尙先に通牒の植樹計畫により植樹を勵行すると共に事業前の樹苗場の苗木の利用に努められ度

4. 肥料 硫酸アンモニア—太原鐵廠の副産として製造予定

燐使用し得

豆粕、油粕—山西南部に於て産出將來斡旋す

過燐酸石灰—人手困難なるも特に希望せんとする場合斡旋す

5. 農具 耕作具、調製具、消毒具、副業具等希望により斡旋す

6. 藥品 北支の急速なる農産物の増産を圖るには病虫害の予防

農家經濟に關する事項

1. 基本調査 農村更生の根本方策を樹立せんとするには農家の實態調査必要なるを以て各縣に之が經費を補助し調査方委託す

2. 農家實態調査 一縣一村三百戸位の農家を主とする農村を選定農村の實態調査をなさしむ

3. 農家經營の合理化及經濟向上 農家經營の合理化及經濟向上を計るに如何にすべきか精密に調査す

農事指導に關する事項

1. 農業技術員の養成 省立農事試驗場に於て一箇年の予定を以て農業技術員を養成計畫中

2. 勸業擔當者訓練 新民會勸業擔當者、篤農家の集合を求め本年度に於て三回講習會開催予定

3. 技術的訓練講習會 農作物の病虫害除其の他

産を圖るには病虫害の予防驅除を爲すこと重要なるを以て農藥を配布予定なり

硫酸銅(粟白髮病夜黑穗病)千封度

砒酸石灰(赤虫青虫)萬封度

カセイン石灰(同)五千封度

王銅(黑穗病)千封度

棉産改進會に於て全華北に噴霧器十萬台配給予定

2. 農村實態調査 一縣一村三百戸位の農家を主とする農村を選定農村の實態調査をなさしむ

3. 農家經營の合理化及經濟向上 農家經營の合理化及經濟向上を計るに如何にすべきか精密に調査す

1. 一般農民の農事知識向上の爲技術的訓練講習會開催予定

2. 尙中央に於て巡回農事指導講習會篤農青年指導講習會副業指導講習會開催予定

4. 嗣子(ペンフレット)配布 其の時季に於ける農事改良並に特に必要なるものは嗣子及傳單として配布す

以上

河北順德道

水田開發計畫其他

民國三十年度に於ける河北省順德道の勸農工作狀況は左の通りである。

實驗農場の經營

農業經營に於いて其の技術的なる部面の指導及び獎勵をなす爲め、二毛作畑地二十五畝、水田（水稻田）四十畝、計六十五畝の實驗農場を經營し、畑地に於ては普通作物、特用作物、蔬菜類に對する試作をなし收量品質の比較試験を行ひ各作物に亘りて栽培方法の研究をなす。

新たに行ふ水田開發計劃に對し其の實驗資料を呈供する爲め種々なる試驗田を造り該計劃達成の實驗圃的運營をなす。

管下五縣に對する水田開發

莫大なる邦人の進出に伴なひ之が主食糧たる食糧の確保は絶對的なる緊急事なりよつて本道に於ては關係各機關と連絡の上先づ以つて本年度に於ては、左記の各縣に對し開發計劃をなし之が實行に移りたり。

縣名	栽培面積		收量	
	本年度栽培預定面積	前年度栽培面積	本年度預定收量(石)	(前年度實收量石)
邢台	二〇〇町歩	二〇〇町歩	四四〇〇石	三八〇石
南和	三〇〇町歩		六六〇石	
任縣	二〇〇町歩		四四〇石	
平鄉	三〇〇町歩		六九〇石	
臨城	三〇〇町歩	一、八町歩	六六〇石	三六石
計	三一〇町歩	三、八町歩	六八五〇石	四一六石

棉花増産

直接關係機關たる華北棉花改進會、特務機關と協力の上極力之が増産に努む

家畜の増産

事變による家畜數量の減少

を急速に捕ふ爲め實驗農場の現有家畜に對し優良品種を配し更に雞に對しては人工孵卵をなし之が一般に配布し家畜の増産を計る

小麥高粱の黑穗病並

粟の白髮病豫防に就て

厚生部勸農科

華北に於ける勸農工作中焦眉の急を要するは主要食糧作物の増産であるは言を俟たざるところなり

今華北五省（河北、山東、山西、河南の北部、江蘇の北部）に於ける、小麥、高粱及粟の作付面積、生産額並種子消毒による増收額を示すと左記の如くにして該三作物に於て實に壹百參拾七億九千壹百五拾貳萬參千圓の巨額に達する收益を得ることとなり農家經濟更生食糧の増産に資するところ甚大なるものあり。

主要食糧作物の増産を圖るには優良品種の普及、病蟲害の驅除豫防、灌溉設備の獎勵、耕種法の改善、施肥の合理化等々あるも就中容易に實行普及し得られる當面の問題は病蟲害驅除豫防の徹底を期すにありと思料せらる。

華北に於ける、主要食糧作物中小麥、高粱、及粟は其の簡單な而も極く僅少な經費を以て行ふ種子消毒により一五%

計	粟	高粱	小麥	作付面積		同上生産		同上價格		摘	要
				萬市畝	額	萬市斤	額	萬市斤	額		
	六、二〇〇	四、五〇〇	三、七〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇		
	七、〇〇〇	五、八〇〇	三、七〇〇	二、二〇〇	二、二〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇		
	二、六〇〇	二、六〇〇	二、二〇〇	二、六〇〇	二、六〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇		

○マセロ種子消毒法

石油空罐又は箱の隅に密閉の出来る徑三、四寸の孔を穿けたるものに小麥高、粟の種子五升(罐の半分)を入れ、「マセロ」二匁半を加へ粟の種子なれば約七合を入れ「マセロ」三匁を加へて蓋をなし十数回上下に振り動かし粉末を種子の表面に附着せしむればよい。

○使用上の注意

マセロ(醋酸銅粉末)は毒劑なるを以て塗抹の際に粉劑を口に觸れしめざる様注意を要す尙耳成「マスク」をかけること肝要なり又塗抹せる種子は人畜に有害にして食料又は飼料に供すること能はざるを以て播き残りの無き様注意を要す。

マセロ(醋酸銅粉末)は毒劑なるを以て塗抹の際に粉劑を口に觸れしめざる様注意を要す尙耳成「マスク」をかけること肝要なり又塗抹せる種子は人畜に有害にして食料又は飼料に供すること能はざるを以て播き残りの無き様注意を要す。

○消毒の時期

種子の消毒時期は普通播種前に行ふも日本、朝鮮、滿

ば左記の如し

小麥	高粱	粟	敵害平均收量		同上價格		種子消毒による		同上價格		消毒藥劑費	純收	收益
			市斤	一〇五	二四一五	市斤	一二一	二七八三	〇二八				
一〇五	一一五	一一〇	二四一五	一八四〇	二四四〇	一二一	一二一	二二二	二二二	〇〇九	二七一	三六五	
一二一	一二一	一二一	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	二二二	〇三六	二七一	三六五	

〔備考〕マセロ一封度(一二〇匁入)現價壹圓七拾錢

○北支に於て小麥は稈黑穗病、腥黑穗病が多く裸黑穗病は至極少ない。

の被害率は二〇%一二五%に達し次いで糸黑穗病、腥黑穗病である。

發生も亦多く殊に濟南地方に於ては其の被害が多い。各作物の黑穗病の病徴其の他に就ては後述す。

華北の棉花大增産

資金や肥料を斡旋

華北棉産改進會では、日滿華を通ずる劃期的棉花増産計畫の線に沿ひ、多角的指導と併せ春耕資金斡旋、その他の奨励策を講じてゐるが、本年度は更に推廣計畫を積極的實踐に移し、棉花多産奨励會、金肥の斡旋等の華北の棉産界に當て無き増産奨励策を實行することに決定した。

棉花多産奨励會は華北四省各棉産地に開かれる品評會と別に一集團棉團五畝以上(二十七畝よりつゞく)の場合には倉庫に保管し次の市日に販賣に便ならしむ。

第二條 倉庫の保管期限は一個月を超過するを得ず一個月超過して受取をざるときは本倉庫は公平の時價にて賣却し相當の保管料を取外千分の四の手數料を控除す。

第三條 保管する食糧は秤にて量らず俵數にて數へ一石未滿の俵も一石と見做して保管料を徴收す。

第四條 保管を申請する時は兩方共其俵數を點檢し而して申請者より俵の上に印を認めて混雜を防ぐ。

第五條 保管費は期間に依りて計算し五日間毎に一期間とし一俵に付保管料を一錢徴收す但一期間未滿の時も一期として計算す。

第六條 本倉庫に於て保管中の食糧は所有者自ら整理し濕氣の爲蟲湧り等の損害あるも本倉庫は其責任を負はず。

第七條 凡て食糧商人が營利を目的として本倉庫に保管を申請する場合は本倉庫は取扱はず。

第八條 本倉庫に保管中の食糧にして所有者は保管證を紛失したる時は商店の證明を提出したる上にて現物を受取らしむ。

第九條 本規定に不當の點ある時は隨時訂正して公佈す。

華北棉産改進會では、日滿華を通ずる劃期的棉花増産計畫の線に沿ひ、多角的指導と併せ春耕資金斡旋、その他の奨励策を講じてゐるが、本年度は更に推廣計畫を積極的實踐に移し、棉花多産奨励會、金肥の斡旋等の華北の棉産界に當て無き増産奨励策を實行することに決定した。

棉花多産奨励會は華北四省各棉産地に開かれる品評會と別に一集團棉團五畝以上(二十七畝よりつゞく)の場合には倉庫に保管し次の市日に販賣に便ならしむ。

第二條 倉庫の保管期限は一個月を超過するを得ず一個月超過して受取をざるときは本倉庫は公平の時價にて賣却し相當の保管料を取外千分の四の手數料を控除す。

第三條 保管する食糧は秤にて量らず俵數にて數へ一石未滿の俵も一石と見做して保管料を徴收す。

第四條 保管を申請する時は兩方共其俵數を點檢し而して申請者より俵の上に印を認めて混雜を防ぐ。

第五條 保管費は期間に依りて計算し五日間毎に一期間とし一俵に付保管料を一錢徴收す但一期間未滿の時も一期として計算す。

第六條 本倉庫に於て保管中の食糧は所有者自ら整理し濕氣の爲蟲湧り等の損害あるも本倉庫は其責任を負はず。

第七條 凡て食糧商人が營利を目的として本倉庫に保管を申請する場合は本倉庫は取扱はず。

第八條 本倉庫に保管中の食糧にして所有者は保管證を紛失したる時は商店の證明を提出したる上にて現物を受取らしむ。

第九條 本規定に不當の點ある時は隨時訂正して公佈す。

二 各 國 協 同 組 合 情 勢

(2)

本 日

戰時日本農村金融の動き

産業組合中央金庫の役割

華北に於いて合作社中央機關の設置も近きにあるとき日本に於ける農村金融の本山たる産業組合中央金庫の最近の動きを覗くことにする

今日、農村經濟に重要な役割を演じてゐる産業組合は周知の如く、明治三十三年産業組合法の發布により制定されたものである。産業組合中央金庫が設けられたのは、それより十八年後のことであつた。即ち明治三十九年第二回全國産業組合大會が開かれ、その席上加納子爵が産業組合の、全國的中樞金融機關の必要を力説してよりやつと十八年後の大正十二年十二月二十日に設立されたのである、

いふまでもなくこの中金の目標とするところは「地域的または時間的に所屬産業組合聯合會の資金の過不足を調節し、所屬組合及び同聯合會の信用引取を媒介

し、組合金融と一般金融界との連鎖機關としよう」といふにある。なほ中金の特徴とするところは

- 一、社団法人にして非營利團體であること。
- 二、産業組合法中産業組合の規定を準用してゐること。
- 三、余裕金運用に制限を設けたこと。
- 四、無擔保主義により眞の中小金融の機能を備へたこと、等である。

また中金の出資者は政府、産業組合聯合會および産業組合に限定され出資金三千五百七十萬圓のうち政府出資金は千七百五十萬圓、千八百二十萬圓は政府以外の出資金となつてゐる。なほ中央金庫の債券は産業債券と稱し拂込資本金の十倍まで發行出来ることになつてゐる。中金の業務は五箇年以内の定期貸附、三十箇年以内の年賦貸附、手形割引、當座預金貸越、爲替、有價證券の保護預り等であるが、昭和六年の改正法律により年賦貸附、有價證券の保護預りおよび同委託買入も認められた。中金の資金概況を示すと次表の如し(單位千圓△印減)

十五年 前年同期	三、七〇五
十二月末 比較増減	△、六六二
債券發行高	三、〇四三
預り金	三、七〇五

貸出金	三、〇四三	三、〇四三
預り金	三、七〇五	三、七〇五
有價證券	一、〇〇〇	一、〇〇〇
現金	一、〇〇〇	一、〇〇〇
貸出先別の貸附狀況		
十五年十二月末		
産業組合聯合會	一、八五七	一、八五七
同産業組合	一、〇〇〇	一、〇〇〇
漁業組合聯合會	一、〇〇〇	一、〇〇〇
同漁業組合	一、〇〇〇	一、〇〇〇
法人	一、〇〇〇	一、〇〇〇
單位組合	一、〇〇〇	一、〇〇〇
聯合會	一、〇〇〇	一、〇〇〇
特別融通	一、〇〇〇	一、〇〇〇
負債整理	一、〇〇〇	一、〇〇〇
負債處理	一、〇〇〇	一、〇〇〇
計	一、〇〇〇	一、〇〇〇

資金運用狀況

中金の貸出狀況についてみると、昭和十四年十二月末には、一億九千六百餘萬圓であつたが、十五年十二月には二億三千九百餘萬圓となり、この間四千二百餘萬圓ばかり増加してゐる、な

農業生産資金を無擔保で貸出す

食糧増産促進に一方策

元來産組中金は無擔保貸出を特徴としてゐたのであるが、必ずしもすべてが無擔保といふわけではなかつた。やはり擔保貸附も多く行はれてゐたのである。従

大東亞協同組合體制
 の確立へ！
 日本—滿洲—華北

にとつて農村金融は不合理
 な點も多く、このため農業
 生産は可なり阻害されて
 たのである。今日、食糧不
 足に悩んでゐるとき、増産
 に必要な低利資金を豊富
 に供給するためにはどうし
 ても擔保主義を清算しなけ
 ればならないことはいふま
 でもあるまい。そこで、低

- 利資金を供給するため、町
 村における協同的經濟機關
 たる産業組合と農事實行組
 合とを鞏固に結合せしめ、
 農事實行組合に對して無擔
 保貸出を行ひ、部落單位の
 協同金融を計らうといふこ
 とになつたその具體的方策
 は次の如きものである。
- 一、産業組合のなすべき事
 - 項
 - (イ) 農會の増産計畫と金
 融的に密接な連絡をと
 ること。
 - (ロ) 生産資金の貸出は原
 則として部落單位の協
 同金融とする。
 - (ハ) 山林組合では營林署
 と密接な連絡をとるこ
 と。
 - (ニ) 貯金を計画的に吸収
 する。
 - (ホ) 農會その他の團體と
 協力し農業生産の指導
 に協力すること。
 - (ヘ) 積極的に不合理金融
 を排除し町村内の金融
 統制に乗り出す。
- これによつて農村金融が
 圓滑になればもちろんよい

東亞協同組合協議會設置さる

産業組合中央會の提案

華北合作社も欣然參加せん

産業組合中央會では協同
 組合運動の東亞的結合を強
 固ならしめるため新たに常
 設機關として「東亞協同組
 合協議會」を設置すること
 に決定、關係各方面と折衝
 を進めてゐる。

内外地の協同組合運動を
 連絡する機關としてはすで
 に昭和四年全日本協同組合
 懇談會があり、昨十五年に
 は滿洲國を含む「東亞協同

組合聯合協議會」に發展し
 昨年二回に亘る懇談會を奈
 良、京都において開催して
 るが、同懇談會は恒久的
 機關ではないので、この際
 恒久的協議機關を設けて三
 國組合運動の大同團體を期
 せんとするもので日本の産
 業組合全漁聯に滿洲國の興
 業合作社、滿鐵系組合、北
 支の新民會系統合作社を網
 羅せんとするものであるが

中央會では五月に開催の産
 業組合大會に提案、これを
 決定の上六月中旬新京で開
 催される第三回東亞懇談會
 に提案して滿洲、北支側の
 承認を受けることとしてゐ
 るが、わが北支合作社とし
 ても欣然參加大東亞共榮圈
 の中樞たる合作社運動の體
 制確立に邁進すべきであら
 う。

全國産業組合
 の現況

さし當り産組中央金庫の
 現況を述べておいたが、そ
 の下部組織として農村經濟
 に實勢力を持つてゐる、全
 國産業組合および産組聯合
 會の現況を知らねば中金の
 實際はわからないだらうそ
 こで、今日、全國の産業組合
 が如何なる現況にあるが、
 簡単にふれておかう、周知
 の如く産業組合は明治三十
 三年に設立されて以來飛躍
 的な發展を示し十五年六月
 現在における組合數は一
 五、一五九に上つてゐる。
 組合數は十一年末の一五、
 四六〇に較べると減少して
 るが、これは不良組合を
 整理したためであつて組合
 員數は逆に増加し、農村經
 濟上の接觸は急に緊密化し

てゐるのである。いま十五 現況を示すと第六表の如く
年六月末における、産組の である。(単位千圓)

中央金庫 更級 學

生産金融への志向

組 合 数	一五、一五九	一五、三二六
調査組合数	一四、四七六	一四、三三〇
組合員 数七、	四八八、一二五六、	二六五、九〇四
内 法・人 数	六八、七八三	二八、五三六
出 資 總 額	四二八、六六三	三四八、三九六
拂込済出資金	三一七、四五三	二六九、二七〇
準備金及諸	一九七、一七七	一五九、三二八
積 立 金	二四二、八一五	二八三、七三一
借 入 金	五三四、六七〇	五九二、〇九三
貯 蓄 金	一五一、九三六	〇九五、八二七
貸 出 金	六二七、九九五	二五一、九〇三
販 賣 高	四六七、二〇六	一八四、八〇一
購 買 高	九、七四二	四、八九五
利 用 料	金一、六三〇、三五五	五六三、九四四
預 り 金	七八六、四四一	二二二、八三〇
有 價 證 券	金 五四、〇二九	二八、五六八
現 金		

即ち組合数は減少してゐるが、貯金の如き十五億九千萬元から三十五億三千余萬元となり、四年の間に十九億四千萬元の増加となつてゐる。これに反し借入金は二億八千萬圓から二億四千萬圓に減少し、また有價証券の如き二億一千余萬圓から七億八千六百萬圓に増

農業生産力の維持擴充と云ふことは刻下の重大問題であるが、それには農村金融が之れに即應して行かねばならないこと勿論である、勸業銀行の従来やつて來た方式は土地擔保の金融であつて必ずしも生産力増進に向けられてゐたとは云ひ得ない、然るに時局の要請は農業生産の増加を第一義としてゐるので、之れがためには金融機構の改善も亦當然日程に上つて來ざるを得ないであらう産業組合の金融事業の循環徑路も従來は融通部面を多く出なかつたが農村金融機關としての使命達成のためには今や一歩掘上げて生産部面の中へ入り込まねばならない時期に達してゐる、斯くてこそ綜合經營たる産組の本來の面目を顯し得るものと云ふことが出來よう、それと共に考へなければならぬことは

系統的な體制の整備と云ふことで、例へば小地域内ではBの地域の所要する資金の全部をAの地域の蓄積を以て充てるつまりもつと具體的に云へば縣信聯かその地域内でのみ金融調整をやらうとする一萬一翻語を來した場合共倒れになつて共存同榮でなく、共存同衰に陥る危険がある、だから組合金融の體制としては縣單位、つまり縣信聯の操作と中央機關の操作を綜合して行はなければならぬ、一昨年十二月一日より實施された産組法施行規則の改正も斯かる趣旨に出たもので、之れに依つて中金の地位は著しく強化されることとなるのであるが、一方又中金としてはそれに依つて農業金融の最高機關として生産部面へ強く押出して行かねばならぬと考へる。

- 河北省合作社聯合會もいよ／＼その成立を見た。
- 引つゞき山東、山西、河南等にも日ならず結成されるであらうし、待望の中央機關の設立も近きにあり
- 系統組織は續々と完備するの時、合作社運動態々本格的發展段階に入り、合作社要員もいよ／＼軌道に來つて活動し得らるゝことになつた
- ただし中央機關といひ省聯といひ上統系統機關が出來たから無條件にこの運動が前進するものではないことは銘記すべきである。
- 毎號のことなからもつと原稿は勿論報告なり、通信をどし／＼よこして貰ひたい
- 河北省聯の記事は時間の都合上次號に廻すの止むを得なかつた

(中央産組新聞)

華北合作

華文欄

目次

華北合作社系統機構的整備	安河內哲夫
△華北合作社組織系統確立準備號	福田正雄
談一談省合作社聯合會的組織	福田正雄
縣合作社聯合會之組織及運營	福田正雄
譚鄉村合作社的性質	安齋正
新民會與合作社之關係	合作科
合作運動與其他社會運動間的差異(下)	屈 靈
△華北合作小冊論壇	
中國合作簡評	C. M.
談合作主義	樵 哥
△福樹節紀念專頁	
造林運動與合作	步 毓 森
森林與經濟	楊 大 華
造林可以防止水旱災	君 俊 明
△養雞淺說	劉 漢 英
△譚 馬	焦 定 遠
△農產知識——落花生	劉 漢 英
△農業設計	
麥類之病害	張 傳 林
家畜之普通疾病	健 齡

華北合作社系統機構的整備

安河內 哲夫

合作社者乃在資本主義社會下，爲扶助經濟力薄弱者之互相團結，抵禦資本主義者之榨取，謀經濟之繁榮爲目標而組成者。然合作社等

往往以地域之異同各自單獨組成，缺乏連絡時受外界之阻礙，其收效甚微。爲排除此種外界障礙起見，勢必將其綜合一體，庶可排除萬難而暢發其機能也。

如斯聯合組織之中樞機關，如能適當運用，充分發揮其機能，則不難促進各分合作社之達成使命也。

尤因合作社於自由主義之下所發展者，乃應乎日軍之方針，合理組織，上下一體，妥當運營，始可收合作社之最大機能，然對其組織務期簡單，方爲得策。

方今華北合作社運動之重要課題，如上所述，雖有縣合作社之成立，然究因其單獨存在，且加以時受外界之阻力，頗難膺此特殊時勢

要求之重任，故對此等合作社之機構改革，及人材之網羅問題等，亦爲當今之要務。

且關於主張此綜合系統之組織意見，及關心合作社運動一般有志者間之意識，雖已日漸昂揚，然首當研究此合作系統組織問題之新機會，其時正值與宣撫班合流及機構改革實施之際，對於中樞之中央機關運動，未見若何之進展，主其所實行者不過僅爲應各地方之特殊情勢，而組織之各自獨立之合作社而已。

按客歲四月間，對於指導方針之統一事項，經上下一致合議，規定指導監督之系統組織，擬網羅中央各關係機關，設一合作社輔導委員會，以極當輔導之責，後因種種關係，俟延至十月始先草成，進行着手研究設置中央上級合作機關之問題。

其後，經數次研究之結果，具體之案業已告成，不久即將發表，中央機關及省縣聯合會等亦將成立，

合作小言

我們人類的結合作用，現在已成了自然界的公律，以經濟部門而論：在舊社會裡若是經濟現象發生了矛盾的時候，便可以藉多數人的結合作用，組織合作社，從下層經濟基礎上加以逐漸的改革，這實在是根本合理的一種方法。合作社便是合作主義的基礎，如能將這種基礎，散布到舊社會裡，使它順應時代去發展，等到合作社發展到相當程度的時候，就是這些合作社擁有大部分乃至全部經濟權的時候，則合作主義的新社會便可以取資本主義的舊社會而代之。因爲合作主義所採取的手段是和平的；所得的利益是普遍的。

首先着手確立系統機關，漸次再謀人才之充實問題。爲將來合作社組織之簡單化，故爲當然之歸結，對於合作社運動之蒸蒸日上，節々進行之實績，亦堪引爲欣快者也。

然將來合作社運動能否發達，則專擊乎新社會之活動，與同志間之協力狀況如何而定，勿庸贅述，至促進合作社運動之發展，與新社會運動相輔而行，實爲確定東亞共榮圈之根本方針也。

華北合作社組織 系統確立準備號

談一談省合作社聯合會的組織

一、關於設立省聯合會的各種意見

對於省聯合會究竟設立與否這個問題，雖然發生了種種意見，然而我們獻身合作社運動的人們都知道：如果一個縣聯合會的組織是孤立，而沒有上部系統組織的援助和指導的時候，當然牠的進展是難於期望的。所以由統制的徹底，與經營能率的向上等各點觀之，各方有力的見解都以爲應該設立一個上部組織，同時與縣之間更應設置一個支部來連絡一切。

關於省聯設立問題，更有二種論調；其一便是對於牠的更上一層的上部系統組織，即是中央機關，加以考慮的論調，另一個是和他正相反的。前者是豫想到雖然目下設立中央會，然而實際上並不能即刻去着手辦理華北的全般事務，遠不如設立省聯合會之後，俟合作社運動有所發展，再爲組織中央機關。後者以爲合作社的聯合組織應該止於省聯，中央方面不過應該有一個僅

免指導之責的機關而已。

現在在完成合作社運動的使命上，絕對必要的條件，即是華北全部合作社組織的一元化和指導方針的統一徹底，然而指導與業務及其監查等毫無連繫，當然不能發生任何效力。是以必須設立暫以整頓金融業務爲主，而加以指導部門的一個華北合作社中央機關。

於是省聯合會設立的問題也因之轉入「於中央與縣之間的中間組織，應該如何處理」的問題了。對於這個中間組織問題更生出二種意見，甚是以爲設立中央機關的支部較爲妥當，另一個主張設置省聯合會。然而我們要知道，設立省聯的時候，一個省須要統轄一百餘縣，而直接去指導把握各縣，或替牠們維持一切是不可能的事，勢必需要一個以道爲單位的支部去連絡一切的。

所以對這二種意見再加以簡單的

說明即是，一個是主張用爲聯合會是一個自治的結合團體法人，必須採取「中央、支部、縣」的組織，始能防止發生運動方針的分裂，一元化統制指導的弱化，與事務經營的能率低下之虞。一個是以與行政機關之關聯性爲主要理由，而主張「中央、省、支部、縣」的組織。

與行政機關的關聯性更可分爲組織形態上的關聯性，和省公署補助金的關係。前者由於新民會的同志各位，在過去一年新民會組織系統的運營經驗上，對於使民衆運動組織符合於行政機關組織的不當之點中，實際體驗出來的結論，同時因爲經濟組織的性質，對於促進合作社的能率，更是一種當前的要務。至於補助金一項，由防止各省運動發展之不均，及各省單獨行動等各點觀之，當然以華北政務委員會將補助金全數交與中央機關較爲妥善。

以下個人關於行政機關的省道縣制度略述一些淺見。

現在省公署的權限非常強大，道公署僅爲省公署與縣公署之間的一個連絡形式的機關。雖然這是由於歷來清朝的巡撫，與民國革命後督軍省長的性格，及行政機關包辦式的性格等各種趨勢所致，然而對於發揮指導力與向新建設邁進的機構上，似乎不無不便之處。因爲普通指導的範圍皆是十縣以至二十縣左右，所以對於各縣的情形當然能夠明瞭，長官也得以實際把握一切，但是如果超過這個範圍，對於上述幾點不能充分實現，有時以善意所行的各種事項，反而因爲連絡的不圓滑與意思的不徹底等，走向和他正相反的途境上去。是以必須具有實際的權限，而後才能徹底完成指導的任務。

總之，單就民衆運動上言之，同志的團結和指導統制的強化是他進展上的必要條件，似乎以使道的組織加以強化，而省僅爲一個連絡機關的辦法較爲合理。

不過主張設立省聯時，決不能以滿洲國興農合作社的中央、省、縣制度作爲他論調的基礎，因爲雖然同稱之爲省，而滿洲國的省管轄範圍不過爲二十縣左右，華北的省則

超過百餘縣以上，實際相去甚遠，豈可同日而語呢！

總之，各意見討論的結果，以爲省聯合會暫時處於中央與縣聯之間，以謀培養中央機關基礎之整備，將來則爲中央機關之支部。然

二、省聯合會的性格

省聯合會爲中央與縣聯間的連絡機關，不論其有無自治聯合團體的性質形態，須受中央機關之節制，對於培養中央機關的基礎上，亦須率領縣聯合會等合作組織同心合力，以期其早日實現，本身更可藉之改爲地方支部。至於各省的獨單

三、省聯合會的組織

省聯合會會員爲各省管轄區域內之縣聯合會，其性質則爲強制加入，然而實際上對於有名無實，或經營者不得其人的縣聯的加入，似乎尚有考慮的必要。

省聯爲保證責任，其範圍則以由會員所徵社股總額的二倍爲限。同時鑑於省聯目前不能自立經營的現況，由省公署或中央機關補助經費，更由省公署、新民會及華北棉

而這是受了目前政治情勢與反對現立在設中央機關的論調的影響，實質上不過是主張直接設立中央機關的論調，與不直接設立中央機關，先行組織省聯的論調的結合而已。

行動，人事與經營等方面不受中央之節制，或紊亂新秩序建設的重要組織團體，及謀其自身之發展，而置地方支部一事於不顧等各種現象，足可使全部勢力分散罄盡，阻止全般業務的進展，必須嚴加考慮與徹底剷除。

產改進會，華北交通株式會等處職員參與指導，謀其業務之進展，而使之完成省聯的使命。

省聯組織問題之中以其支部問題最爲複雜，而此種情形尤以河北一省爲甚。按河北一省縣聯事業，因一般人士的需要，已經相當普及進展，更有一部擁有資金的道聯合會的存在，然而省聯所在地保定並非河北省經濟的中心地點，由經濟上

的重要性觀之，自應擴大其支部權限，暫謀道聯合會資產的分配，以圖挽救。

省聯業務暫以教育、宣傳、普及、與監查等指導業務爲主，經濟業務限於金融一項，購販事業則止於韓旋縣聯的購買販賣業務。然目前縣聯的狀況，因其經營者缺乏經驗手腕，同時交易範圍甚爲狹小之故，如不加以充分的活動，勢必影響社員的信賴心，而陷於難以處理的狀態，是以對於韓旋事業尤應努力推行以求其進展。

至於對縣聯所行之貸款及儲金受理業務，須與各省聯內由中央機關敷設之金融業務關係支所，商協辦理。

農業技術指導方面，由於經費及人材等關係，應於華北農事試驗場與華北棉產改進會指導之下，完成其使命。

省聯合會本以上所述組織，於最近即可實現成立，我們獻身合作的人們，更應努力奮勉，極積活動，使其運動全面進展，早日實現爲中央之支部。

福田政雄

縣合作社聯合會之組織及運營

一、組織

中國近代的合作運動，始於民國八年復旦大學教授薛仙舟設立之上海國民合作社儲蓄銀行，而當時以改良社會為目標的知識分子，因天災戰禍意圖復興救濟的慈善團體，期防止農地土地鬥爭的政府，欲求遊閒金融資本之投資對相於農村的銀行皆成合作運動推進之有力者，由之民衆的合作習慣上所有的自主性的發展掩滅殆盡。

一般後進的國家關於協同組合之運動，因國民經濟力並知識程度之貧弱，對由民衆自覺自動之組織無可期待，且為緩和資本主義之侵入農村，而維持國力計，不得不探緊急必要自上而下的政策實施之，華北亦不能逃於此例之外。

華北合作社運動為圖流通經濟之合理化，民生安定及農業生產力之發展，本於此始能達成華北特殊性所要求之政治的經濟的諸任務也。也就是為大東亞共榮圈建設之經濟

的基礎，中日滿經濟圈重要一翼的

我華北經濟之再編成促進之機會也，為圖此經濟圈所要求的農業生產物之增產確保，並期造成新民會指導下為新秩序建設加力進展之民衆運動，組織擴大之先鋒，即於剿共工作上亦須本於此經濟組織之立場運用所有之利點魅力而積極的參加並協助之。使命其如斯而民衆自體尤不自悟，故華北合作社探自上而下之政策，以此指導之精神設立而運營之。然合作社於其本質上須有自主性，如不基於社員之自發的活動理解，求合作社的合作運動則不可能矣，其所負之使命亦因之形成畫餅矣，故自上而下之指導自下而上之自主性務須於一適當處而結合之方可，然此結合點於何處乎，即縣聯合會是也。

其理由自其能否自行覺悟，其使命上即可求得，鄉村農民對其使命之不自覺，即其早日理解之亦為難能之事，於其教育及文化程度之低下即可鑒明矣。即易成爲鄉村合作社職員之村內有力者，亦不過五十

步百步之差耳，非但此也，如彼等

成爲鄉村合作社之職員時，則將有阻止基本使命之，流通經濟的合理化，民生的向上，生產力的發展，彼等大多數具有土豪劣紳之性格與不在地主、商人、舊型官僚等爲向一般農民行半封建的榨取計，而使農民疲弊阻止農業生產力發展的極

也。然於各縣今多已配置合作社要員且將來仍繼續訓練，逐漸派遣配置之，此等合作要員，受上部之指導業已自覺其使命，即有未充分者，亦易投入上部指導範圍之內，如期滿佈於鄉村合作社，因人員及經費的關係，實不可能之事也。由此言之，具有指導性而處於合作社組織最前端者即縣是也，縣聯合會以強力之指導性對農民誘導並強化其自發之協同，爲應合使命實現之積極化而濃化其對合作社運動之自主性，但對事業之經營如無結合時，則成無力之指導，故事業經營之實權，非在鄉村，亦須集中於縣，此爲決定縣聯合會之組織方針之基因也。

將縣聯合會社置於事實上單位合作社之方針除前述使命上之理由外更有運營技術上之理由在，專爲期豫防合作社運營上之危險堅實其發展，須有卓著之信用及宏大之事業，然合作社之信用，由於人的信用而生，即由多數之社員及優秀經營者方可獲得，而當疲弊現狀之華北農村，如將經營單位置於鄉村時，則合作社力量微弱，對些小的危險亦難負擔，極易破產，且因經濟力之微弱，對優秀的職員亦難採用，再者事業量過小，經營基礎亦不免受外力之威脅。於日本內地亦曾發現採取小單位，組合之解散及合併已煞費苦心矣，絕不能再蹈其覆轍，且當今與敵對戰之華北地方，如組成易於破產及無望之合作社，於治安上影響亦非可輕視者也，艱實的經營而使社員享受利益，由之相互扶助，加強其團結力，更進一步誘導全般的使命實現之積極化。

因此諸理由縣聯合會於實質上持有單位合作社之性格，縣聯合會之性格由於鄉村合作社之性格而規定，關於鄉村合作社前已由同志安齋君述過之矣，因於敘述之層級不得已連繫及此，乞併讀之，如感不足之處並希指正。

(一) 構 成 員

縣聯合會之構成凡屬該縣之鄉村合作社，皆須強制的使其加入之意見，蓋於華北合作社組織上亦為即定之方針也以組織之重點置於農村也，都市地之特殊合作社不使之加入，由之縣聯合會於事實上形成農事合作社矣，以此為防止農村重點主義之組織傾轉於市街地消費組合之組織之支柱，因該種傾轉城關商人及其他有力者於聯合會中之比重較大，合作運營之方面，將由之而傾斜，此故安在哉，蓋因縣聯合會事實上為單位合作社，於此組織中彼等之文化程度高於農民，乘農民之無智而占不當之利益，為彼等之常態，一經彼等加入，彼等之利益，不能與農民之利益融合，並對農民之福利伸張共感上，亦甚稀薄依從來之習慣，利用農民的半封建的從屬性，易有牽引全體之傾向，但農民慣受長年的壓制榨取，對彼等心志求事項，困難澈底發表於外，故對彼等(農民)正直意向之把握上務須具有洞察其言語形態之心情，如華北或滿洲之農民，每於受虐政及不當之待遇不滿時，則僅自言「年頭不好」以表現之，如彼等

對某人或某機關表明不滿時，則臨彼等蜂起反抗之前夕矣，此者足以此為吾等之參考，於如斯情勢之下，為期完遂農民之把握，將重點置於農村縣聯合會之構成員，只以鄉村合作社為限，然如此言之將都市地之特殊組合擱於不顧乎，非也不使其加入縣聯合會而使其加入上級機關取特別處置之手段，與縣聯合會由於業務協定上，而結合之，對華北合作社之性格所帶有之濃厚農事合作社傾向之重點，務須嚴防其旁傾。

關於員外(社員以外者)事業之處理，因無構成員同一之負擔，而享受與構成員同一之利益時，則無形中增加構成員不當之負擔，而使其團結薄弱化，故除為維持治安，及公益政策等必要者外，勿須辦理，於各地時，見有對行政機關及其他公共團體職員，配與購貨品，或賣與商人，此皆脫離合作社之本質，行為，當嚴禁之，對行政機關及其他之職員配給物品時，如為一時者，則為新社會厚生工作之一部門，如為常久者，則可另行組成市街地特殊消費合作社，處理之可也。

為堅決打破華北合作社運行重要

阻碍之指導系統機關之分立，而規定鄉村合作社強判加入縣聯合會實有重大之意義在焉。

緣指導系統機關之分立，實由於合作社運動草創之期，經各方面各樣之實情，有急速織成之必要，且依普及之速度言之，未能依據統一之原則亦為不得已者也，然運動至現階段由於指導系統機關之分立，方針不統一之結果，指導理念混亂，組織及業務重複，經費資金之浪費，社員負擔因而增大是故合作社運動，邁進途上之障礙無有勝於指導系統機關之不統一者也，故對此務須粉碎之，此等弊害剷除之呼聲澎湃於各地，然各機關皆為全華北之利益故現地解決實屬困難，今已達全華北根本解決之時期，由

此種之規定，今後合作社，勿論其指導及設立機關之如何，皆須結合於統一勢力之下，方得以侵透於全般社員。

(二) 出資(股本)

縣聯合會之出資金，為集積各社員納於鄉村合作社之全數，此者因於事業上，縣聯合會實為單位合作社，鄉村合作社為其下部之組織，以資金借與團體，販賣品集積團

體，購買品配給團體之立場而運營者為所必然之結果也，本身不為業務之經營，則不負任何危險，故鄉村合作社，實無持有資金之必要也。

鄉村合作社之資金，全部集積於縣聯合會者，第一意義，為加強各社員對縣聯合會之結合，因其資金集積於縣聯合會，以之為對縣聯合會結合之紐帶，且可為對敵之確保民衆有力之一工具也。

對此當注意者「合作社員之出資金而活動之」此為世界一般的規定，而強行嵌入於華北，此為重視出資金，為運營資金之理想，但於今日情況之下實為大謬，半封建零星農制呻吟病榻下之華北農民實無若大之資力，既無若大之資力勢必須需巨額之事業助成金而補助之，且為農業金融資金更須備以巨額之資，如重視運營資金由於出資，則必求巨額之出資金也，然依華北之現狀求巨額之出資金，須有一部人出多額之出資而對多額出資者如不付與特殊之利益則無加入之理，故合作社將被該一部分執牛耳，則將使命之達成，引於歧途矣。

且合作社，担當民衆獲得之先鋒，不應懷有先取之心理，應先投

與之，據此而組織之，使其理解之後，而取之，(回收)方為正當之次序也，理解未使徹底之先，為整頓形態而收取資金時，則使農民發生衙門開營業，徵收租稅之感想，於把握民心正確理解合作社上，加以重大之阻碍矣，依現地之實例言之，毫無準備之先為整齊合作社之形態，而集出資金，使農民迷惑而焦燥，無些許之準備，事業上即受焦燥，實合作社運籌上之大危險也。

出資金是精神結合有力之紐帶，為使社員易於加入計，其額不可過大，蓋中國合作社法為事變前所制定，現以暫行法而存在，其對股本之規定，限每股二圓以上之故，現在各合作社之規款所規定每股為二圓者也，其中先納一圓，餘者由營業益金，而轉賬納入之，且於初納之一圓時，以分納之方法為相當，依誘導全體加入之方針言之此法亦為最適當者也。

(三)責任

縣聯合會須為保證責任，如有有限責任時，所負之責只限於出資額之故，出資額少，信用難著，事業之發展，亦將為其所阻，如無限責任

時，信用雖屬增大，因構成員間每親和相識之關係，發生全部財產將動搖之恐懼心理，此對組織之擴大及股份之增加上，不無阻害之處，此點與能以相識相親互助之鄉村合作社趣旨相異之處也，

保證責任之限度，一方增大信用，一方顧慮構成員一時之不測，以出資金二倍為適當。

(四)事務所

縣聯合會須與縣公署，新民會縣總會，其他各機關及會社，保持緊密之聯絡，然此等諸機關，團體，多數集中於縣經濟中心地之縣城，故聯合會亦須設置於此，普通各縣之城為治安最好之處所，故其組織網當對治安狀況種不同之鄉村，以戰鬥的形勢，向前伸張之，依經濟組織上，亦須將中樞置於治安良好之地，即於原則上，亦相符合。

因鄉村合作社，組織之擴大，距縣城較遠之處，於聯絡上則發生不利不便之感，可選該地域內經濟交通中心地設立支會，但當今日現狀下，對設置地點，須注意治安狀況而決定之。

(五)役員、職員、理事

會，總會參與。

役員設理事長一名，副理事長一名，專務理事一名，理事若干名監事三名。

以理事長，副理事長，專務理事為業務執行機關，重要業務由理事長執行之，遇有事故時，由副理事長專務理事依次序而代理之，一般常務由專務理事執行之。

理事長，副理事長，專務理事，理事組成理事會，審議重要事項監事為監查機關，出席理事會有發言權，可提出意見於上級機關，至於組織監事會或總會招集權等，無持有之必要。

總會由會員構成之，為最高意志決定機關。

以上將縣聯合會之諸機關列明，而此等機關，將如何組成之乎，如前所述縣聯合會，為自上而下之指導性，與自下之自主性結合重要之據點，在不失自上指導性之限度內，可及的濃化自主性，誘發構成員之熱意，而開彼等積極化之途徑也，本於此意遂行國家之意志，以行政機關長為理事長，以華北唯

一的民衆指導實踐組織之新民會責任者，為副理事長，因新民會與合作社使命及性格的關聯之原因，合作社事實上之責任者，專務理事，以新民會之務職員充之，則能充分確保指導性，其他之理事監事以由總會選出為適當，副理事長，亦即新民會縣次長，及專務理事當時，注意鄉村合作社之動向，而誘導其選出懷有正直方針邁進之代表。

理事會與總會之關係，理事會對總會慎重所決定意志之範圍內，而行審議執行為原則，代表即無能充分理解，且為使其一理解，必須努力解說之，因此無關重要微末之事，如一皆待總會之決定，實為自由主義之殘滓，對此無能力性之規定須排除之，僅關於組織基本定款之制定變更，事業計劃書予決算之承認，役員之選出等任之於總會，其他重要事項之審議，皆委之於理事會為妥當。

監事組織監事會，或總會之招集權持有時，關於縣聯合會獨立性之強大，組織運營上加以濃厚自由主義的色彩，且內部的監查為文化程度水準高時應有之方法，如華北縣聯合會為系統組織，自上指導力結合之處所，實無內部監查之必要

性，只於平時注意細末之偏傾，及諸不正，並經營等狀態於理事會提出之即可達於充分，試觀持有上級系統機關內部的監查之朝鮮協同組合，即可為實例，雖規定有監事之總會召集權，而三十年間終無一次之行使，實同空文，存於規定中耳，監事權已由其對上級機關之意見提出權中增強之矣。

對合作社運動，華北棉產改進會及華北交通株式會社，依一部份言之，持有強力之要求，此為該等機關自己對合作社成指導之理由也，亦即華北棉產改進會為棉花改良及增產之確保，華北交通株式會社以確保其鐵道水運汽車路為目的而把握其兩側十籽內之民心耳，其使命固屬重大然以合作社，運動全般的使命言之僅一部份耳，基本機關以外者如為理事而多數加入理事會時，自下之自主性減小之傾向，恐不可避免，故此等機關以另組織參與會，同時理事長，副理事長，專務理事參加之，關於關係事項聯絡協力進行之似屬為當，依現地之情況不妨以參與理事之性格而參加理事會。

理事會及總會，於現時下當由指導者以基本之精神向民衆說明之使

其約得而後發民衆之指導，其重要之意義在經會講活動之宣傳，訓練而聽取洞察民意也。

(六) 經費

初生期之合作社，想收足償經費之利益，實屬難能，合作之健全與否，與全縣政治的，經濟的，影響殊非淺鮮，故未至收支相抵前須要助成金，授與合作社之助成金，依其本旨及目的由行政機關支給者為世界之通則，有系統機關組織之合作社，上部機關於可能範圍內為強化下部組織計以同一目的而授以交付金，以期促其經營成人化也（且助成金及交付金須以經費而使用之事為一般之通例也）。

二、運 營

縣聯合會，為華北合作社之地方據點，辦理金融，販賣，購買，利用之綜合的運營之同時更須為合作社普及發展上之指導及農學技術訓練，鄉村合作社，雖為借受團體，集積團體，配給團體，然統制之，使其從屬，亦為縣聯合會，事業運營之基本要務也。

縣聯合會，為實質的單位合作社，運營業務，行完全之指導，及

四業之兼營，但當其運營時，為大東亞共榮圈建設上，華北合作社運動所負的，經濟的，政治的任務之達成，半封建的榨取合理的排除，及為合作社自主性育成，須為強有力之指導統制，關於此種理由，前列之三目標皆有密接之關聯性，半封建的榨取不能合理排除時，則大東亞共榮圈建設所要，求之任務，亦難圓滿達成，自主性如不育成之，真的經濟提携，共同防共，亦不得其實現，設不將根本置於民衆，自主性及共同提携不啻捨本，求末，無根確性也，民衆希求於生活中，為共同提携，反於此者，即為反民衆也，對此如能遏止之，始可得如泰山之穩半封建的榨取設不能合理排除時，則自主性難得存在，亦不許其存在也。

更一層具體論之，為大東亞共榮圈建設諸任務中所要求之，棉花，麻等農產物之增產，石炭（煤）綿布，鹽，雜貨等配給之合理化，減低敵方抗戰經濟力諸凡對敵所行經濟封鎖上等協力，設無強化之指導統制難以施行。

半封建的榨取又如何乎，關於此者形態雖夥，現先僅就其關於合作社運動者言之，即高利貸商人及經

紀等之不當榨取也，受昂貴地租，苛斂等社會原因及天災痛苦之農民每於秋黃不接之期，舉辦婚喪嫁娶時，則須奔走於高利貸之門，於華北貸借之利率即於商業金融上亦有突破一倍者，至於農民由二三分而超越至二十分（二倍）其率之高，非先進各國以常識所能想像者也，商人非僅乘農民之無知無力吸取不當之利潤，且以金錢之力對農民行不利之交易，東博農民無以逃脫其範，尚有其間介入經紀人徒增農民一方之不利耳，例如棉花一項，棉花協會之購買價，自百二三十圓至九十圓時，農民所得之實價不過四十圓至四十五圓，似此即如何高唱棉花之增產，集貨之增加，及通貨膨脹之防止，恐亦難收實效也，設農民陷於此機構中，非僅其自力不能斷絕之，即加入合作社後統制如一緩和，舊機構之拘束將隨之活躍，且鄉村一般之有力者皆具有土豪劣紳之性格，設無強力積極之指導統制力時，則合作社之意圖將終止於此矣，如不能徹底貫通於百分之八十之中小農時，反而受土豪劣紳，為隱蔽其不正之惡宣傳所離間之矣。

第三之自主性之育成與上述各端

有密切之關聯，設現在將自主性全部付與之，則不啻認可土豪劣紳自主性之獨占，而大多數之中小農形成隸屬之狀態，於未將鄉村中有力者之土豪劣紳之性格全部排除時，自主性須以其必要之程度而限制之，更須強化指導統制力，以社員對合作社全般之使命認識之，向上爲自主性賦與之條件，則無待論，如上述於今日狀況之下，自主性漸次之授與，自無庸議，然依合作社之本質言之，須使其伸張發展之，此須由縣聯合會誘掖而指導之，爲實現全民的自主性，須抑制根深蒂固一部有力者之抵抗力故，自上強力之指導與自下而上者非堅固結合則不可也。

關於土豪劣紳之情況，略舉諸端已如前述，茲爲避免誤解計更盡一言，非將彼等放逐於組織之外也，當合作社組織之初期吾等必須借重該等之力，然於組織之先將彼等籠絡之，爾後運籌之方針，則無須以彼等爲本位矣，爲全民衆之利益計即須籠絡彼等，且於以全民加入爲目標之華北合作社之本質上如此亦爲正途也。

對此持反對論者謂將組織，運營之重點置於鄉村內之有力者上，

其理由爲「設彼等占村民中百分之二十，然實質爲鄉村內之有力者其餘百分之八十，居於從屬之地位且彼等反共色彩濃厚，較百分之八十之中小農民易於獲得也，」然此者於原則上即不能成立，雖易於歸結於華北合作社之使命，但於現在緊迫之國際情勢所要求之爲確立華北之治安之戰略論上又將如何哉，其意蓋爲「因以早日確立治安爲第一條件，而不深究彼等不當之點，不侵害彼等之利益，以之壓制鄉村，待治安確立後，再行痛入正軌」，考此者，敵方爲充實其根基而以中小農爲對相之故，如放棄中小農實具危險性，即僅據此即可得其無安當性之結論矣，更由鄉村自衛組織之保甲之關聯性言之，占全自衛團組織中之大部分爲中小農民，而自衛力由擔當自衛者之意志愈旺，則其力愈強，方可得自衛力充分之發揮，「擁護東亞新秩序」之呼聲，雖普遍各地，然終未能切實深入於農民之腦中，彼等所感最功者，僅生活，及經濟的利害耳，合作社依此而與彼等結合，彼等則如前所述，將自衛奮起，保衛合作社，並對其輸送路，指導者，保護者，皆能盡力而護衛之，然合作社，如似世變

前爲土豪劣紳高利貸行爲資金之儲庫，授與非當之利益，處於貨棧之地位而活動時，則合作社非爲自衛組織強化寄與之所在，實爲敵方逆宣傳之資料，而幫助敵側奪取我方之民衆矣，如斯則爲華北建設，而爲之合作社運動之理由，將由之消滅，且當現在敵方因人民戰線戰術故尚未十分壓迫土豪劣紳，設不注意對待之，將逐之於敵營亦未可知，且恐敵側於以武力及政治力將鄉村壓倒之後，再收取彼等亦未可豫料之事也。

當國共爭執激化，宣揚一時之今日，兩者以可能之力分離之共產黨將強化偏重農民，打倒土豪劣紳之政策，如此土豪劣紳如不受我方之壓迫則不致投入敵側，關於缺乏物資之輸入，生產品有利販路之開拓，農耕資金之貸與彼等亦受同等之待遇，不過於數量上，因合作社統制強化之結果授與適當之額較諸以前稍多耳對「物資之購買，販賣上徵高額之手數料，貸付金亦無轉貸之可能，不利用之亦可」之言論恐彼等亦難於出口。

以上將指導統制強化之必須性，業經論明，然其手段及方法又將如何乎，即，第一守專屬辦理之原

則，自縣聯合會，經鄉村合作社，而社員，自社員經鄉村合作社而縣聯合會所經營之物品禁止與他人辦理，凡違犯者即須停止其社員應享受之利益；第二鄉村合作社，爲縣聯合會下部之借受團體，物產集積團體，配給團體，處於統制之從屬地位，故不許其於事業運營上，收取手數料，所以其經費由聯合會授與交付金，或經縣聯合會之認可依社員土地數攤派爲社費而支辦之，第三，縣聯合會之職員時，出差各鄉村，調查各社員是否已正確達於縣聯合會，所定之經營方針，資金之用途是否合於約束，販賣物品之貨款是否毫無誤謬付與各社員，購買品之價格數量有無異狀，村合作社之職員之行動如何，對未瞭解之處及不符之處指導放正之，有大過時處罰之，必須嚴明賞罰而把握村民之心更須誘導中小農中之生動份子，加入役員之中。

關於運營其他之一重要問題，即與商業資本之關係也，合作社於流通過程上，持有商業資本節約之機能，視日本內地之動態即可明矣，米莊絨線舖布莊等等以營業種類別結成各單位之組合，雖減少業者之

二分之一或三分之一而分配之成績亦未減色於小賣商店亂立之時代，如此設於今全國有米莊二萬戶，其資本總額為一千二百萬圓，營業者減少至三分之一，資本總額減至二分之一時，爲米流通而使用之資本爲六百萬圓，餘者則必運用於其他必要之方面（六百萬圓非正確嚴密之數字，因全般的營業者之減少，於其資產中非米莊所不能使用之財產（備品類）勢必減價或失其全部之價值，必減少此相當之金額）合作社爲合理的配給之機構，而爲如是之作用，尤於華北因商業機構之複雜重疊，伴同合作社運動之進展將有廣大之整理，然合作社最少亦須有商品流通所必要之商業資本，非將其全部消滅之也，即勿論合作社之普及發達至如何程度，商業資本亦須殘存，合作社不得經營小量之商品，且關於大產業，原料購入，製品販賣合作社所占之比重可期待者極微，代替商業資本者爲民衆之出資金然因其額過小恐難以應用，且以純粹經濟之範圍觀之，社會之經濟力由生產力而決定之，商業資本以其所生產之商品足供流通即可，再使其合理化而節約之，可轉其相當額於生產力之擴

充，因此而伸張經濟力，故合作社對國家之經濟力伸張上所付與者非鈔，勿論如何高呼產業開發，經濟提携，而伴於民族資本者有大量之商業，銀行資本存在，其轉化於產業資本者不足百分之十五，且銀行投資之對象首爲政府公債，而此毫末用之於產業之助成，徒使農民雙肩稅捐擔負之加重耳，如斯產業開發之方向實成其反，故爲改造金融資構成之基礎合作社亦有應分之責。

據以上之機能合作社於其業務範圍內與一部份之商人成利害對立之勢者蓋理之當然者也，只圖復興因戰爭而受打擊之配給機構，對商人些許之摩擦亦欲免除時，則組成臨時的委員會即足矣，無須合作社，設如是民生之安定，生產力之向上不啻夢想，且合作社應防止之農村破產的狀態之實現而不可得並同時破壞商人立足之基。

考與商人之關係，凡爲城市商人之爪牙而週轉於農村之經紀人無顧慮之必要，蓋彼等無真實之資本，只受城市商人之融資而爲購買行爲，爲其常也，以貨物集積機構之合作社立場觀之，其於流通過程中不投資本，僅居中間之階段貪圖不

當之利潤實百害無一利也。

城關商人之中尤以糧棧・花行起異於此，彼等投相當之資本，於流通過程中之故也，於從來，社會機構上與官僚一體而阻止民生之安定，生產力之向上，嚴然乎成爲現狀維持之勢力，故對此與以不必要之刺戟時於治安之安定確保上言之須爲避免，但對於新建設協力之性質言之，信賴於合作社方面大，以合作社發展爲第一主義與商人之關係須繫之於妥協地位，然此妥協之點以縣之交易場爲最得當。

關於此者，於華北因開辦伊始，徵諸滿洲之經驗即可明矣，其所述如次，「從來國內之糧穀市場向無何等之統制，任其自由競爭之結果，奸商並存，此等奸商對於農民經營高利貸的機能之同時，更以買青苗並其他不法之購買方法，使農民陷於以其血汗所得來之糧穀不得隨意出賣之狀態，因之農村之建設，農業生產力之維持增進，全爲所阻關於此者之改善，爲諸指導者所要求者也，因此關於農事合作社之交易事業目前爲圖改善糧穀辦理方法須以實現公平交易之策公正之價格爲目標而運營之，但當此運營

上縣公署本於省令以縣令頒佈，農產物交易場規則，農產物檢查規則，指定農事合作社擔當此運營之事爲當然者也，其結果農產物之交易得以公平而行之，農民可安心貨賣糧穀，且經檢查之結果，農產物之品質統一商品價格出之而向上，入手之價格亦行增大對農產物之改良，增殖，品位向上，與農民之教育的訓練之效果，由其所獲經濟上的利益殊非淺鮮，非但此也，一方因交易場之運營神經過敏之份子感覺於市場上有商業機能的糧棧，將有喪失職業不安之動搖，然於其實施之結果，優良之糧棧非僅得自由出入交易場爲糧穀之購買，且因公正交易之結果將從來之奸商，投機式不良之糧棧一掃淨化之，優良之糧棧得以節省從來浪費之時間及勞力，經交易場除可得安且易並大量之購買外因檢查之結果，穀類純潔而免劣品之退還得安全之交易耐長期貯藏之結果，價格由之安全而平均化，無礙損失之虞，故一般對交易場之設立皆行謳歌」。

自「滿洲之農村協同組合

運動」

而交易場因各指定購買人交納保證金可達「土着資本」之利用，此時交易場之經營皆由合作社擔當之，商人僅爲購買之行爲不得介入其中，如經營因商人而左右之則失去交易場設置之意義矣。

註：土着資本之利用

本於國策的華北之產業開發以鐵礦工業爲主而利用土着資本雖高唱一時已於不知不覺中轉入於合作社運動矣，前者之意義爲土着資本之利用使半封建的高利貸商業資本現狀下華北之民族資本轉化於產業資本，以期生產力之向上，經濟上之一進步，後者之意義是僅爲半封建的資本把持農村增加原動力強化其從來之機能，即阻止農民生活之安定及農產生產力之向上之機能也，結果造成所建設之倒閉耳，回顧近年華北之中國銀行將巨額之遊資使之逆流於農村之理由及結果，即可爲此之一左證矣。

與商人妥協的結合點固於交易場然其他於合作自體運營上須爲注意者，即合作社商店化之避免，亦即不爲繁雜之交易，及不行員外之交易耳。

尙關於合作社事業運營，設不伴以組織宣傳訓練，任運營擔當者之

所欲爲而擴大事業時，非僅招來農民以爲銀行，商店化之認像且亦具危險性，合作社因民衆之組織體而活動之方能強而有力，如捨農民僅以少數之資金，貧弱之設備，決難與他者對抗，華北合作社有此種傾向者殊多，爲防止此種傾向對營業擴大之慾望少行抑止，依宣傳訓練而確立，充實，組織相應組織力得發揮之程度而圖事業之擴大伸張方爲堅確也。

當前合作社之事業運營置重點於販賣，金融之上，以求經營之自立，雖於現情況下有巨額之助成金而維持，且捨之亦不得以存在，然自身務須努力經營之自立，因巨額之助成金非無期間，無制限所能受得者，且以合作社自身言之如長此以往亦反原來之本質。第一點，補助永續化則使合作社生依賴性，將考核而加之於經費之中，因此之安易性將失掉刺戟於事業經營能率之向上之積極的努力意志，有外部之支援，由自己協同力而謀之生活向上之精神漸之由之削減，此不啻自力更生團體之自殺也。第二點，補助金恆久化，與該支出行政機關，人事聯絡關係之密接爲勢所必然，由之合作社則成隸屬之傾向，於是使

合作社之發展創造的活動趨萎矣，因自上之統制強化設有歡迎官廳化傾向之輿論者，可謂之對大東亞共榮圈建設企圖上之綜合的計畫經濟之方向瞭解也，由是難得本來目標之達成，以往及令官僚獨占之統制企業機構中，使民間權威者進出之，然非爲民間權威者所經營之諸事業利益之代辦，蓋使彼等之頭腦手腕活動於國家目的之中耳，因其諸性質不同之事業圓滑的加入綜合的計畫中，使統一的機構中之自發的活動性成活潑化而大東亞共榮圈之綜合的計畫經濟亦由之確立矣。

合作社於事業之重點爲信用及販賣事業，以信用事業爲重點者，爲打開華北農民再生產之資金窮乏而受高利貸資本之壓迫不得農業生產力之確保並增進之狀態也，期貨徵此趣旨凡貸款皆以生產資金爲目標，無需擔保以人信用爲原則，當物品販賣之際，販賣品擔保而貸與流通資金，且貸與時直接付與農民，但於用途上，務須注意其使用之方法，以期萬全。

以販賣事業爲重點者，此者自農民經濟方面觀之爲收入增加，自全般的經濟方面觀之在於農產物之集積是也。

於華北合作社之現狀觀之，事業之重點在於購買事業之上，購買事業雖於收入之範圍可使有利的購買物品，但於積極的使收入增加則不可能也，只有收入增加之一途方能救農村之疲弊，而此點實於販賣事業之範圍中並且可得農產物物品集積圓滑之達成。

伴於販賣事業之進展，於縣聯合會中附設農業倉庫，此者設備之後，農民則不必爲不利之出賣，與以保存其糧穀至自己所希望之價格出現之時期，對敵經濟封鎖而行之食糧集積之際，農業倉庫亦可利用之。

販賣事業以共同計算委託販賣爲原則，務須避免買取(價買)販賣，蓋因其難易於增大交易量，顯視於他人，但物價時有漲落，易於招來合作社之損害，因與商人所出之價不同農民將脫離交易場而行秘密交易招來統制之紊亂。總而言之，只使合作社負擔危險，農民認爲合作社是與自己無關之商店，役員與社員互行對立化，故買取販賣於原則上務須避免之。

縣聯合會之購買販賣事業之運營，因現在經營擔當者手腕經驗及交易範圍之狹少難免招來不利之

處，爲預防計，於可能範圍內必須求上級系統機關之斡旋，實在之交易，可只以對地方一般經濟界之爲限，漫不如斯行之，行價不徹底，交易手腕不充分，則易陷於不利之交易，縣之責任者直接外出購貨，其價格高於當地一般商人，結果所購之貨品無法以處置之實例比比皆是，關於此點更須注意之。

以上關於經營之一般方針謹行述過至於信用，販賣，購買，生產利用，農業技術指導，訓練，宣傳等各論俟將來有機會時再行敘述。

福田政雄

組織之特殊性質。然而縣聯合會之規定則以「合作社組織之單位以縣聯合會爲主」爲原則，實際上也是含有單位合作社的性質。

諸如上述，華北合作社既然採取這種特殊合作社組織形態，當然有他的特殊原因存在。

譚鄉村合作社的性質

(一)

因爲世界政治情形的轉變，一般人士對於華北合作社運動，更積極祈求着他的進展。

村，同時謀中國國民經濟之基本農業經濟的近代合理發展，也是賦與合作社的一個不容迴避的課題，且只有合作社始能完成他的任務的。

在確立東亞共榮圈的戰時經濟體制上，實有強化農業部門的必要，至於食糧問題以及特殊農產物的確保與擴充等項，更爲安定農民生活上的絕對必需條件，是以合作社對於積極促進生產力增加上的任務更較爲重大，合作社組織的活動，雖然在他的任務確定之前，暴露出各種缺陷，發生過幾許的混亂，然而

關於具有上述任務的華北合作社運動之性格與其動向問題，在昨春以來各合作社關係機關檢討決定合作社運動的基本問題時，始行決定他的組織大綱。

現在的客觀要求與民生安定的必要方面，依然以生產力的增進爲要務，而企求着將以往的生產業務與由複雜的階級所構成之華北農村，改造爲以新民精神爲基礎的華北農

因此關於單位合作社的性格問題，不僅爲全華北合作社運動者所注目，即中日滿三國之合作社運動者及一般關心合作社之人士等，亦頗爲之有所注視，然而合作社的內容是應該依其國家社會構成情形酌爲增減，予以變化，是很明顯的。由此觀之，合作社運動之單位合作社，按華北地方客觀的要求情形，

在華北農村社會構成的基礎上，所組織之單位鄉村合作社的性格，究竟被各方面用如何眼光加以觀察與決定，是值得我們去研究的。因爲鄉村合作社具有決定將來華北合作社運動的成否的重要性格，所以華北合作社全體的組織形態，無論是如何形式，我們爲謀華北合作社運動的正常發展，也是應該加以深刻的檢討，而獲得徹底的理解的。

如果合作社之本質爲「依某特定國家或區域之社會構成情形，而表現其人格與家計經濟之社員聯合經濟團體」時，華北合作社運動不僅應該像日本產業組合，朝鮮金融組合，與滿洲國興農合作社之互有差異，即與以往舊政權時代的華北合作社性質亦應有所不同。欲明其真相，必須考察一下產生華北合作社運動的重要原因。對於建設東亞新秩序之華北基本性格及農村社會構成情形，如無相當之考察，不但中國合作社運動的正常實踐發展無望，且成爲一種絕對不可能的事。

以下關於促成華北合作社的要因，加以內外二種觀察，聊述淺見。

外在的要因即是華北地區對於東亞新秩序建設上應有的中日親善及防共政治，與構成其物質基礎之經濟或謀東亞國防體制高度強化之軍

事的各種必要事項。

近來國際間的情勢，益加緊迫，尤其以日德意三國間締結同盟之故，東亞共榮圈的確立，直接與國際間情勢發生關聯，對於確立東亞國防強化體制之政治及軍事各項，應由農業部門確保擴充其必要資源，增進其生產力。

內在的要因即是以新精神為基礎建設新社會時所需之國民組織體的確立，與獲得把握民衆以潰滅敵方之組織，挽救華北農村社會狀態停頓於半封建制的遲遲不進情形，及農民生活的安定向上，排除解決生產力增進上之障礙，或維持治安等諸般政治，經濟，軍事等的必要事項。

實言之即是，華北特殊社會構成的反映，在內部的要因中最占重要而此種內部諸要因所具有各種形態，更成爲華北農村社會特殊構成上的半封建現象的反映。

上述內在的要因，應該在中國社會經濟的特殊性質，即現在華北農村社會停頓於半封建制度的現象中檢討其究竟。至於因爲一般村民的無力無智，所發生少數的有力者德望家等的強權操縱情形，及土地分配之不公平，高利地價的存在，流

通過程中之商業高利貸資本的任意剝奪，一般文化程度之低下，或因教育施設之普及及所致之無智文盲，以及租稅的加重，濫派的存在等各種情形，已經由先覺者等加以檢討，認其爲使中國農村社會經濟停頓不前，使大多數農民處於極劣弱狀態之下的重要原因。對於這一點，我們由現地工作實際過程中亦可窺見一斑。

是以形式上的行政機關或其他機構，無論他的外觀如何整備，實際在農村社會上，祇能爲一個形式的存在，不能實際另革新行組織或調整農村之社會情形，更不能將束縛農民社會經濟生活的諸種原因解除。同時村鄉長等更往往藉其地位所有的統制力，從事榨取農民，由此觀之，農民生活自然亦因之益加窮迫，毫無發展生產力的餘地了。

對於剷除散在於華北各地之敵方組織，須謀國民團體新民會運動之進展，更須組織生活方面經濟之活動以與之對抗，同時此種組織必須脫離鄉村中有力者及德望家等以往的支配操縱情形，始能收效。

至於樹立抵抗敵方組織一事，並不是合作社本質中所應有的，然而華北合作社的運動如果是限於和平

的，或僅在治安確立區域內施行，絕對沒有發展的可能，至多不過在縣城內與其附近少數村落中稍加活動而已，這種辦法並不是現在合作社應取，更不是一般所要求的，由一般的情勢看來，目前的合作社，似乎必須積極活動，而求其迅速的進展。

抵抗敵方之組織，農民必須全部有自動自覺的協作力，與全村一致的團體組織。欲促進農民的自覺行動，更須將歷來華北大多數農民對於政治與近代機構等的漠視態度，或即有所關心及願望，而爲鄉村內部勢力等所牽掣不能參與實現等情形打破，換言之即是必須將此種並非由於社會間共同之意識所滋長，而因其自體缺乏實力之故爲一部的有力者及地主富農等操縱支配所養成的習慣現象徹底打破，始能謀其自動的行動與實踐。

是以對其政治方面，應由新民會的運動去着手辦理，合作社則負促進其經濟活動，即對於初期缺乏政治認識的農民，施以新民精神，使之自動團結，積極對抗敵方之經濟侵略之責。然而實際上必須以生活的安定，生產力增進等內在的要因爲前提，這種農民自覺行動才能積

極的發展。

此外關於內在要因中的土地分配之不公平，高利地價的存在，流通過程中之商業高利貸資本的任意剝奪等重要經濟課題，已經由諸先覺者探明他的結果，所以無須再加以贅述。

諸如上述，此種內外各的要因解決方策，歸結於華北農村社會構成問題中之民生安定及生產力增進二項，欲求其圓滿解決必須謀農業政策的普及與切實的辦法，樹立國民農業經濟組織等，更須以農業政策爲前提，而謀農民生活的安定向上，排除生產力上的諸種障礙。

中國的農業經濟如果永遠停頓於半封建制社會經濟組織之下，則只有開墾荒地一途以圖開發農業，此外農業技術上的改良，經營上的進步，與正確的農業政策等均不能使其合理發展，更不能使其符合於國際情勢下所要求的新經濟體制。

對於上述內外各要因所要求的課題，只有農民的經濟協同團體才能排除華北農業社會的半封建現象，謀農民生活的安定向上，農業政策徹底發展，使華北農民與農業符合於東亞新秩序體制，才能有農業近代的合理發展。

是以華北合作社的性格中必須有挽救上述農村沒落狀態之責，同時他的運動進展，與樹立國民農業經濟等也是絕對必要的。

(三)

華北合作社的必要性格，已由內外諸要因中窺見其一斑，然而對於這種要因所賦與合作社的性格，尚有探討的必要，以下略述淺見以窮其究竟。

華北合作社的性格，必須以實現建設東亞新秩序的華北新民指導精神為其根本精神。對於新民精神實踐團體的新民會與合作社間之關係一項，已經在本刊一月號「新民會與合作社之關係」一文中詳加論述，此外農業政策的普及實施，與社員的互相扶助增進福利等項，也是合作社所應有的任務。

是以華北合作社的性格可以得到以下的結論，即是「合作社為本新民之精神，使勤勞誠實的農民互相扶助，農民經濟與農業符合於東亞新秩序之建設，而謀其福利之增進，及農業上近代合理發展之農民經濟協同團體。」

華北合作社既有以上的性格，當然更有一種特殊的組織形態。不過這種組織的方式並不是一種特定制

度，是建設新民主社會上的一部實踐與國民經濟的組織運動，即是所謂農民經濟協同組織的運動。同時這種運動的方式必須以華北農村社會構成情形，與再建農村的合作社，或與東亞國防體制，新民會運動等各種關聯的性質為轉移，才能在合作社中加以充分的活躍。

(四)

以下更就鄉村合作社的性格聊加觀察與說明。

鄉村合作社為華北合作社所採四種制度中的單位合作社，因其為互相扶助，與經濟協同的實踐單位合作社，所以成為縣聯下部組織的部落團體，更因他的組織機能僅能輔佐縣聯專業而不能獨自經營，實質上則為縣聯的資金借貸團體與販賣品之收集，購買品之分配團體。這種缺乏專業經營的自主性，與實質上成為縣聯下部組織的矛盾現象，完全由於華北社會的內外諸要因所致，也即是，由於上述諸要因完全集中於中國農村社會的構成上，而發展其作用所致。

中國農業社會受着以往半封建社會經濟關係的支配與操縱一事已為人所共知，欲打破這種現象，必須有一定的國民組織，始能收效，同

時更要建設東亞的共榮圈，與解放中國廣大的農村目前陷於戰場狀態的現象。

在新中國的建設上，也要樹立和敵方共產黨及共產軍組織等徹底爭衡的組織，而與之對抗。過去的新民會全體聯合協議會席上也曾經指明民衆運動的應進方向，所以華北所有的建設工作更應舉其全力以求這種對策的進展。

綜以上所述，合作社應謀民生的安定向上，生產力的增進，及流通過程中的合理化，就是對於阻礙農業社會進展上的諸種障礙，也應該檢討適當的對策，以求其合理的解決與防止。

此外對於外在的要因，必須有一個統一機構的強有力的統制力，才能使他的新經濟體制鞏固確立。所說的「鄉村合作社在縣聯指導之下辦理各種業務」的方針，也是指這一點而言，並不是說普通的指導，換句話說就是鄉村合作社是一個輔佐縣聯專業的團體，一切專業的經營都要集中於縣聯合會的。反之，如果認為他是一個普通的指導，則不單違背組織的方針和立案的本意，且成爲一種漠視華北現實狀況的事實。

至於鄉村合作社業務上，所有的縣合作社下部組織的性格，雖然不涉及農業獎勵上的共同設施，利用，與作業等各種事業，然而在特殊的華北農村之中，合作社不僅應該辦理他本身的事業更包括着所謂日本的農會的業務，由這一點看來，上述的幾種業務，也是需要我們去辦理的。

也就是爲着建設東亞的新秩序，必須把歷來半封建的華北農村社會情形，澈底加以改革。

再這些確定的具體事實，在合作社工作的過程中，有下述各種難題，顯示在我們的面前。

就是現今的合作社，未能發揮牠的單位合作社的機能，然而這種缺點不能不歸咎於合作社下部組織薄弱之所致，是不容否認的事實，一般人則以爲人材缺乏，資金不足或指導失當等原因，然而這不過是牠一部分的原因而已，至於主要原因，還要歸咎於社會環境所釀成，還要歸咎於社會環境所釀成，還要歸咎於社會環境所釀成的情形，具體來說就是一般農民對於現今的政治，及革新社會上，毫無認識，對於社會的協同組織漫不關心之所使然，爲引起農民對政治的認識及社

會協同組織的關心起見施行改善教育，採取啟蒙工作，雖然能有些裨益然而微諸已往的事實，如欲達到，最後的目標，尚須相當時日。

關於經營上的問題

第一個要因就是華北農民資金的薄弱問題，以華北的農民現狀看來，欲使之集聚資金，從事農耕實屬非易，即令每股出資二元，以華北大鄉村一千戶計算，可集聚二千元的資金，然而用這二千元的資金能否供經營單獨農場之用，殊屬可疑，不足的時候，當然更要多徵，以期資金的敷用，不過這種辦法，是不是要引起下述的結果，是很明顯的事。

第二合作社的運營上，對於人材的網羅問題，是絕對需要的，然而獲得合乎現今水準最低的農村，來組織事業的運用上整然有序的機構的人材，不是一樁容易的事假如為彌補這種缺點起見必須有賴於人材之訓練養成不過這種養成訓練也不是一朝一夕所可濟事的，再關於構成農村的有力人物，雖對於農村的繁衍上或有多少可

期待的地方，但是也不能說是振興農村的根本方策。

組織上的問題

為謀生產的確保與農民生活的安定，首先要破壞共產黨及共產軍的民族戰線，然而這種民族戰線的主要對象是屬於中小農民層的，況且共產黨的主要對策是在乎沒收大地主的私產，分配於中小農家，以資增加生產安定生活，再為徵收食糧，而設有合作社，他方為供給農耕起見，也有資金的通融辦法，如此對於共產勢力的活躍，我們為推行合作社的運動不得不訴諸武力，以資相輔而行，並且合作社的工作並不是屬於一方的，因為有敵方份子的潛在，所以合作社構成份子的農民不絕成為爭奪的對象。

據說某縣地方共產黨潛伏於內，對於當地合作社及其他各種工作表面上雖未加以任何阻礙，然而在暗中利用合作社積極施行着他們獲得農民的工作，當事者却因為業務的順利進行，頗為滿意。這種現象能使合作社運動失掉牠的戰鬥性，

而僅能站在經營主義的立場上去經營一切，不能實現完全自主的單位合作社。即使能夠獨自經營，恐怕一經狙擊之後，也是不能復起的了。這種合作社當然沒有所謂發展性和存在性的。假使合作社能够自主發展，究竟也不是完全的自主，不過僅能作為敵軍兵站的基地而已。如防止合作社之動搖計，對於配給品數量之查定，所需物資之短期配給，防止物資的外界流出，收獲物的全部強制保管，設置良民倉庫以防途中運搬時被掠奪的危險。及向各社員直接配給收貨等由縣合作社直接辦理，為謀全村安定之良民倉庫之運用，以期經營之健全，遏止敵方之蔓延，此種處置稱之為戰鬥組織。這種辦法於鄉村合作社的性格中有此特質，其意即是說協力其事業之進行，並不是獨自的經營。

第二，鄉村合作社的委員長們實際是由教育程度很低的地位一躍而為合作社中的有力者，始終沒有脫掉他們的土豪劣紳性的。筆者出現地工作中會見

到以下各種實例；他們利用合作社的申請入社，借款，購買等業務來排斥自己的反對派與中小農，或壟斷信用貸款，或以與縣聯合會連絡為由，而向社員徵求旅費，或剝奪購買品和要求報酬，更有某處的鄉村長，據說是利用合作社才獲得他的地位的。這種事實不但違背合作社的制度，就是在建設新中國的新民會實踐運動上來說，也是絕對不許存在的，然而我們的意思是善導農村，並不是說排斥農村中的有力者，換句話說也就是組織一個健全的合作社，指給農民一個正當的途境，那麼以上的劣點，自然就不會發生了。

第三，在教育程度低劣的農村中，所有的知識份子，也就是能够受到教育的，自然是一般的有力者或是他們的子弟，所以合作社的委員勢必要讓他們去當，不過他們即以爲有機可乘，一味的要求他們自己所需要的生產上資材的供給，合作社本身的宗旨等則一向不加過問，而且這種情形不祇是農村一處，就是縣聯合會也是不能

避免的，但是牠所給與鄉村合作社的影響，是不難想像的了。

由上述幾種實際情形觀之，鄉村合作社應有的態度，自是顯而易見，至於研究討論華北合作社問題的結果，認為鄉村合作社在地的性質上有自主性。然而在地的機能上則受縣聯之限制，失掉牠的自主性。這種特異的現象，也就是由於華北的現實狀況所致。

不過我們要知道，合作社事業上的自主性，並不是全面的受着限制，所受限制的只不過是流通部門一部分而已。鄉村合作社應該在利用事業和獎勵生產事業上發揮牠的自主性，尤其是華北農村中，大多數以農業外的勞動來維持他們的家庭經濟，所以必須舉辦共同的設施與作業，去發揚他們的當地手工業和副業。我們更可以利用這種方針，使一般農民澈底了解合作的意思，把這種共同的設備與作業等運用到農業方面上去，以求鄉村合作社的正當發展。

所以由於華的現實狀況上看來，筆者認為鄉村合作社的事業應該更進一步統一集中於縣聯，而鄉村則為一個部落的團體，才是一個適當的

辦法，因為我們考察日本的農村實行合作社，實際上是比產業組合還要充分的活動，同時對於內外在的諸要因，與建設東亞的經濟新體制上，這種形態也是絕對不可避免的。

這一篇文的宗旨是為着檢討鄉村合作社與華北合作社的性格問題所寫的，不過因為時間的匆忙，自然不免多有遺誤的地方，尤其是鄉村合作社的性格，應該在縣聯的下部組織，與自主性的受制和事業經營等問題上，詳加探討，不過這一點因為篇幅的關係未能詳盡。等有機會的時候再來發表。這一篇文章希望同志諸君嚴加批評與指正。

安齋正



合作社成功要訣

- 一、籌備完全，組織周密。
- 二、業務區域規畫適合，事務所設置適中。
- 三、社員知比知彼，感情融洽。
- 四、社員品格端正，職員選舉公開。
- 五、社員信任職員，職員篤實盡職。
- 六、進行遵守規章，權限劃分清楚，手續有條不紊，帳簿登記詳明。
- 七、推廣儲蓄，存款放款，供求適合用途限於生產(信用社)；進貨價廉。
- 八、公積金日求加增，營業費力求節省。
- 九、取漸進主義而不急於成功。
- 十、多與有關機關聯絡，並事事保持信用。

新民會與合作社之關係

一、新民會之首應指導合作社組織者，實爲當今之要務，蓋以新民會爲華北王道建設綜合領導機關，而合作社爲民間之經濟組織團體，占新民會指導華北全般經濟部門使命中之重要部門故也。

應使合作社運動，充分活躍於民衆生活之中，俾爲新民會運動之先鋒工作，庶對於本會之運動亦易收事半功倍之效，此所以對合作社之運動宜充分指導而使之發揮其本能者也。

二、合作社對新民會指導援助之必要性。

因新民會爲一民衆團體，對其他團體之指導非應以強制手段或命令而行之者，應使之充分認識與本會唇齒關係，緊密連絡而發揮其組織之機能，與本會全般運動相輔而行，以期收其全功。

然由何點論之則合作社有需新民會之指導援助者。

(一)關於民生改善方面
於農村外則應控制阻遏合作社發展之中間榨取商人及官吏之專橫，援助合作社之進展，於農村之

內部者，抑制當地土豪之壟斷，經合作社之活躍，避免利益之外溢，而挽回利潤返歸農民，此新民會之宜首先誘導合作社運動之要諦也。再關其事業運籌之與各關係機關之連絡一項，亦應由新民會從中妥爲斡旋也。

次者，農民雖因合作社運動之努力而挽回幾許之利潤，生活因之稍得安堵，而以雜捐之繁多，及租地制度之不良，仍難解農民生活於萬一，故於新民會方面對此積弊，宜應澈底刈除，而期拯救農民，此亦爲新民會之宜極積由側面援助於合作社之要項。

(二)關於政治、治安、文化關係等方面

華北地區爲日滿華經濟提携之重要一隅，對其經濟之繁榮，雖有堪期待者，然往往偏於個人企業之私見，惟目前利益之是圖，罔顧及國家政治經濟政策爲何物，此亦應由新民會因勢利導矯正前非，而期國家經濟之繁榮。

再經合作社與敵對組織之角逐，挽回利潤以裕民生外，更進而

活躍購買，販賣等事案，與敵對組織，以堅強之封鎖，而成爲鞏固之組織。然此種活動欲期收全功，非合作之單獨運籌所宜臻效者，必以仰賴新民會之提携，而發揮其與敵對團體鬭爭之強大機能也。

再謀合作社之充分發展，對社員之教育訓練實爲重要課題，然其教育精神勢必輸以新民精神，此亦不得不仰賴新民會之與以精神之援助。

三、合作社指導之統一與新民會指導之範圍，歷來合作社之運動，與指導育成機關各自爲政，亦生混亂，成效亦微，故今後需合併而爲一體之組織，由新民會直接指導之，至關於其他機關之指導事項亦須與本會密切連絡爲當，惟僅關於農事技術之指導尙可單獨行之。然歷來合作社與新民會時有組織，會計等方面之混同，而影響及於合作社之發展，故對此應判然區別其組織。

尤以新民會如長期行物資配給時則有強制使加入分會之嫌，不僅對合作社運動發生阻障即時新民會本身亦有碍發展之弊。
以是今後新民會對於合作社之指導事項，則應擴而爲全般民衆之

生活運動是爲切要，但對其經營技術之指導尙無顧及之必要。

四、新民會之合作社指導權，應如何保持之

新民會對於合作社之指導權，應以確保於各系統組織之專務理事及主要職員等人事之發言權，及聯合會專務理事與合作社要員之育成訓練，並關於次年度事業計劃書之協議等事項維持之。

前項之發言權，係指關於任免調動等重要發言權而言，且其力量應按新民會自身之政治力強化程度更形增長。

關於人事之統一，因其爲組織統一之基礎，故合作社之人事權應集中於華北合作社中央會，關於新民會各級組織合作社人事之意見須連絡通過中央總會，以防人事之混亂。

五、關於新民會各級合作社組織之指導，應按下列各項辦法處理之。

(一)分會
新民會之分會，爲染有封建遺制色彩之鄉村共同團體，並非由個人主義之組織觀念所組織者，其組織之對象亦非爲鄉村生活中之單個農民，係按新民會之指導力與鄉村

之政治的訓練之進展，將所訓練之中堅推進份子逐漸輸入於幹部於極力支持之下，使其革新既往幹部組織之傳統勢力關係，而繼續其慎重之準備工作，且此種分會關於上級總會之新民會與合作社間所生之鄉村指導關係，不能使之適用於鄉村合作社者已為洞明之事實，而合作社之組織，按華北社會構成狀況之必要，以縣為其實際之經營單位，鄉村合作社前成其下級組織，處於其強力指導統制之下，如此，則分會關於合作社之指導，成為新民會縣總會對於合作社運動指導上之重要先鋒，更應將本身之意向通過縣總會而求其發揮實際之功效，至於縣內之辦事處，則為其中間組織，負補助分會之使命。

(二)縣總會

縣總會於每年度之實施前，須向合作社縣聯合會徵求事業計劃書，由民衆運動全體觀之，加以檢討而妥協議定之，更對其加以監視指導，以期適切之進行。並與會內派遣之專務理事及其他合作社要員等，共同使會務方針反映於合作社內，而謀其順利之進展。

分會與合作社運動之間，具有互相之關聯性，故應使其強化對合

作社方面所要求之工作，以資使會務運動活躍於鄉村之間。

(三)道辦事處

道辦事處應向合作社縣聯合會徵求事業計劃書，而加以檢討，使縣總會妥協議定，以謀其符合於會務運動方針，至於實施時更應隨時留意其動向，而期道內各縣合作社聯合會之綜合發展，促進合作社道支部之確立。

(四)省總會

省總會須綜合檢討協議縣聯合會及省聯合會之事業計劃書，更對於會內派遣之專務理事及合作社要員等，使其了解會內之方針，而指省聯合會，使其不致越出中央會統制範圍之外。

(五)對於全部組織之措置

新民會各級組織之措置，重要會議，應使該各合作社組織之專務理事及主要職員等出席，並使合作社職員分會歸各級組織直轄管理，期合作社之職員獻身於會務運動，更使合作社為其運動中之重要部門，而加以充分之活躍也

中央總會厚生部合作科

(三〇、三一、七)

合作運動與社會運動

C. M.

合作運動，自一方面言之，實亦社會運動之一。任何一社會運動必有其發生的必然性，必有其社會的根據，合作運動當亦不能例外，此合作運動與一切社會運動所同具之一般性。但自另一方面言之，合作運動又與其他社會運動不同而自有其特殊性：第一，合作運動須以保持政治的中立為原則，不參入任何政治活動性，而其他社會運動則一般地專以從事政治鬥爭為第一義，此合作運動與其他社會運動不同而有其獨具的特性一；其次，合作運動雖具漸進的反抗資本主義之鬥爭性，但對資本主義亦不從事積極地否定，而其他社會運動或則積極地從事政治的鬥爭以絕對否定資本主義的存在，或則妥協地謀資本主義之枝節的改善而幾乎缺乏鬥爭性，此合作運動與其他社會運動不同而有其獨具的特性二；又其次，合作運動一方面有其完整的理論，一方面又有其適應於一切資本主義社會之實踐的具體方案，而其他社會運動或僅有空疏的理論而毫無實踐的方案，或雖有理論有方案而未必適應於一切資本主義的社會，此合作運動與其他社會運動不同而有其獨具的特性三。

合作運動與其他社會運動間的差異 (下)

屈 夔

最近合作主義者中間有一個很強的趨向，他們普通都贊成參與選舉議會。

經濟科學會證明自作農較善於做佃戶的農人，因為後者耕種土地的成果不好，並且毫不加改良。

合作在實現其關於土地的計劃，承認有使國家參與的必要，特別是擴大耕地的事業上。並證明了鄉村的小私有財產能減少農業生產。並且即使領有很多的田地，但他們用貪慾的方法經營，則無論對他們自己或對於國家都沒有什麼好處；土地將為之衰弱，而農民將沉淪於野蠻狀態中。

因此合作對於農民，主張用大農耕作法來替代小農耕作法。合作社將組織農民集地購買種子，肥料，農業機械。而信合作社能盡力於購買之必要上的準備方法。由此農民當接受土地時，同時可以靠合作的利益得到良好的耕種，而增加國家之生產。

講到丹麥的例，在丹麥牛乳製造合作社不只戰勝了私人資本主義的營業，並戰勝了公立的營業。在

丹麥當有過許多私人經營的牛乳製造所，但營業很壞，因為農民自己就不歡喜此私人營業，只供給他們以壞的牛乳。反之在合作則大家都直接地發生關係，使他們無作弊之可能。農民不能自己妨害自己，所以供給好的牛乳於合作社。合作社在丹麥，雖然大資本也很有組織，但其基礎已非常鞏固。現在在丹麥有百分之九十的牛油屬於合作社的生產。熏肉的生產品也有同樣的成績。丹麥的百分之七十的屠宰業屬於屠宰合作社。鷄卵的收集與輸出業也有一大半屬於合作社。英國人承辦輸出丹麥農產品於其他國家的事業。還有值得注意的事是丹麥人使用西伯利亞的牛油，而用更高的價錢把他們自己的賣給外國人。

丹麥人非常得合作的好處。但丹麥的土地是私有財產。在那裏的土地也沒有國家化，也沒有社會化，雖然其農民已經有相當程度的文化，並且還有為農民設立的大

學。在一個大學畢業的學生有實用的知識。其農民不像在別的國內一樣，他們不到城市裏去生活。他們只安住在鄉村，努力建設鄉村文化的工作。

在確定合作運動與其他運動與組織之異點，我們應當知道合作之一個新觀念在乎建設。自然大部分合作主義者的觀念是道德的與理想的。但大部分的社會主義者，與無政府主義者的觀念則是經濟的唯物主義。合作主義者中之理想主義者之觀念，不如經濟的唯物主義者之急於要求實際。合作之最初的創設者之大多數，簡直不認政治活動之重要。可以說他們如英國諷刺派批評家「格里佛遊記」的著者斯維夫特特說：「農民種成兩季麥勝過所有政治家所作的事」。信用合作社之父瑞費生從沒有為任一政黨投過票，也沒有加入過任一政黨；他說合作主義者是為全體人民服務，而毫無為一個黨派服務的必要。

此種主張變遷的最重要的原因，第一因為政府與議會常不能理解合作之作用與要求，第二是合作主義者對所有的政黨甚至工黨都感到一種不滿。最初在英國開始組織一個新的合作團體或合作社。此團體產生自一個經濟團體。合作社在議會中佔一個完全獨立的位置，但他並不拒絕與別的團體之親睦關係，尤其是與工黨的關係。別的國家也有倣效英國的先例者，但大多數仍舊繼續其政治中立的態度，特別在瑞士，在丹麥，在德國是這樣。

總之一直到現在，對政治之獨立與不參與態度非常有利於合作，因此可以把各派的善良分子吸收於合作的旗幟之下。保留一個中立地帶使他們能互相接近，互相努力。假如將來用一種新的合作黨團來代替此種中立政策，必定會發生一種對合作的信念之更大的造詣。合作負擔着一種很困難的任務，他不但要去完成一個新的概念，並且要創造一個新的社會制度。

總之一直到現在，對政治之獨立與不參與態度非常有利於合作，因此可以把各派的善良分子吸收於合作的旗幟之下。保留一個中立地帶使他們能互相接近，互相努力。假如將來用一種新的合作黨團來代替此種中立政策，必定會發生一種對合作的信念之更大的造詣。合作負擔着一種很困難的任務，他不但要去完成一個新的概念，並且要創造一個新的社會制度。

總之一直到現在，對政治之獨立與不參與態度非常有利於合作，因此可以把各派的善良分子吸收於合作的旗幟之下。保留一個中立地帶使他們能互相接近，互相努力。假如將來用一種新的合作黨團來代替此種中立政策，必定會發生一種對合作的信念之更大的造詣。合作負擔着一種很困難的任務，他不但要去完成一個新的概念，並且要創造一個新的社會制度。

普魯東會說：有一天將會有一種異於私有財產與集產主義的另一種社會制度實現，即社會主義的制度。此種社會制度至今還沒有實現，但合作運動却已經開始做這項工作了。

華北合作 小篇論壇

中國合作簡評

C. M.

中國底合作事業，雖只短短的廿年歷史，但以合作社發展底數字而論，在中國這種遲鈍的，遲鈍得似乎靜止的社會裏，似亦不無可觀。據中央統計處二十三年全國合作社統計：民國二十年全國只有合作社二、七九六社；二十一年有三、九七八社；二十二年六月底的統計，全國合作社為九、九四八社。又據中央農業實驗所二十四年發表的統計：二十三年底，全國合作社已達一四、六四九社；二十四年底，全國共有合作社二六、二二四社。倘以二十年合作社底指數為一〇

〇，則二十一年的合作社指數為一四二、三，二十三年六月底的指數為三五五、八，二十三年年底的指數為五二三、九，二十四年的指數為九三七、九。以二十四年與二十年相較，四年之間計增九倍有奇。

(二十五年以後，以各地情形隔閡，尚無完全的統計。)合作社底量的發展已如此，質的方面則如何呢？我們有兩語足以盡之：一曰官府包辦，二曰主義宣傳底附庸。

合作運動，原為資本主義經濟制度下之民衆，為保障其生存之自覺自衛的運動，因而合作事業應以民衆之自主自發為原則。但在某種情形之下，即如廣大的農村合作事業之主體——農民，以社會教育之不發達，因而其知識有限，雖呻吟於經濟的高壓之下，不知其所以自救之方，斯時也，政府為遂行其社會政策，對合作事業加以宣傳提倡，並指導其民衆從事實際的工作，亦為必要。如我國之農村合作事業是。惟斯時之政府，對原則上應為自覺自主之農村的合作事業，亦應只處於提倡指導的地位而止，最後仍須誘進此運動至民衆之自主自發的程度；過此以往，則為越俎代庖。我國之合作運動，不幸即犯此

病！其由政府機關倡辦者，則演成官吏包辦；其由社會團體推進者，則演成指導人員代辦。包辦代辦大抵皆以合作社之數底擴大為自己功績之累積。至民衆對合作之認識究至如何程度，民衆對合作是否自己感到需要，合作給予民衆之實惠如何，等問題則一概置諸不問。結果：合作自合作，民衆自民衆，合作之功效，推而極之，亦不過做到民衆借款之集體的保證人而已！況究其實際，所謂農村借款，亦即為金融資本開拓一新的投資市場，而農民所得實惠究為幾何，殊為疑問。此項借款倘係介紹商資，則居

萬八千里了。——中國合作事業之官府包辦的結果已如此！

合作運動原為資本主義經濟制度下的產物，已如前述。故合作運動實為民衆漸求生活向上之自主自救的運動，而合作制度實為一經濟性的社會制度。若語其主義，合作理論本身即是一主義，即一般所謂之「合作主義」，此外並無主義之可言。合作主義，以要求生活向上為基點，以漸進地改善經濟制度為目標，因而與資本主義經濟制度下之弱者——一般民衆之要求相吻合。一般民衆之要求只此，故其所樂於甚至所能瞭解者亦只此。故提倡指導之機關，其所提倡指導者應遵守合作範圍，若進而語及其他，不但民衆不樂於瞭解，且實際不能瞭解，甚而搖動其本來之信念，適足以妨礙合作運動之前途。我國之合作事業，不幸即犯此病！共產主義者利用合作社為宣傳共產主義底機關，三民主義者以合作社為宣傳三民主義底機關，即現今之新民主主義者亦未能免此：——此在各個主義者本身自不無認為必要之某種理由，而在合作運動一方面，則殊為一種不幸的攪亂。且同此民衆，今日而接觸共產主義之宣傳，明日而

黨沐三民主義之空氣，又明日而接受新民主主義之洗禮；民衆之經濟生活猶昔也，民衆之理解程度猶昔也，民衆之需要目標猶昔也，而其所接觸之宣傳指導原理不同如此。此種種不同之原理，其爲合作理論之歷史的演變，抑因解釋者之見解而異，真是使民衆墮入五里霧中而莫明其所以。結果：徒使民衆疑及合作本身，或竟合而不作。所謂合作運動，有其名，無其實，不過推動者之主義宣傳底附庸而已。

——中國合作運動之被宣傳利用的結果又如彼！

批評中國合作，本可從各種不同的方面入手，以批評者觀點之不同，其所得之結論亦自異。本文所述中國合作之弊，僅從「責在官府者」着眼，要亦中國合作前途進展之痛也。倘以批評爲過苛，請看鐵般的事實！

談合作主義

樵哥

合作也可以說是一種主義，就是合作主義。因爲甚麼呢？因爲孫中山先生說過，凡是可以叫做主義的，全都有三個過程，然後才配爲主義。那三個過程呢？第一是思

想，第二是信仰，第三是實行。

合作辦法的起源，是在英國。

那時英國有個大學問家，叫做歐文，他眼看村中農民，一天比一天窮苦，他心想有甚麼辦法，可以使農民振興起來呢，想來想去，他就想起，農民要想脫離窮苦，非結合起來，實行合作不可。自從他想了這個辦法以後，又接續着研究了好幾年，才向大家發表。別人聽見了，也有相信能行的，也有說他簡直是在作夢的。可是到了後來，在英國羅德蘭城的城內，有法蘭絨工廠的二十八個工人，因爲感覺日常生活太困難，他們就聯合起來，立了一個合作社，起一個字號，叫做「公平先鋒社」，但是他們本來都是窮人，沒有好多錢，每人才難出一鎊錢來，他們就拿這二十八鎊當資本，幹起來了。幹甚麼呢？就是凡是他們這二十八個人，日常所用的物品，類如牛乳咧，牛肉咧，麵包咧，等等的東西，都山社內一總批發，然後再賣給這二十八個人。剛一成立的時候，無論那一方面，都是困難的，艱苦的。就拿他們料理社務而論，打頭在時間上，就是一個大問題，因爲他們整天都

得去工廠做工，要到完工以後，才

能辦理社務，又要買，又要賣，又要記賬，種種的事情，都得一早一晚辦理，請問這够多勞苦哇。並且同時還有多少人，來譏笑他們，說他們簡直是胡鬧。但是他們二十八個人，總不灰心一點，更不管別人的笑話。就這樣過了一年以後，他們成了功了，他們的本錢，由二十八鎊變成了好幾百鎊，同時他們的生活，也全充裕了，而且請求和他們合作的人更是一天比一天多，資本越來越大，傳遍了英國，傳遍了世界，到現在，凡是辦合作的人沒有不知道這回事的。自從他們成功以後，合作事業才發展到全世界。

由此看來，合作也是先有思想，因爲思想完全優美，才能令人相信，而且有人去實行，實行的結果，到底成功。現在合作社是到處風行了，所以說：合作也是一種主義，就是「合作主義」。

合作主義和共產主義怎麼樣？我們可以說：合作主義是主張增產的，共產主義是主張共產的，根本既不同，所以辦法更不一樣。有合作主義，便無共產主義。我們歡迎合作，所以我們不歡迎共產。

再說，我們不是已經信仰新民主主義了嗎？爲甚麼又有合作主義

呢？因爲新民主主義主張振興產業，改善民生，而合作主義正可以達成這種宗旨；新民主主義的範圍是大的而合作主義，就是其中之一，所以我們實行合作，便是新民主主義的奉行者。

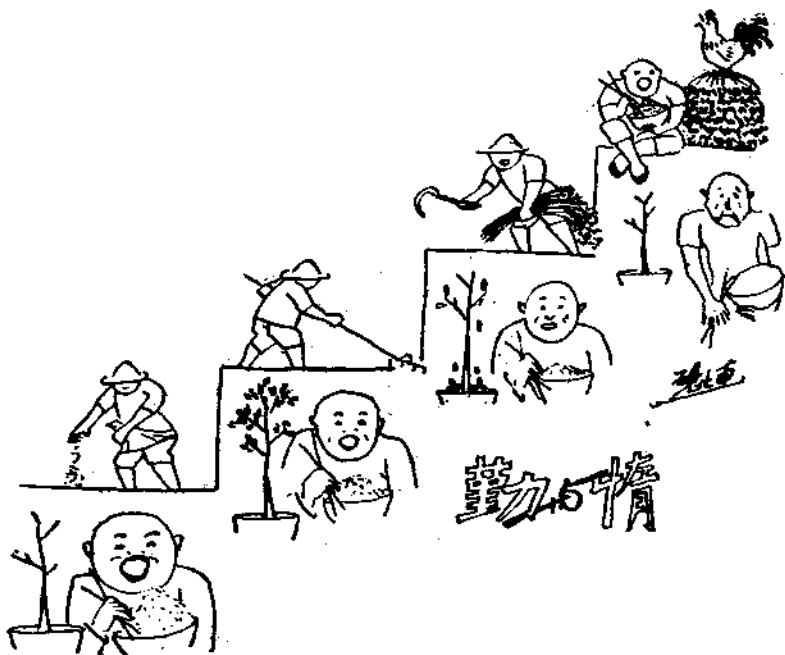
公用合作社的特質

公用合作可以說是最帶有原始性質的一種合作社，不過牠的事業中心爲「設備」即「物」；至於信用，運銷，和消費的合作社就不然了，牠們乃以「貨幣」爲事業的中心。故信用，運銷和消費等事業，同是流通貨幣經濟時代的產物；公用合作社因爲以「物」的共同使用爲目的，對於貨幣不一定有重大的關係，故古代原始社會，也可以說是一種公用合作社。又因爲公用事業特以「物」的公用爲對象，所以也可以作爲涵蓋整個合作運動的「協同精神」一種方法。

植樹節紀念專頁

造林運動與合作

步毓森



我國農村沒落的情形，談起來非常之複雜，但是根本的原因，不

外乎經濟的建設力太薄弱，以致民窮財困，農村幾陷於破產的狀態。

經濟建設的部門

雖然很多，而造林運動也是其中

重要的一種。關於造林的重要，

人人都知道；民國以來歷年提倡

造林運動的方案也很多，然而重

山秃嶺，仍然觸目皆是，一切木

材全是仰給於舶來物品；並且不

是甲年苦旱，便是乙年水災，早

潦相尋，饑饉荐臻，民何以不窮

？國何以不貧？現在新政權成

立，新民主主義倡行，對於經濟的建設，首先主張開發產業，以安民生，我國地大物博，產業之待開發者，比比皆是，而造林運動，尤為復興農村刻不容緩的要政。所以以為造林運動要積極的提倡！尤其是農村合作社的社員，更應當特別注意！共同團結起來實行造林運動，建設新農村！現在我簡單的把造林的利益和辦法說一說：

一、造林的利益

造林的利益可以分直接和間接的兩方面：

(1) 直接方的利益：

(子) 生產木材——栽培森林以後，經歲既久，舉凡各種建築用品：如房屋，橋梁，鐵路，舟車器具等所需木料，皆可取之不盡，用之不竭；這就是孟子所說的「材木不可勝用也」。

(丑) 增加副產——森林栽培長大之後，除供給建築製造木料外，所結果實，可供食用，漆樹可取漆汁以塗器，楓樹及樟樹可以取油，可以製藥，諸如此類，不勝枚舉。

(寅) 利用荒地——我國荒山荒

地，隨處皆有，其不適於種植普通作物者，多宜於造林。若能將此大量不毛之地，栽培森林，不但地盡其利，國無曠土，且實為農村經濟建設之要途。

(卯) 發展資金——我國產業上的資金，近年以來已集中到都市來了，資金囤積，不能流通，以致投機事業，日以盛行；不如將此種游資去栽培大規模的森林，以使國計民生，兩得其益。

(辰) 點綴風景——樹木培植成長以後，蔚然深秀，生機蕩蕩，凡山嶺，平原，村落，園圃等處，如能森林蒼蔚，足以增加美景，佳木叢林，實為人人所愛之場所。

(2) 間接方面的利益：

(子) 消弭水旱災——森林有調節雨量的功能，若能廣植森林，在天雨的時候，高地的水，不致直注低地，演成水災；在天旱時，森林所蓄積的水份，源源而下，不致演成旱災。

(丑) 防護江河堤岸——水源所在地若能培植森林，水源不致涸竭；堤岸所在地培植森林，可阻止洪水的衝刷，減輕破壞力。

(寅) 改良土壤——森林繁茂，就能含蓄水份，落葉枯乾變為肥料，能使不毛之地成為膏腴之田，收穫量自然增加了。

(卯) 調和氣候——樹密林深，在酷暑的時候，就有綠蔭濃陰，清風爽氣；嚴寒時就有林木颯颯，

阻風吹送。

(辰)裨益衛生——人類和其他動物所吸收的是氧氣，所呼出的是炭氣和氮氣；植物的光化作用正和動物相反，所放出來的是氧氣，而所呼入的就是炭氣，因此其森林繁盛的地方，氧氣必然充足；如此動植物間互相需求，對於我們人類的衛生上有莫大的裨益。

一一、造林的辦法

(1)育苗的方法：

(子)設立中心苗圃——按我國鄉村自治組織的區域，在各縣分區內，至少設立中心苗圃一處，以供給區內農民栽樹取苗之需，其經費各自籌劃，在可範圍內由縣署補助，但總以自動辦理為原則。如此則各區農民必能各盡其責任心，而努力經營。同時縣署方面隨時派人調查及監督。

(丑)改善原有苗圃——各縣大抵均有縣立苗圃，但此種苗圃在以往多屬空具形式，毫不實際，現在應就舊有之縣立苗圃從新加以改善，充實其事業費，以為各分區苗圃之模範。

(2)實施方法：

(子)調查荒地——凡事豫則立，不豫則廢，要普及造林運動，先要調查各處荒地情形；如數量有多少？土質如何？然後再計劃種植各種適宜的樹木。

(丑)組織森林合作社——栽培森林，最可慮的就是鄉間惡劣份子，從中破壞，或縱牛馬踐踏，或放野火焚燒，種種不良行爲，貽害極大，若農家單獨經營，難免受人破壞而遭損失，反爲不美，不如羣策羣力共同組織合作社，合力經營之爲佳。若此種單營合作社不易舉辦時，可以由他種合作社兼營。

(寅)利用隙地植樹——造林除利用荒地外，更可利用宅畔，道旁，墳地，堤岸等空隙地方，可以酌量情形，規定每年植樹若干株，每年競賽一次，由公共團體設法鼓勵，以資勸導。

(卯)確定植樹時期——各縣合作社，應視當地氣候如何，酌定植樹日期；普通最好在植樹節日，或植樹節前後幾天內，因爲還可以借此比較樹木的生長率和栽培的成績。

(辰)保護森林——常見農村裏種植各種莊稼，預防偷竊及毀壞，

均設立禁牌，標明罰則，此事多由各鄉村青苗會舉辦；此種方法較諸訂立空文之法規，尤爲有效。對於保護森林的方法，也可以如此；由各合作社設立禁牌，呈請縣署備案，手續簡單，收效甚大。

(巳)獎勵造林——關於實行獎勵造林的方法，也是很重要的事項，此種應由各縣斟酌情形，

訂定單行辦法，依據實在情形，分等嘉獎，以資鼓勵，如此則農民自然樂於從事。

以上所談不過是個人一時的感想，拉雜寫出，尤望合作同仁，森林專家，羣起努力，以期造林運動，得利用合作組織之機能，與夫科學的技術，達到開發產業，以安民生之目的，亦國民經濟建設之一急務也！

森林與經濟

楊大華

- 一、森林之經濟價值
- 二、森林與災害關係
- 三、結論

在一年一度的植樹節又將光臨！於吾人想到水旱災害時，馬上就會想到森林與人類生活之關係，所以對於植樹節具有熱烈的興趣，希望此植樹運動之意義，漸次普遍化，具體化。

一、森林之經濟價值

森林在地球上隨處均能看見，乃極普通之產物，而於吾人之生產事業，有直接和間接的關係。茲分述其經濟價值與自然價值：

經濟價值——如木材及林木副產物，木材爲森林之主要產物，乃

人生日用必需之物；又例如房屋及傢具，車船及枕木，造紙原料，農業用具，紡織機械，薪料以及吾人一切使用之物，無一非木材，在未可缺少也。其次即林木副產物，如桐油，漆，松香，軟木，染料，樹膠，樟腦，硝皮質，藥品等原料，在工業上，亦佔主要之地位，均係人生日常不可缺少之物。再就人民生計關係言之，森林事業，則具容納雄厚之資本與多數人工之兩大功能；蓋因森林佔領地域廣大，依類此業生活者，不知凡幾，其投資機會亦大。

自然價值——與吾人有間接之關係，如調和氣候，森林之所以能

調和氣候，即在森林及其周圍之溫度，常較無森林之地為低減，森林減低上面溫度之能力，在最密茂之森林，可達數千尺之高，因技幹橫空，濃蔭密佈，其山所積蓄水分及寒氣，逐漸蒸騰，以抗日光之熱力，故溫度低於他處。所以森林於真熱時能使溫度減低，反之，寒冷時能使之增高，此均專家試驗之證明也。其次可能涵養水源，森林對於含蓄水分之效力極大，緣其林木之根幹及枝葉以及地上之殘枝敗葉，均有含蓄水分之功能，均由山林之上流於山下之水，大部撮收於林地，徐徐深入溪澗，使水源不絕。以促農業之興盛。再就風景言之，如春季之綠葉青蔥，夏季之濃蔭蔽日，時際秋冬，紅葉綠影，互相掩映，故凡名勝之地，無不賴乎森林之點綴也。其能裨益人類之衛生，更不勝枚舉矣！

二、森林與災害之關係

自來為害最巨者，幾莫如水患旱災，推其禍源，莫不以霖雨連綿，天久不雨，考其遠因，皆以山林荒廢，氣候失調所致也。尤以水患幾成吾國之最大問題，自古即有所謂水吏，能治水者則可為侯。緣

我國江河上流，缺乏森林，一旦氾濫，即成澤國，人民之生命財產，感受莫大之損失，雖興堤防，實莫若治水與治山並進，且對於山林，從先治之，則水道自不治而治矣。森林對水旱災之關係，並非謂有森林則水旱災全然可免，不過因受森林之影響，則其災害總有輕減之效力耳。蓋森林並具左列之性質，而能減輕災害之程度也：

(一) 森林能吸收下降雨量，其在大雨之際，必使水量減少，流勢亦因之而殺。

(二) 森林之蟠根蔓鬚及林內之地被物，能強固泥土之結合力，雖遇狂風暴雨，亦不致地面裸露，土地不易崩潰，且有鞏固泥土之功。

(三) 森林能防止流沙及積雪，在廣漠之平原，往往有沙丘之構成，沙遇風則飛揚飄動，而森林有天然之力，可收定沙之功，在氣候寒冷之山地，冬季往往積雪不化，待來春溫暖之際，則雪塊頓然溶解下墜，危及人命財產至深且巨，如有森林之障礙，則可避免此患矣。

三、結論

由上觀之，森林之經濟價值，不但為吾人之生計資源，且係生命

因素，故各國對林政之重視，極與農政同等。美國林學博士弗那氏說「木材之荒，等於乏糧食之荒」，此足以證明森林之重要。筆者上年旅行日本時，對於日本之森林事業之發達，感着極大之興奮，蓋日本地區多山，無山不樹，視樹林之並列齊整，大小適等，則窺知其管理

造林可以防止水旱災 君孟

一、

近數年來的水災旱災，為前數十年所稀有；在當時雖人心惶惶，而事過境遷，又無人盡力研究防治的方法。然水旱近年仍所在都有，不過災情稍輕而已。我認定「水」，「旱」，「虫」，「病」，是我國農界四大災害，如能預防救濟，就可減少許多損失，增加許多生產。預防不外疏濬江湖，使他宣洩暢易，不致壅塞泛濫。救濟旱災，不外挑掘塘壩，使之可以充分儲水，備旱時的應用，這是人人知道的。茲就湖南說：洞庭古稱八百里，現在濱湖一帶，多變塘田，動議濬湖，已經多年，未見實行。即或能見諸事實，而不謀根本解決，則隨濬隨淤，又勢所必然；亦徒勞而無功。何故？

之情形矣！吾國漢代時，森林極盛，嗣因需用日繁，為政者不知管理，濬伐之事遂不能免，故有今日之衰落。今後希望當局，公布林業法，對於林政切實施行，且須嚴格管理保護。普遍栽植區域，與農業同時並進，藉收災害治本之效，不使植樹節流於形式耳。

游滯洞庭湖的沙土，從何而來？上游的城市拉塊船船煤灰任意傾入河中，順流而下者，佔一小部分，上游高處山地被墾作土，栽培草木雜糧，以致土質常常枯鬆，一遇大雨，隨水而逐漸蝕落；更如上游江河兩岸，因民船舟子為便利拖繩起見，盡將樹木砍伐，以致土岸被水浸蝕，日益崩塌。此種上游山土被雨水沖下及兩岸崩下的泥沙，就是洞庭湖淤塞的主要原料。其他各省江湖的淤塞，也大都不外此例。所以我們常覺得疏濬江湖，挑掘塘壩，是防治水災的治標方法。培植森林，保護河岸山土，使不崩蝕，取締船舶市民亂傾灰層入河，使不再行淤塞，這才是防治水旱的治本方法。

二、

近來許多人已知水災和森林有密切的關係了。就理論說：大概是因森林有吸收雨水，滲留土中的海綿作用；大雨時可以節制雨水的沖蝕作用，防止水災。天旱時，地層藉森林所吸收儲蓄的水分，可以接濟河池的水源，森林蒸發的水汽，又能增加地方的雨量，可以救濟旱災。原理大略不過如此，引申可成專書；在日本歐美，均已認此種學理為正確，所以有保安林防護林之創造，不但因木材有直接利益可圖，尤重在間接可以防水災，禦旱災，保護地方安寧。我國近十幾年來對此種學法也有相當信仰，所以規定有植樹節，頒有造林令。然不但間接之利益未著，直接觸入人民眼簾之新造林亦甚少見。這是什麼緣因？仔細考察覺得造林當局所取方針，根本上有點錯誤。何故？凡是從前曾有樹木，被濫伐而養成童山者，不就該處植樹造林。從前絕無樹木，而須欲植樹成林者，又不造林。造林之地，土中所含養分，礦物質固有，有機物必定很少，就是再造林地，以前所含有機物，經多年程露，已經飛化。然樹

木生長，需要有機物質極多，任何農人均知城市近處黑色土壤肥沃，鄉下黃色土壤瘠貧；就是因為黑土含有機腐敗物多，即含淡氮化合物多；黃土含有機物少，即含淡氮化合物少。土壤有沃瘠，樹木需肥分也有高低，猶如我們人類吃飯，有每餐只須一碗者，有每餐需飯四五碗者，瘠地植林，若採需肥量高之樹，土壤所供養分，不敷樹木所需，樹木當然難於生發茂盛，或竟枯萎以死。所以在土壤含有機質少的再造林地或造林地，最初祇宜栽種需要氮肥量少的本地樹如赤松之類。首先希望他植後，不至於死，次望其充分成長，再次讓本樹枯枝落葉腐積地上，絕對不准爬刮作薪，應用古來俗語「葉落歸根」或「樹落盡本」的道理，庶幾土壤所含

有機物質的分量可以增加。然後加植一層木料較好需肥較多的他種樹類，如櫟栗之類，待初植赤松成長至二三十年略有用途之後，將其砍去，下層之櫟栗幼樹，藉赤松的蓋積，可以滋長成一闊葉樹林，這叫遞變造林法——可以利用貧瘠土壤，造一供給劣等木材的森林，利用此森林改造土壤，使漸漸肥沃，再培植一木材品質較優的幼林，待前林成長，即行伐除，而蓄種幼林成長，於是瘠土變為沃土，童山一變而有劣林，再變就成叢林了。若就童山即思種植需肥量高的樹類，斷無不失敗者；從前森林事業，即犯此弊，以為設局造林，總須栽培一點特別樹木，才可粉飾門面，那平常赤松，到處皆有，無足輕重，殊不知一律就童山造林，斷無一蹴可幾。二則政府造林，直接所得木材代價實屬微末，所重仍在保安，以保安為目的，既應注重在增加數量，不必急急專講求所產木材的品質。所以今後造林，首先應將本地童山，多造本地樹林，注重森林和樹林增加的數量，不必顧及品質的美惡。

三、

附帶還有一點意見，就是我國所定植樹節是在清明，就栽樹說，似嫌太遲，所以每年植樹節，植樹者每地不下千數萬數，隨植隨死，一方固由于人民程度太低，不加愛護，一方亦因植時已經過遲，難于成活。俗論說的好，「若要樹籽活，莫等春曉得」。所以舊俗植樹要在立春以前。因為立春以前，樹在休替時代，苞子尚未萌發，揮發水分極少，此時移植，不致枯傷，實有至理，故植樹節是宜改就立春之日，方為合理。

現在新政權早已樹立，一切都與新建設之中，對於造林最近也極力提倡，各省市，也都明令舉行植樹運動，各地均在準備大規模植樹，我以為不妨將植樹的時期提早，俾得利用農暇，從事造林運動，如此則幾年之後，叢林普遍，則我國各地農村將另呈一種新氣象了。

天然肥料

- (一) 動物質肥料——
人糞尿，厩肥，
魚肥等
- (二) 植物質肥料——
綠肥，油粕，
落葉等
- (三) 礦物質肥料——
草木灰，骨灰
等

養雞淺說 (續)

劉俊明

雞之詞育法

第一節 雞之飼料

給與飼料的目的，在維持他的生命，使他生長，或產卵產肉等，故飼料中所含的養分，須求其富於此等需要的要素，其主要的莫如蛋白質，脂肪，澱粉三種，飼料的種類甚繁，所含各要素之多寡亦異，茲就日常所不可缺之飼料，分類述之如下：

一、植物質飼料：

1. 玉蜀黍——玉蜀黍乏於蛋白質及灰分，而富於脂肪及澱粉，用以飼雞，能增蛋黃之黃色。
2. 小麥——小麥比玉蜀黍脂肪之成分較少，而蛋白質較多，所含成分，適合於雞卵所含之成分，用以飼給卵用雞，極為相宜。
3. 大豆——大豆富於蛋白質，唯消化不易，故飼給雞時，必須粉碎作成溼餅，始可飼用。
4. 高粱——含澱粉較多，可

稱為澱粉飼料，給肉用雞極易肥育，故甚適宜。

5. 豆餅——含蛋白質及澱粉多，脂肪較少，飼雞宜粉碎做餅，功效甚著。

6. 米糠——為磨米所生之副產物，富含蛋白質脂肪，消化率甚大，味亦佳良，唯飼給幼雞及卵用雞時，過多則容易使其便閉，但可多飼青草以調和之，即免此弊。

7. 青草——即各種幼嫩之野草，味芳香，含水分甚多，有助消化之功效。

二、動物質飼料

1. 肉屑——為屠宰場所遺之廢物，含蛋白質最富，而易消化，無論幼雞成雞，皆宜飼用。

2. 小虫——田園之畔，小昆虫極外，作為雞之飼料，極為適宜，將雞置於田畔，任其自覓虫類，可節省經費，又可節省管理之功夫，且能

使雞得到相當之運動。

3. 蠶蛹——蠶蛹為無用之廢物，而富含養分，若飼給雞類，即可利用廢物，又可使雞得到良好之飼料，實為一舉兩得之事。

三、礦物質飼料

1. 水——雞之用水，可任其自飲，但所用之水以清潔新鮮為要，冬季可用稍溫暖者為宜。

2. 食鹽——食鹽為雞所不可缺乏之食物，每日可用一公分，混入食餌中飼之，或撒入巢內，任其啄食。

3. 石灰——能增骨格之硬度，又為卵殼之主要成分，故為飼雞不可缺乏之食物。

4. 砂礫——雞類無齒，全藉砂礫之磨擦食物而消化，故亦為不可缺乏之飼料。

5. 木炭——而吸收胃中之酸液，並助胃腸之消化，亦為飼雞重要之飼料。

第二節 雞之飼育法

養雞之法，亦飼育為主，如飼料之選擇不宜，或飼法不當，則其結果，定不優良，其所給飼料之質別，應視其

目的而定，雞之成長迅速，穀草等中，使其獲食，更可助其運動。所飼食料之成分，與氣候亦有關係，如冬季嚴寒，宜用脂肪及澱粉等飼料，以維持其體溫，夏季時產卵，宜用多含蛋白質飼料，夜間時間長，宜飼給消化遲慢之飼料，以大粒之穀類為宜。

肉用雞之目的，在取其雞肉，而雞之肥育，並非短期間之可成，養雞家有鑒於此，每用種種辦法，使其在短期間內，增加多數之肉量，致使收入宏厚，其法有二：一為在光線暗淡的地方，在地上置四個小木槽，其大小視雞體而定，將雞縛在槽中，每日給其多量容易消化之食物，不另其運動，約六七日間，即能使肌肉肥滿了，但室內之溫度高，光線宜淡，最好不通光線亦可。二為在生後二月時，將其蛋丸或卵巢等割去，以後定能肥育容易，肉質柔嫩，肉味增進，唯此法施行甚難，技術略有不熟，則以後容易引起其他病害。若此二

目的而定，雞之成長迅速，穀草等中，使其獲食，更可助其運動。所飼食料之成分，與氣候亦有關係，如冬季嚴寒，宜用脂肪及澱粉等飼料，以維持其體溫，夏季時產卵，宜用多含蛋白質飼料，夜間時間長，宜飼給消化遲慢之飼料，以大粒之穀類為宜。

肉用雞之目的，在取其雞肉，而雞之肥育，並非短期間之可成，養雞家有鑒於此，每用種種辦法，使其在短期間內，增加多數之肉量，致使收入宏厚，其法有二：一為在光線暗淡的地方，在地上置四個小木槽，其大小視雞體而定，將雞縛在槽中，每日給其多量容易消化之食物，不另其運動，約六七日間，即能使肌肉肥滿了，但室內之溫度高，光線宜淡，最好不通光線亦可。二為在生後二月時，將其蛋丸或卵巢等割去，以後定能肥育容易，肉質柔嫩，肉味增進，唯此法施行甚難，技術略有不熟，則以後容易引起其他病害。若此二

法併用，更爲適宜，先用第一法使
二法去勢後，再用第一法使
其肥育，不但肥育容易，且
風味亦有特殊之變換。

雞之管理法

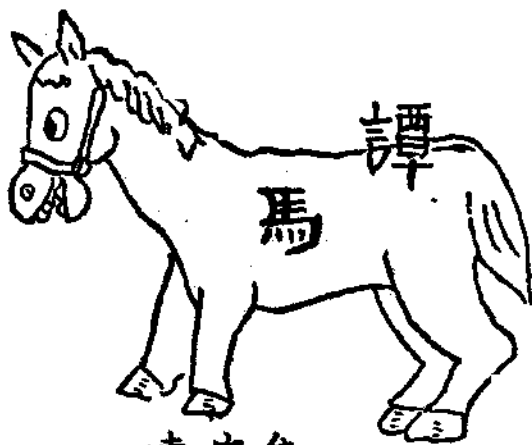
雞之習性，好溫暖，這是
都知道的，故雞場的選擇，
應於乾燥溫暖之地方爲宜。
我國農家之養雞，對雞場的
設備，向屬簡陋，每於庭院
之角，置一雞巢，或爲磚製
或爲荊條編成而已，管理方
法亦甚不完全，每晨時即將
飼料飲料等，置於庭中，
任其自食，飼給之次數及數
量，毫無規定；飼料之種類
及成分，亦毫無檢點，故每
年所得之利益，較各國養雞
場中，亦大有差別，究其原
因，蓋屬管理不當之弊，養
雞場中，多用雞舍，雞舍之
設置，應選高燥場所，日光
充足，空氣流通，兼易防禦
嚴寒及風雨之地，構造法依
雞之品種，及量數飼養方法
而各異，數目多者，其範圍
宜寬廣，少者則宜稍小，舍
內置一寬約三寸之木條，名

叫棲木，爲雞之休息地點，
置之高低，須見雞體之大小
而定，身體輕小者宜高，身
體笨重者宜稍低。在棲木下
之六七寸間，置一活動木
板，爲盛載雞糞之用，名
作雞糞板。在稍暗處宜設雞
窠，中鋪柔軟之物以爲產卵
之用，更以盆類器械，滿置
清水於舍內，用備雞飲；其
礦物質之食物，有撒於地上
任其啄食者，有在巢內置一
箱者，箱分四隔，一裝木
炭，使雞食之，以吸胃內之
酸液，或殺胃內之菌類，一
裝蚌殼等石炭質食物，使雞
食之，免產軟卵，一裝沙
礫，使雞食之，助其摩擦而
消化食物，一裝食鹽，使雞
食之，助其消化，但食鹽每
有過食之弊，宜有限制，或
將食鹽。一定之量數，混入
飼料中，尤爲適當。雞舍之
前面，宜有廣場，爲雞運動
之用。

打掃雞舍及運動場等，堆積
雞糞，收藏雞卵，事畢，即
宜預備午食，午食宜在正午
晚食宜於日末，午食晚食，
均同早食，先統飼料，後給
飲料，但晚食後，須另給青
菜一次，到六七點鐘時，把
雞驅入舍內，如有鷹貓蛇鼠
等動物之侵害時，可張網及
用其他器具捉捕之，不可稍
有疏忽，其他如其勢及肥育
等法，宜斟酌情形，隨時施
行。如雞生病害時，可將其
另置他處，以防傳染。

雞類之疾病甚多，其發病
之原因，及治療方法亦各異
其主要者即傳染病，生殖器
病等，茲擇其最烈者，分述
如下：
1. 雞瘟：此爲最烈之傳染
病，由細菌傳染而生，得此
病之雞，停止飲食，兩翼下
重，羽毛膨鬆，初下白痢漸
變黃綠，雞冠變暗紅色，眼
時閉，臥地不起，染此病之
雞，大抵由飼料飲料腐敗，
雞舍潮濕不潔，細菌傳染而
起，病初發時，可將病雞，
隔別飼養，雞舍遍撒消毒藥

水，再用美孚洋油，和麵少
許，做成米粒大小之丸，強
使病雞服下，即愈。
2. 雞卵病：此非傳染病，
乃爲體內石灰質缺乏，致使
生殖器官，所產之卵，盡屬
雞殼，且產卵時亦甚困難，
得此病之雞，可用飽藏子油
一匙，合溫水調服，或用甘
禾，吐酒，石穀粉等各少許
研末吞服，皆能治愈，但更
須用骨粉，介殼等飼之，補
其體內之石灰質。
3. 赤痢病：此病係由人類
之赤痢病菌所傳，染故雞舍
之設置，宜遠廚房廁所等處
少食蠅蛆，即少傳染，病狀
初起衰弱少食，離羣獨立，
雞冠退色，漸變下痢，六
七日則死，可用溫水一匙，
和以石炭酸水五滴，食之即
愈。
4. 疥癬病：得此病之雞，
全體做癢，冠部生白斑，雞
部生鱗狀虫疹，可用脂肪遍
塗全身，次日可用石鹼溫湯
洗之即愈。



△馬與美術
馬爲華北家畜
中之重要牲畜，
所有旅行，耕
耘，行軍等莫
不利用，而畫家
之描述馬像，尤
爲昌盛。
而古之善畫馬
者有曹霸韓幹孔
融陳闓韋偃等人
最爲有名。當開
元天寶之際，西
域各國爭獻名馬，而唐人畫
馬以韓幹最有名，玄宗命韓
幹師事陳宏，幹曰陛下內既
之馬皆臣師，何師宏爲？可

見該時已注重寫生畫矣，古來八駿圖，其狀馬之形鬣頸龍體，矢激電馳。玄宗以好馬，厩內嘗養馬達四十萬，且大宛國歲獻名馬，以致畫馬寫生之風日盛，計未有李公麟，元有趙孟頫，皆師法韓幹達於妙境也。

△馬與文學
杜甫(高都護驄馬行)詠大宛駿馬詩(安西都護胡青驄青價欵然來向東，此馬臨陣久無敵，與人一心成大功，功成惠養隨所致，飄飄遠自沙流至，雄姿未受伏櫪恩，猛氣猶思戰場利，跪促蹄高如踏鐵，交河幾蹴層冰裂，五花散作雲滿身，萬里方看汗流血，長安壯兒不敢騎，走過擊電傾城知，青絲絡頭爲君老，何由却出橫門道。)該詩形容馬狀，生氣入神，駿馬雄風，眼前劈鬣。又古來談馬三文章有韓愈之雜說，畫記，及柳宗元觀八駿圖記等。

△中國之牧畜與馬政
荀子(養六畜)，呂氏春秋(六畜皆在其中)，周禮(六畜)，(鄭玄周禮註) (馬，牛，羊，豕，犬，雞)是爲六畜，後代乃漸有牧馬官之設。

禮記月令(天子乃教於田獵，以習王戎，班馬政)周代設天，地，春，夏，秋，冬六官，夏官掌兵馬，其長官名大司馬，即後代之兵部尙書。有蔡氏論中國歷代馬政文：

(歷考古今馬政之變，其官民通牧者周也，牧於民而用於官漢也，牧於官而給於民者唐也，其始則牧之在官，其後則畜之在民，而又市之於邊境者宋也，其內地則散之於民，在邊地則牧之於軍，而專易之於西蕃者明也。)

大清會典事例又有八旗馬官，扈從給馬，八旗駐防馬，綠營馬，牧馬，軍馬，馬幣，市馬，貢馬，撥馬，馬餉，馬禁等，而該時有茶馬司，兵馬司等，迄今北京西城尚有兵馬司胡同也。

韓愈畫記之文，論畫馬之委勢筆法甚詳，(馬之大者九匹，其中分上者，下者，行者，率者，涉者，降者，翹者，顧者，鳴者，寢者，訛者，立者，齧者，飲者，溲者，陟者，降者，痒而磨樹者，噓者，嗅者，喜而相戲者，怒而相踶齧者，秣者騎者，驟者，走者，脈胸載者，狐兔載者，馬事凡二十七，而馬之大小八十有三，其他則不論云。

△馬與神
一馬祖 周禮(掌王馬之政)，其鄭註(馬祖天駟也)天駟即星，名房星，詩小雅吉日(既伯既禱)，(是類是禱)故毛傳(伯馬祖也，重物慎微，將用馬力，必先爲之禱其祖)漢書應劭注(至所征代之地，表而祭之，謂之禱，禱者馬也，馬者兵之首，故祭其先神也)

二先牧，周禮鄭注(先牧始養馬者，其人未聞)瘦人(又及祭馬祖祭，閉之先牧)先牧者蓋即養馬之謂也。

三馬社 鄭注(始乘馬者世本曰，相土作乘馬)孫詒讓釋(牧地地及十二閑之中蓋皆爲置社以祭后土，而以始制乘馬之人配食焉，謂之馬社也)是爲乘馬祭社之始

四馬步 鄭注(神爲災害馬者)因神災害馬，故祭馬神。左傳(左師見夫人之步馬者)，杜注(步馬習馬，馬步，蓋謂習馬之道)即馭馬教之步行也。

一、馬神 北京地安門外馬神廟街之馬神廟，爲明之御馬監馬神之舊祠，爲乾隆二十二年移建，內祭三眼馬神，即現在民間祭祀之馬神也。

一、馬頭觀音 觀音像有馬頭形者，其傳說甚多，並有身著馬皮之馬頭娘等。

△馬之傳說
關於馬之傳說甚多，茲擇例如次：
一、河圖洛書 馬起源於伏羲之世，黃河龍馬背負河圖而出，是爲八卦之起源，易經(河出圖，洛出書，聖

人則之)。洛出書(禹之時，神龜出於洛水，其背有文，是爲洪範之基源，兩者是爲河圖洛書，論語(河不出圖)爲感歎亂世之語。瑞應圖(龍馬仁馬，河水之精也，高八尺五寸，長頸體上有翼旁垂毛，鳴聲九音)。

一、穆王八駿 周穆王跨八駿馬周遊天下一事，膾炙人口，穆天不傳八駿馬，赤驥，盜驪，白羲，踰輪，山子，渠黃，華驪，綠耳，拾遺記(周穆王馭八龍駿，一名絕地，足不踐土，二名翻羽，行如飛禽，三名奔霄，夜行萬里，四名越影，行能逐日，五名輪輝，毛色炳耀六名越光，一形十影，七名騰霧，行如雲奔，八名扶翼，身有肉翅)該八駿馬之形體，或亦爲假想者歟？

一、始皇七馬 傳說秦始皇會乘七駿馬巡視萬里長城，其馬名曰，追風，白兔，躡影，奔電，飛翾，銅爵，晨鳥。

一、漢文九逸 漢文帝有九逸名，浮雲，赤電，絕

群，逸驥，紫燕驪，綠蛇

驄，龍子，麟駟，絕塵，

一、貞觀十驥，唐貞觀有

十驥名，騰霜白，皎雲驄，

凝露電驄，懸光驄，決波

驄，飛霞驄，發電赤，流金

驄，翔麟紫，奔紅赤。

一、名馬青獅。宋將與馬

共飲；率四百騎，與金兵

戰，不敵遂死，後朝廷憫

之，建廟人馬共祀，其馬名

青獅子，後人題其廟曰（赤

心許國自平時，見敵捐軀更

不疑，權忌臬庸皆遁走，同

時死難祇青獅）。

一、親驪將軍，宋徽宗賜

其馬名曰親驪將軍。

一、馬跑泉大清一統志（易

州之馬跑泉，相傳為太宗東

征時，駐蹕於此，馬跑得泉

故名，）又廣昌縣西南七十

里有馬跑泉，相傳係宋楊延

昭屯兵於此，馬跑得泉而

名。

一、白馬馱經 後漢明帝

夢大人，族遣人向西方求

教，以白馬載經典洛陽，帝

於洛陽西雍門外建白馬寺，

白馬馱經，是為佛教來華之

始。

一、馬之殉死 明鍾同太

子，因諫皇帝被杖殺，其馬

殉死大清一統志（太子策馬

上疏，馬伏地不起，太子叱

曰，吾不畏死，爾奚為者，

馬猶盤辟再四，太子被杖殺

馬長號數聲亦死。）

一、米花洗馬 往者漢兵

征雲南，土人守備，漢兵知

城內無水，擬絕其水，城內

土人用白米洗馬，漢兵疑城

內有水，該水攻法遂罷。

一、塞翁之馬 即塞翁失

馬得馬之掌故，元僧照曜機

詩（人間萬事塞翁馬，推枕

軒中聽雨眠）。

△馬與迷俗

一、馬毛犬尾 淵鑑類函

獸部（萬畢術曰，馬毛犬尾

親友自絕注取馬毛犬尾置朋

友衣中，若夫婦衣中，夫婦

自相憎矣）。

一、馬性畏灰 淵鑑類函

（馬經曰馬性畏灰，更畏新

出之灰，馬駒遇之輒死）。

一、僵蠶拭馬 感應錄從

志（以僵蠶拭馬唇內外，即

不咬人，亦不喫草），

一、鼠狼之皮 感應類從疾

志（以鼠狼皮掛馬槽上，或

云置殺上，馬不咬殺）。

一、猴可避病 本草綱目

（繫繩猴於厩，辟馬病）。

一、變馬填債 幽異錄

（殺生者當作蜂蟻，却盜者

爲猪羊，抵債者爲驢騾牛

馬。）

一、馬前馬價 卽市中之

在袖口內商議價值之營業方

法。

一、青牛不配白 馬中國

婚姻之風，俗以年齡生辰作

標準者多，俗有白馬不配青

牛之說。

△騎乘與弓馬

中國之騎馬行軍起源於黃

帝時代，武經（黃帝軍之兩

翼備騎兵）詩經（古公賈父，

來朝走馬，古者馬以駕車，

不可言走）豈是紀始（單騎

始於春秋，（左傳晉惠公乘

小駟）此單騎之始，春秋正

義，古者馬以駕車，六國時

始有單騎，蘇晉公車千乘騎

萬匹是也。又騎兵始於周，

六韜取騎士之法，戰年四十

以下，長七尺以上，壯健捷

，能馳騎殺射者名曰武騎

之士。韓非子，秦穆公起卒

革馬五百，乘騎二千，步

卒五萬，輔重耳入於晉。而

孫子六篇多言騎戰，是爲騎

乘之始。

壹是紀始（騎射始始於

周，六韜取騎士，能馳騎殺

射者，則太公已有騎射矣）

趙之武靈王善教騎射。

△賽馬與跑車

辭源（於廣場四因爲馳

道，設立起止之標點，預

賽，者若干人共乘馬，並

轡疾馳，以先達其地點者爲

勝。）現今上海，漢口，北

京，天津等地多有跑馬場，

近雖西洋人嗜嗜之，但中國

當明朝賽馬卽已盛行矣。

馬之交尾與羞恥

馬之遊牝期爲春秋二季，

出產期爲春陰曆四五六及秋

八九月等月居多，一說馬於

春分交，牝牡達二歲卽能

交，唯春情期則係三歲開始

四五歲時，繁殖最適宜。

交尾自由交尾，補尾二

法，馬之懷胎日數平均三百

三十五日至三百四十日（本

草綱目）日情爲馬，月數十

二，故馬十二月而生）普通

一產一仔，吸乳期四個月至

六個月牝馬自五六歲至四十

歲年可產駒，牡馬至三十三

歲四十歲間之生殖力最強。

△繁殖之佳話

宋張耒之姬妾所任之妾，

向馬厩，馬於交尾時，使羣

妾觀之，以煽其情，及交皆

成孕，得子四十二人。

西陽雜俎（晉姚弋仲有子

四十二人，吐谷渾有子六十

人，宋張耒子亦四十二，弋

仲不開其有他術，耒諸姬妾

窓閣皆直馬厩，每馬交合，

縱使觀之，遂有御幸無不成

成孕。

△結論

當此科學進步之際，關於

馬之用途日益廣，關於馬之

蕃殖日益精，關於馬之養

日益良，然而回顧我國，馬

荒政廢，馬師淪散，坐失其

利，言之慨然！

值茲新政肇興，舉國維新

之會，舉凡專家鉅子，幸勿

空譚，提前實踐，樹振興實

業之本，立強盛國家之基，

大計云成，則中國四萬萬人

有厚望焉。

農產知識 落花生

劉漢英

傳人中國之歷史——

落花生原產於南美洲之秘魯巴西兩國，至於何時傳入中國，則無確實之記載。據布勒士得氏 (E. Balfour) 在中國考查植物，多年研究之所得，謂十八世紀始傳入中國。查十六世紀作品之本草綱目內，並無有落花生之記載，而於十八世紀作品之本草拾遺中則有之。故落花生之傳人，決定在十六世紀以後十八世紀以前。又據清初縣志云，康熙初年，僧應元往扶桑覓種，則當在十七世紀。依以上之考證，落花生約在十七世紀至十八世紀之間傳入中國，可以無疑。

用途——

非洲東印度西印度等處，以落花生為常食。吾國南北各省，多炒而食之，或將其仁，拌作花生油，用以佐食燃燈；並能作染色之媒染及塗機機。榨油所餘之渣滓，可供肥料用。花葉風乾以後，用鋼刀切碎，可代藥草，充當飼料用。

產地——

落花生在非洲東印度西印度美

國之氣候溫暖地方，盛行栽培而以印度之孟買地方產額最巨

每年收穫達十餘萬噸，輸出歐洲各國。吾國以廣東福建栽培落花生最早，當時產量頗少，不足以供給國家之需用，十九世紀末葉，美國傳教師由美國傳人大粒種，試植於山東省，品種優良，產量頗多，於是北北各省爭植之，乃漸次蔓延南北各省。以黃河流域栽培最為適宜；江蘇北部，山東東部，河南南部亦甚相宜；至於長江流域實行栽培，亦有相當之收穫，每年之產量頗多。茲據二十五年年度，全國栽培落花生之面積，為二一〇八九〇〇〇市畝。產量為五二六二二〇〇〇市斤，每畝平均產量二四〇市斤。

性狀——

落花生一名地豆；俗曰長果，亦有名曰大人果者。其學名為 (Arachis hypogaea) 原名 (Peanut ar Groundnut) 屬豆科 (Leguminosae) 落花生屬 (Arachis) 為一年生草本，莖有二種，一直立種，莖高約一二尺

一為蔓生種，匍匐於地上，花莖長至六七尺。葉為偶羽狀複葉，小葉四片，晝開夜閉，色濃綠，成橢圓形。托葉着生於葉柄。花生於葉腋中，無花柄，色黃，蝶形，有不完全花及完全花二種。前者多在上層之葉梗，為單體雌蕊（九個連合，一個不成熟）及一不成熟之小子房。花萼管長而細，其遺留有花萼裂片，花冠及雄蕊。上花萼裂片連合，下花萼裂片分裂；後者翼瓣為長方形且分裂。龍骨瓣向內屈。子房位於花萼管之基部——有一或多數胚珠——且絲形之花柱。胚受精以後，雄蕊及花冠脫下，花梗延長下墜，將子房插入土中結莢。每莢有種子一粒及四粒。

分類——

落花生有大粒種及小粒種兩種。大粒種莖大，葉濃綠色，莢粒均大而皮厚，莢長達一至一五公厘，種皮淺紅色。小粒種莖短小，葉淺綠稍帶半黃色，莢粒小而皮薄，莢長一公厘。

風土——

落花生為熱帶及溫帶南部之作物，性喜炎熱乾燥。土質以輕鬆之砂土或壤土為宜。若栽培於黏重土壤之田，不獨難以排水，即子房亦不易插入土中；

若為紅土地或缺之肥料之灰黏土地，均非所宜；然過於肥沃之田，徒莖葉發達，而結實反少。

栽培——

整地必須深耕精耙。播種時，期因氣候不同而各異；廣東為春分前後；江浙為五月初旬；山東則於五六月之間；普通在四月中下粒。播種法，概行點播，株間，莖種九寸；直立種一尺二寸；條間二尺。每穴播種子二三粒，每畝播穴深約寸許。種量約五六升。但是播種時，種子宜先剝去莖殼，浸入水中，晒於日光下，然後播之。待十餘日，種子發芽時宜用齒耙鬆土面，兼行除草。再經一月行第二次中耕除草。此後時時除草，至莖葉滿佈畦間為止。

施肥——

落花生在生長時，所需要之氮素，能自空氣中吸收，故以鉀肥及磷肥為主，普通施以草木灰，堆肥，和適量之過磷酸鈣，施肥法，皆用為基肥。

病蟲——

落花生常受野鼠及鳥害；有時被一種蚜蟲吸食根部，然為害不烈。病害有兩種，一為葉枯病 (Molyris Cenerea Pers) 葉受此病以後成不規則之黃褐

色，或生黃灰色之大斑點，逐漸擴大，終至枯死；莖受此害以後，亦發生同樣之斑點，並且表面生灰色霉，致全株枯死

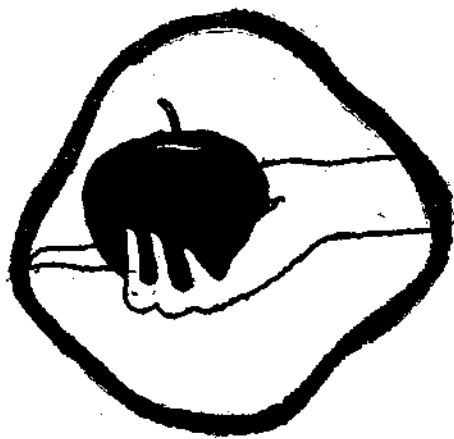
一為黑霉病 (Cercospora Parasitica Ell) 此病發生以後，葉面呈圓形或橢圓形之黑褐色病斑，病斑之周圍色稍淡，為多數互成不規則之病斑。前者病害較烈，在天氣溫暖潮濕之時甚至害及全國。

收穫——

收穫期不同，廣東在夏末收穫江浙在十月下旬；山東在十一月。普通以十月中，葉呈黃色，大部凋落時收穫。收穫法，各種不同。直播種，用鏟將土掘鬆，以手掘莖根提出；蔓種，先刈去花莖，用犁淺耕以後，以落花生篩子篩去泥土即可。曬乾以後而行貯藏之。

產量——

每畝莢實產量，約二石餘，子實居十分之二，所以每畝可產四斗左右。



麥類之病害

張傳林

裸黑穗病

病 因

本病發生於大麥及裸麥之上，由於裸黑穗病菌所致此病之孢子為黑褐色。圓形或卵圓形，成熟後即破皮而出隨風飛散，落於花中，附於花柱上，得適當之水分後伸出菌絲蔓延生長，種子成熟即以休眠狀態存在其中，種子雖受病菌之侵入而外部不受何等影響，是為本病之特徵，此項種子播種發芽時，則其中菌絲亦開始活動與其生長相併而行，而達於其生

長點下部，出穗數日之間，發育最為旺盛能使健全之麥穗成為黑穗，空氣乾燥時孢子容易飛散。

病 徵

被害之穗輕鬆，外皮薄弱，成黑褐色，較健全者抽出稍早，而於抽穗之中途，皮即破裂，放出黑粉，若逢晴天，則黑粉散出更易，最後僅留中軸而已，普通一穗之上全部被害，但亦有局部被害者。

防 除 法

(1) 被害穗在黑粉未飛散前，

採取而燒棄之，或深埋土中。

(2) 播種不可越期或延期。

(3) 由無病之種圃中採種。

(4) 覆土不可過深。

(5) 實行鹽水選種去其輕浮法。

(6) 本病為花器傳染，可實行合理而有效之冷水浸種法，以資防除，浸水時間，冷水為五小時，五十五度水五分鐘至十分鐘間，即可達完全目的。

堅黑穗病

病 因

本病由於堅黑穗病菌所致，受其害者主為種實，其孢子於顯微鏡下檢之為暗褐色之圓形或橢圓形，表面平滑無突起，頂端生小生子，易脫落，此菌侵入方法，與前種相同，惟其孢子附着於種子之表面，不似前種之侵入內部，而待種子之發芽，又本病之孢子不易飛散故得病之機會較少也。

病 徵

患本病之麥穗，不成畸形，仍為固有之狀態，外部被以白粉，故有稱為白穗病者，後因風雨打擊，外皮破裂，遂露出黑色之粉，由一種子所分出之株，不盡數被害，有時其下部被害而上部無害者，其粉堅硬異常，故名為堅黑穗病。

防 除 法

(1) 見有種病之株立即拔棄之。

(2) 宜於無病田圃中，選擇種子。

(3) 舉行鹽水選種，因種本病之種實較他種實易於感染。

小麥稈黑穗病

病 因

罹此病之小麥由於稈黑穗病菌之侵入而發生，初生時，於小麥之葉片及葉鞘，生黑色細紋，即病菌孢子寄生處，孢子為褐色，形大，圓形或橢圓形，群集一所，外面附黃褐色細胞，借此飛散，此孢子在水中生小生子，不與孢子脫離，其兩側生發芽管，而侵入寄主，達於組織內部，終至葉片，葉鞘，及麥莖等處。

病 徵

被害之小麥葉鞘及葉片生灰色略為高起之長斑紋，後則破裂發散黑粉，罹病麥株，未生出之穗則不能抽出，已抽出之穗，亦不能充分成熟，待黑粉散盡，葉隨之枯死。

防 除 法

(1) 施行輪作，以減輕其為害程度。
(2) 仿照黑穗病防除法以炭酸銅粉末處理之。
(3) 堆肥底肥等，宜少施用，發見病株時，立即拔出焚之。

(4) 以無病種子播種，或由無病之地購新種子，栽種之。
(5) 施用溫湯浸種，滅殺種子表皮之孢子。

燕麥黑穗病

病 因

為害本病之孢子為黑褐色，圓形或卵圓形，有突起所生之菌絲有隔膜，隔膜上生小生子，其侵入寄主方與小麥黑穗病無異。

病 徵

此病之成熟孢子，易於飛散，所以收穫時，被害者，僅殘留中軸，分蘖之株，亦完全被害。

防 治 法

(1) 行鹽水選種。
(2) 播種宜早，蓋運者組織柔弱易罹害。
(3) 播種前使冷水中四至六小時再侵入攝氏五十四度之水中，取出陰乾後播種。
(4) 用炭酸銅粉或硫酸銅液等處理種子。
(5) 播種不可過期。
(6) 見有黑穗病之發生立即拔去焚燒。
(7) 覆土不可過深或過淺。

麥黃銹病

病 因

又名銹病，俗稱黃疸病，由於黃銹病菌寄生而起，圓形或

橢圓形，白色有細刺及三四個發芽孔，得濕氣即發芽，以發芽管侵入葉肉中，初則為害一部，後則蔓延全部其橙黃色之孢子專司繁殖故稱繁殖孢子又因生於夏季故曰夏孢子，其黑色孢子為冬孢子，又以其生於本病之終了，故又稱終局孢子。

本病於濕潤田地，施氮素肥料過多，或天氣陰濕多雨，秋季播種過早，等，皆為本病發生之主要原因。

病 徵

本病除侵犯小麥外，兼侵犯大麥，裸麥，黑麥，及其他本科作物，被害之葉，初生淡黃色小斑，後則沿葉脈，不分表裏，相續發生，而成條狀之黃褐色斑點，此為病菌孢子之存在點，其後高起，呈橢圓形，最後表皮破裂，由內部露出鮮黃色粉塊，病勢再進則葉面盡為橙黃色粉所覆，同時又有黑色條痕發現，此即其冬孢子，此孢子於收穫時亦不露出，外界氣候良好時，則發生前菌絲，作小生子寄生植物，本病之特徵，在乎病斑，必成斑條，論其傳染路徑中間，是否寄生其他雜草殊為不明，有待研究。

除 法

(1) 除不得以外，宜少行灌溉。

(2) 選擇構桿強硬之品種。

(3) 鹽水選種淘汰弱種子。

(4) 播種不可太密或過期。

(5) 氮素肥料勿過多使麥苗發育健全。

(6) 見有被害之株可拔去焚燒之。

麥 赤 銹 病

病 因

為害本病之病菌。初寄生於小麥之上，作成夏孢子，成熟後，又發生冬孢子待冬孢子發芽，則發生小生子，而此小生子，飛落於枯草屬之上，作成銹孢子，銹孢子成熟，再至小麥，而發生本病，為防除本病起見即可除去無實用之枯草屬，乃屬合理手段。

病 徵

本病之發生，在黃銹病之後，出穗後多見之，小麥以外之禾本科植物，亦多被害，罹病之麥，於葉上，散生病斑，略大於黃銹病，孢子堆肥大後，表皮破裂，由其中露出赤褐色粉末，病勢甚時，葉乃枯死，所生病斑成爲黑色，大如針頭，之粒點，其中粉末決不破裂飛散，本病特徵，在乎病斑初小而呈橙黃色逐次暗化，終呈赤褐色，而破裂。

防 除 法

(1) 播種期宜適當，切勿過早或延遲。

(2) 磷鉀肥料及氮肥，宜少施用。

(3) 被害麥桿聚而焚之。

(4) 於未發病之前，每隔十日撒佈石灰硫黃合劑二三次。

(5) 枯草屬宜盡數刈除，以滅除中間寄生。

麥 黑 銹 病

病 因

此病由黑銹病菌之寄生所致，先於小麥葉上作成夏孢子，此夏孢子之膜由外膜及內膜而成，有多數細刺，得水後發芽管，內容橙黃色，後生冬孢子，此冬孢子為棍棒狀，濃褐色，担子柄為黃褐色，透明，寄生於松檜類植物上甚多，作成銹孢子再飛於小麥之上，發生夏孢子，循環不已，寒地以冬孢子之型在被害植物上越冬，暖地則以夏孢子之型越冬。

病 徵

本病於小麥銹病中發生最晚，故晚種小麥，被害最著，本病除侵犯小麥外兼侵犯裸麥，黑麥，燕麥及其他禾本科植物，初於葉上作長橢圓或橢圓形之黃色斑點，與葉脈平行後漸擴大，表皮破裂，散出粉

末，葉遂之枯死，發於桿上者為黑褐色長圓形或線狀之斑點，其後破裂露出黑褐色銹粉，被害者不但子實成熟不良，有損品質，而麥桿亦屬無用，本病特徵，在乎銹色斑點，較他二種爲大，且其斑點散在決不成條。

防 除 法

(1) 採集病葉或病株焚棄之。

(2) 育成抵抗性強之品種。

(3) 撒佈石灰硫黃合劑。

(4) 加用鉀肥二至四倍以上除去作物附近之雜草則可減少此病。

(5) 注意排水。

小 麥 褐 銹 病

病 因

本病為褐銹病菌寄生而起，夏孢子橢圓形，或卵圓形具有多數細刺淡褐色，冬孢子棍棒形暗褐色，上方有一隔膜，柄短而有色，據日人柄內博士試驗報告，此菌中間寄生草。為秋唐松。

病 徵

本病所生病斑為橢圓形黃褐色或赤褐色，孢子成熟後則由中央破裂散出粉末，愈後後為黑色橢圓形之斑。

防 除 法

(1) 注意日光透射，空氣流通。

(2) 撒佈石灰硫黃合劑。

(3) 播種不可過遲。

麥 白 粉 病

病 因

本病由於白粉病菌之寄生而起，此菌生菌絲侵入寄主之表皮細胞內，此菌兩端，生分枝之細板，又於菌絲分枝處生分生担子梗，病斑之白粉，即為分生孢子隨風飛散以蔓延爲害，病斑中之黑色小點爲扁圓形之子囊殼，殼內有多數子囊，每子囊中更有四至八個孢子，至翌年春季則此子囊孢子又隨風飛散蔓延爲害。

病 徵

本病發於大麥裸麥及各種禾本科植物之葉，被害者，初生白色暗斑，中間混以黑色小點，後白色斑漸次擴大，葉呈黃褐色則萎縮枯死，陰雨連綿時或濕陰之地多用氮肥則易患此病。

防 除 法

本病防除法可仿照小麥黃銹病，惟田間雜草及禾本科植物，亦應注意清除。
麥 斑 葉 病
又名條斑病由於斑葉病菌之寄生而起，孢子為長橢圓黃褐色，分生孢子附著於種子上或土中，種子發芽則此孢子同時

亦發芽生菌絲蔓延組織中，取養分。

病徵

被害之葉初生黃白色斑紋，後變黃褐色，病甚時為暗色，並生毛茸，葉遂枯死穗亦不能抽出。

防除法

- (1) 播種不易失時。
- (2) 溫湯浸種。
- (3) 昇水浸種二小時。
- (4) 施行輪作制。

麥赤黴病

病因

本病由於赤黴病菌侵害而起，分生孢子為新月形有隔膜三至五個子囊殼為新月形頂端有孔，子囊為棍棒狀尖端有柄內有孢子數個，孢子為紡錘形無色，或黃色，病菌附於種子及植物體越年外，又能在種子中寄生或在土中越冬幼芽發病多由土壤含有病菌所致。

病徵

本病在降雨之際發生頗烈初於麥實基部生白色乃至黃紅色之霉，後種時膨大成不正形，乃生粘質小塊，微病亦遂漸擴大，日久則生黑色小粒點葉則腐敗而卒，被害之穀粒，人類食之，亦感受不便，又本病除發生於小麥外，其他如大麥燕麥玉蜀黍黑麥等亦有發

生。

防除法

- (1) 低窪之地宜行排水。
- (2) 氮素肥料不宜過量。
- (3) 浸種於福爾馬林液中二至三小時。
- (4) 於發病期撒佈石灰波爾多液。
- (5) 貯藏時宜充分乾燥。
- (6) 播種不可過。
- (7) 栽培耐病性品種。
- (8) 使用酸性肥料使土壤微帶酸性。

麥立枯病

病因

又名萎枯病由於立枯病菌寄菌絲生於根部及莖之環節，使生而起，其之腐敗而死，子囊殼為球形上覆褐色毛茸，子囊為棍棒狀中央膨大基部有柄，內有孢子八個孢子無色，遇水發芽，寄生於秋小麥者以菌絲之型侵入麥體內越冬，寄生於春小麥者則以孢子之型附於被害麥桿越冬，偶與種子相混，待其發芽時，則侵入麥芽為害。

病徵

本病除侵犯小麥外，並侵犯大麥、黑麥、燕麥、粟及其他禾本科植物，每年概以二三月為發病時期，發於幼苗者，苗身矮小，全株枯黃以終，成熟期內發病者，每二三株或四五

株同時黃變枯死，發病後，距地二三寸處之葉鞘及莖，呈暗褐色，易於健全者區別，本病一旦發生則年年必由同一之地發生逐次向外擴張至全場而後已，故於其發生之初不可不設法防除之。

防除法

- (1) 見有病株立即拔去。
- (2) 用過磷酸石灰，硫酸安母尼亞，及其他酸性肥料可使土壤化為酸性。
- (3) 播種稍晚以避其發病期。
- (4) 施行輪作制。
- (5) 講求排水。
- (6) 選擇耐病性品種。

麥角病

病因

本病由於麥角病菌之侵害所致，此菌，核內為白色或淡紫色，落於土中，翌年發芽生多數之盤狀器內有多數子囊，每個子囊內有八個子囊孢子，分生孢子為卵圓形無色，單生，(成熟時分泌甜汁藉昆蟲搬運他處分生) 孢子之生長停止而孢子層遂成堅硬之麥角，落於土中越冬，至翌年發芽生孢子，至麥穗上再行發病，又本病之麥角內有麥角酸 Ergotins 可作藥用。

病徵

被害之麥子房長形，柱頭萎

凋，菌體充滿穎之空隙，同時分泌一種甜汁，其後被害部漸次堅硬，終成紫色硬塊，即為麥角，麥類表現黑色縱溝，而不能結實。

防除法

- (1) 隨地採集病株燒棄之或售與藥店。
- (2) 宜勤除雜草以便空氣流通日光照射。

白澁病

病因

本病由於白澁病菌傳染而起，病菌概以菌絲及子囊殼之型於被害植物上越冬。

病徵

本病自四五月後開始發生，收穫期尤為猖獗，於麥類病害中乃最普通者，本病主發於葉，始則不分表裏，發生不規則粉狀斑點經時變為灰白色，其中存在微細黑點，及葉斑葉延全葉後，葉乃黃變或褐變而枯死。

防除法

- (1) 力避陰濕地方，努力使通風良好。
- (2) 氮肥宜少施用，以免苗株柔軟。
- (3) 見病發生，撒佈 0.5—0.5 之石灰硫黃合劑。

家畜之普通疾病

健齡

所謂普通疾病，乃指家畜因營養不良，管理不得法，受寒冷暑熱之侵襲，或其他因生理上及心理而起之種種疾病；並不包括因細菌，原生動物寄生蟲等而起之疾病，及機械的外傷。家畜之疾病，多至不勝枚舉，非攻習專門的獸醫學不能窺其全豹，這裏只有把最常見的普通疾病，略為講幾個。

(一) 骨質退化病 Osteomalacia: 即已長成之家畜，停止鈣

鹽類之吸收，則骨質中之石灰只有陳謝，而無新代，遂成骨質退化病。此症牛之發生最多，羊豬較少；主要原因在於鈣磷之供給不足維他命 D 缺乏。

a. 症候：病之初起常呈消化異常，嗜好異物；至病機已深，骨骼變形，關節腫大，步行強拘而感疼痛，食慾減退，體質衰弱而遂趨死亡。
b. 治療：充分供給含石灰

完

質及維他命D.豐富之食料。

(一)軟骨病 Rachitis: 尚未長成之幼畜，因飼料內之石灰質與維他命D.缺乏，而致體內之石灰質沉澱不足，骨質軟化，即成本病。常見於小豬及小雞，駒與犢較少。

a. 症候：骨軟化，變形；四肢彎曲，背脊骨不直。

b. 治療：其方法與骨質退化病相同，若為雞雛，可行日光或紫外光線照射療法，據說動物之皮膚在紫外光照射之下，亦可自己製造維他命D.云。

(二)日擊病 Sunstroke: 原因家畜在強烈之日光下工作，身體直接受日光之照射，熱氣積於神經而發此病；常見於炎夏鬱熱之時。

a. 症候：病態之輕者，則因刺激而興奮，呈不安之狀態；重者，每昏眩而成中風，或呼吸停止而死亡。

b. 救治：用冷水或冰加涼於家畜之頭部，注射興奮劑，或用通大小便及刺激神經之藥（如咖啡鹼，阿刀平，樟腦等）；或牽入家畜於清涼之處，與以充分休息，可漸望復原。

(四)蹄葉炎 Laminitis: 或曰蹄充血，素因為蹄質長時間

刺激，或因身體過重，胃寒及毛絨脫落等；誘因則為創傷，寒冷，打撲，壓迫，營養不良等。害此病時，因蹄部之葉狀組織充血，致腫脹而起壓迫疼痛。此病馬之患者最多，牛次之，羊與豬較少。

a. 症候：發病時全蹄高熱，有劇痛，而以蹄尖更厲害；因平常多發生於前肢，故病時之家畜，往往前肢張開，後肢前引以支持其體重，如患於後肢，則屏之前肢，頭頸伸直，使體重落於前肢；病畜之體溫增加，發汗食慾減低，行動困苦。

b. 治療：平常可用冷水擦單於蹄部，同時於患肢之皮膚上，擦以樟腦薄荷油擦劑（一比五），內服芒硝，硝石之類，給與多量之清水。廄舍須清淨，墊草宜厚，防止賊風之侵入。本症消散之後，雖不致有不良結果，但常起出血，化膿，炎症露出，角質變厚等症；而致蹄之形狀改變。

(五)腐又病：此病之原因多為勞役過重，居所不潔，土地濕潤泥濘，多踏糞尿，或家畜本身之蹄太軟。

a. 症候：蹄叉之角質分解融化，變為灰色或黑色之膿液流出，放惡臭，病畜有跛行或不跛行。

b. 療治：蹄叉當力求清潔，由人時加清拭；廄舍之地面宜乾燥，勤於掃除糞尿，即可防止此病之發生。已害時，可清除膿液，塗上油膏；或用燒鐵寬烙。

(六)食積：乃家畜之消化不良，或吃得太多，或因食發霉之食物，或因重病之後，消化乏力之故。

a. 症候：病畜之食慾減低，胃腸之蠕動停止。在牛羊類之反芻動物，有病時則反芻之工作亦停止。病烈時往往嘔成腹瀉。腸氣等症。排出之糞，堅硬而有未消化之食物存在。

b. 療治：害病時停止給食，供給多量之清水，且使有適宜之運動；內服瀉劑，瀉出腸胃中不消化之食物；至家畜要吃時，當先與以易於消化之食物。平時對於家畜給食之時刻，份量當有規則。

(七)便秘 Constipation: 家畜之排糞不易或排糞之大數減少，原因多為食料過於乾燥，太濃厚，吃得過多；或多吃閉塞性之食料如椰子餅等。

a. 症候：排糞時用力努責，而糞之排出仍不暢，排出之糞乾燥而堅硬。病烈時，腹

腔腫大，疼痛，食慾減少，腸弱而呼吸加快，在大與豬則可有嘔吐之現象。

b. 療治：馬，牛，羊等，可灌以塩類瀉劑，如硫酸鎂與硫酸鈉 (Epsom's Salt)；狗則用油類瀉劑，如蓖麻子油，椰子油，或用肥皂水或溫水灌入直腸中。使起蠕動而將糞排出。

(八)流產病 Abortion: 平常此畜懷妊至足月方纔生產，如未至足月而分娩，即謂之流產。普通之流產病，其誘因多

為機械的打擊，顛仆，滑跌，墜落等；或因營養不良好，食腐敗發霉之食物，飲過冷之水，吃冰凍之草，或誤食毒物（如麥角）等。

a. 症候：即未達足月而分娩，流產之幼畜，或已死於母畜體內，或產下來以後纔死；有時連母畜之生命亦很危險。

b. 療治：既已流產，便無法挽回；只有於前事預防，注意懷妊期內此畜之管理方法。

華北合作 第七卷·第四期

民國三十年四月廿日出版

新民會中央總會厚生部合作科內

編輯者 華北合作編輯室

出版者 新民合作社 中央會

定價 一部 五十錢

一年 五元

(送料不要)

一月號目次

卷頭言……………(一)

新民會と合作社の關係……………(二)

速かに中樞機關を設置せよ……………(八)

◆華北合作の誕生……………(一一)

三十年度の合作社運動……………(二二)

を如何に闘ふか……………(二六)

⊗華北に躍る合作社群像……………(一九)

重慶・共産黨勢力下の合作社……………(一九)

——これと如何に闘ふべきか——

◆日本産業組合の動き……………(二二)

◆經濟情報……………(二八—三二)

◆新民會第一回全体協議會で經濟關係議案はどう處理されたか……………(二三)

◆斜視——土地所有と農業經營……………(三一)

國策會社と協同組合……………(三二)

◆勸業報……………(三四)

◆華北合作何でも来い……………(三四)

◆玉田縣に於ける土布に關する調査……………(三五)

春淺し爐邊の噂に……………(三八)

戲語のこと……………(三八)

▽華文版目次……………(四十一頁)

二・三月號目次

卷頭言……………(一)

華北合作社系統機構の整備へ……………(二)

特別寄稿

華北に於ける合作運動に寄す……………(二四)

山根 謙……………(二四)

戰鬪的組織運動への方向轉換……………(二八)

寺神戸 茂……………(二八)

華北合作社組織體系 確立への準備號

▲われ等の主張……………(三五)

わが指導する合作社の現況……………(三六)

春耕資金六百萬圓に決定……………(四五)

その貸付要綱も決まる

▲實踐者に寄せるの言……………(五〇)

朝鮮留學歸來所感……………(五二)



三菱商事株式會社

(華名) 三菱公司

北京東單牌樓大街三四五號

電話東局代表(五)一六三一番

本店 東京市麴町區丸ノ内二ノ拾番地
支店 天津・青島・濟南・上海・南京
漢口・香港・張家口・太原・厚
和・石門・彰德・新鄉・開封・
商邱・海州・蕪湖・蘇州・無錫
廣東・汕頭・日本各地及歐米亞
濠海外主要都市各地

店約特及店理代 日種業營

三 重 工 業	門 派 炭	キリンビール
三 重 電 機	(中 英 公 司)	豐 岡 セ ン ト
三 重 化 工 機	野 上 機 械	釜 塚 セ ン ト
三 重 礦 業	日 本 冶 煉	江 戶 川 工 業 所
三 重 製 紙	日 本 化 成	瀋 北 製 業
三 重 保 險	日 本 油 脂	日 本 鋼 管
日 東 製 粉	大 連 油 脂	古 河 電 氣 工 業
日 清 製 粉	旭 電 化 工	日 本 電 油
旭 硝 子	大 同 機 械	台 灣 製 紙
旭 光 硝 子	川 崎 車 輛	東 洋 製 紙
旭 硝 子	日 本 建 築	東 洋 販 賣
旭 硝 子	久 保 田 機 工 所	日 本 製 煙
旭 硝 子	藤 澤 作 所	日 產 化 學
旭 硝 子		田 中 機 械

各種金物類、建築材料、電氣機械、器具並材料、一般機械工具、自動車、船舶、酒精、糖、食料品類、小麥、澱粉、穀類肥料、海產物、藥品類、棉、羊毛、皮革、毛、其他雜物類、毛皮、棉花、絲、麻、人造絲、洋灰、木材、洋紙、板、紙、子、ガソリン、煤油、潤滑油、パラフィン、石炭、コークス、其他輸入貨、一般輸出品、一般工業事業

製定社作合學販

民新

級 高

筆 年 萬

(費資料送)圓十三打一□

よれま込申宛科作合部生厚會總央中□

△國定教科書之印刷・販賣!

印 刷

活版、膠版、平版、原色、版其他高級印刷、製本、設備完備

中 日 合 辦
資 本 金 五 百 萬 圓

出 版

中國出版界之指導、綜合雜誌、各種研究、文藝、古典、文藝、製本



新民印書館

北京阜成門外北禮士路
代表電話(二)二二三〇番西

學 用 品

中國學校用品、事務用品之製作、販賣

△各種出版物之刊行!

備 設 新 最